

平成 28 年度

修士論文

宮城県と三重県の民家建築に見られる平面及び架構様態の類型に関する研究



指導教員

富岡義人 教授
田端千夏子 助教

三重大学大学院工学研究科博士前期課程

建築学専攻

阿部勇貴

A Research about the Typologies of Floor Plans and Frames Observed in
Japanese Traditional Vernacular Houses in Miyagi and Mie Prefectures

Supervisors

Dr.Tomioka,Yoshito

Dr.Tabata,Chikako

Abe,Yuki

2017

目次

第1章	序論	・・・	p.1
1.1	研究の目的		
1.2	研究の背景		
1.2.1	吉田の平面の類型図		
1.2.2	ヴァナキュラー建築を対象とした既往研究の理論		
1.3	研究の方法		
1.3.1	用語の定義		
1.3.2	研究の対象		
1.3.3	研究の手順及び論文の構成		
第2章	平面の類型	・・・	p.11
2.1	平面の類型化		
2.1.1	部屋の分類と記号化		
2.1.2	平面の類型への当てはめ		
2.2	本研究の類型と吉田の類型との対照		
第3章	架構の類型	・・・	p.57
3.1	軸組及び小屋組の類型化		
3.2	軸組のタイプのバリエーション		
3.3	小屋組のタイプのバリエーション		
第4章	考察	・・・	p.80
4.1	平面及び架構のタイプの対応に関する考察		
4.2	変調に関する考察		
4.2.1	平面の変調		
4.2.2	架構の変調		
第5章	結論	・・・	p.160
5.1	研究の成果		
5.2	今後の展開		

参考文献及び出典

第 1 章 序論

1.1 研究の目的

本研究の目的は、

- 1) 吉田靖の 1985 年の研究で示された民家の『平面の類型図』*1 を出発点として、その研究の妥当性を再確認すること。さらに架構の類型化を試みること。
- 2) 平面の類型と架構の類型を対照させて、民家の特性の地域的差異を観察すること。
- 3) 類型の特徴から出発して、各民家の個別的特徴に至る変調を整理すること。

1.2 研究の背景

1.2.1 吉田の平面の類型図

平面の類型図は、吉田靖の『日本における近世民家（農家）の系統的発展』*2に示されている。平面の類型図の論理を次に示す。また論理の模式図を図1.1に示す。

- 1.部屋の分類と記号化：民家が持つ部屋を土間（点描）、勝手（K）、広間（H）、広間兼勝手（HK）、寝間（N、斜線）、座敷（Z）の6つに分類し、記号化する。
- 2.平面の図式化：民家作品の平面を簡単な図式に置換する。
- 3.平面の類型への当てはめ：パターン化された類型に図式を当てはめる。
- 4.コード番号の付与：図式にコード番号を与える。コード番号は表1.1のように整理できる。

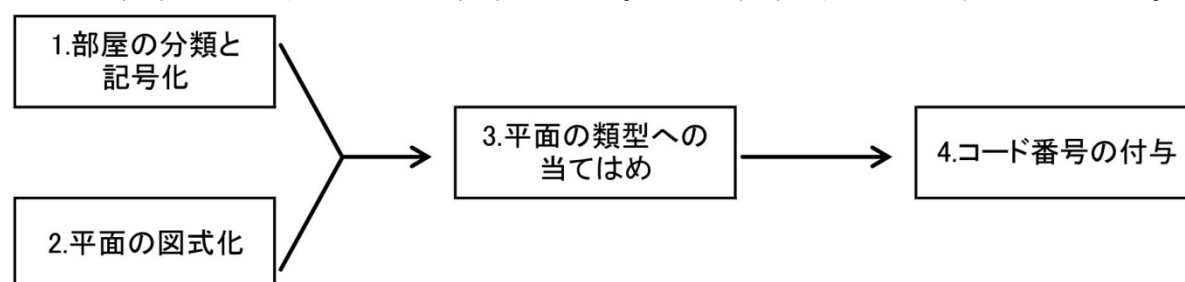


図1.1 平面の類型図の論理

表1.1 平面の類型のコード番号（吉田の研究から引用し、筆者が表を作成）

百の位	内容	類型のコード番号
0,1番代	①一室住居 床ありとなし	001, 101
	②土間と床上の二室	111, 121
2番代	③座敷のない平面	
	①寝間が未分化	211, 212
	②寝間あるが広間と勝手が未分化	231～236
	③寝間、広間、勝手からなる平面	251～260
	④寝間、勝手からなる平面	261, 262
4番代	④座敷のある平面、広間と勝手が未分化	
	①寝間未分化(十の位0)	401～402
	②座敷、寝間各1(十の位1, 2)	411～420
	③座敷1、寝間2(十の位3)	431～434
	④座敷2、寝間は不定(十の位5, 6)	451～464
	⑤座敷3以上、寝間は不定(十の位7)	471～479
5番代	⑤座敷のある平面、広間と勝手が分化	
	①寝間未分化(十の位0)	501, 502
	②座敷、寝間各1(十の位1)	511～516
	③座敷1、寝間2(十の位3、除517)	517, 531～535
	④座敷2、寝間は不定(十の位5, 6)	551～563
	⑤座敷3以上、寝間は不定(十の位7, 8)	571～580
7番代	⑥広間のない平面	
	①寝間未分化(十の位0)	701～708
	②座敷、寝間各1(十の位1)	711～718
	③座敷1、寝間2(十の位3)	731, 732
	④座敷2、寝間は不定(十の位5, 6)	750～760
	⑤座敷3以上、寝間は不定(十の位7)	771～778

次に「群」を説明する。群は平面の類型図Bで示され、中核となる平面の類型とそれに似た平面の類型を集めて整理したまとまりをいう。これを図1.2, 1.3に示す。

143 平面の類型図B

平面の形態(間取)による分類

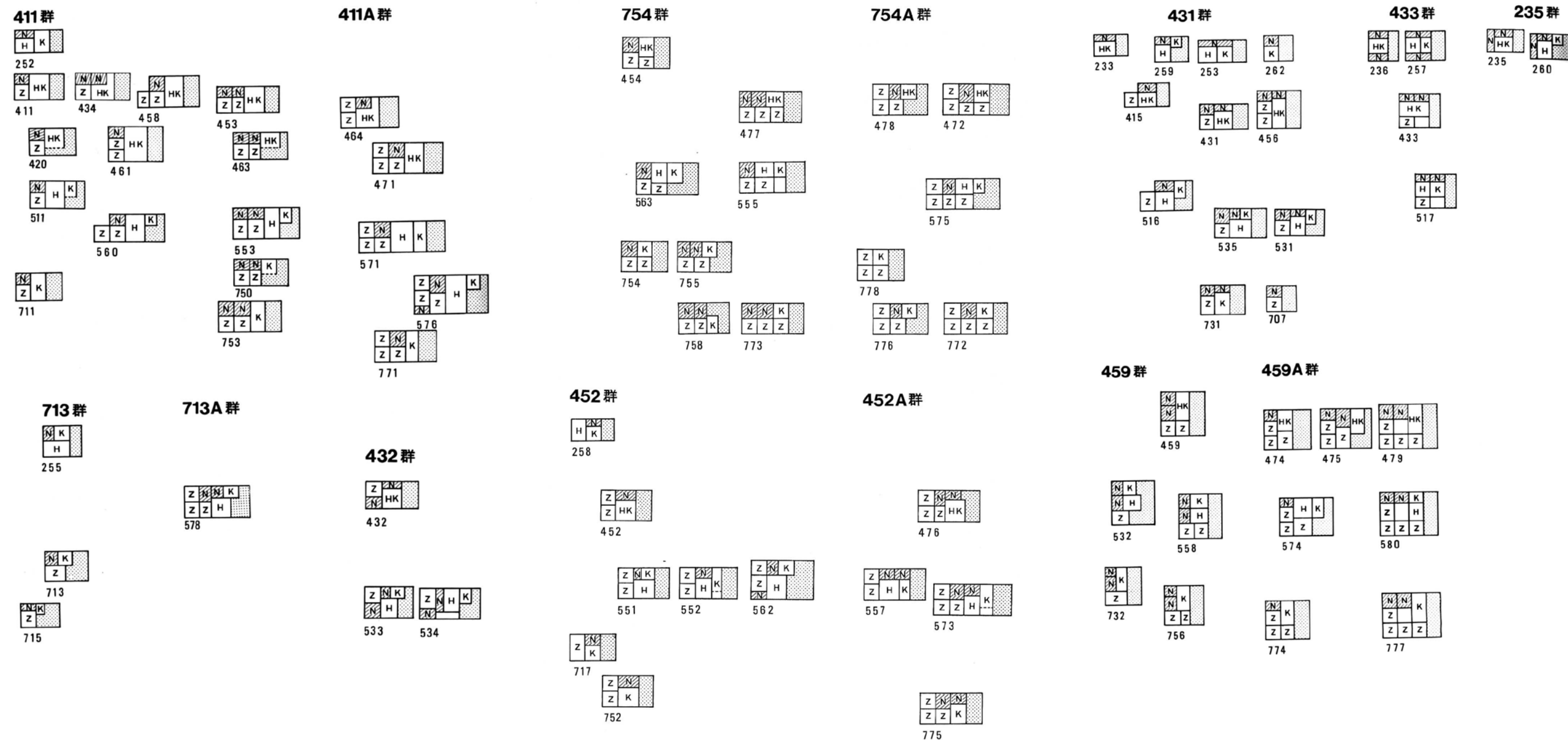


図 1.2 平面の類型図 B (411 群、411A 群、713 群、432 群、754 群、754A 群、452 群、452A 群、431 群、433 群、235 群、459 群、459A 群)

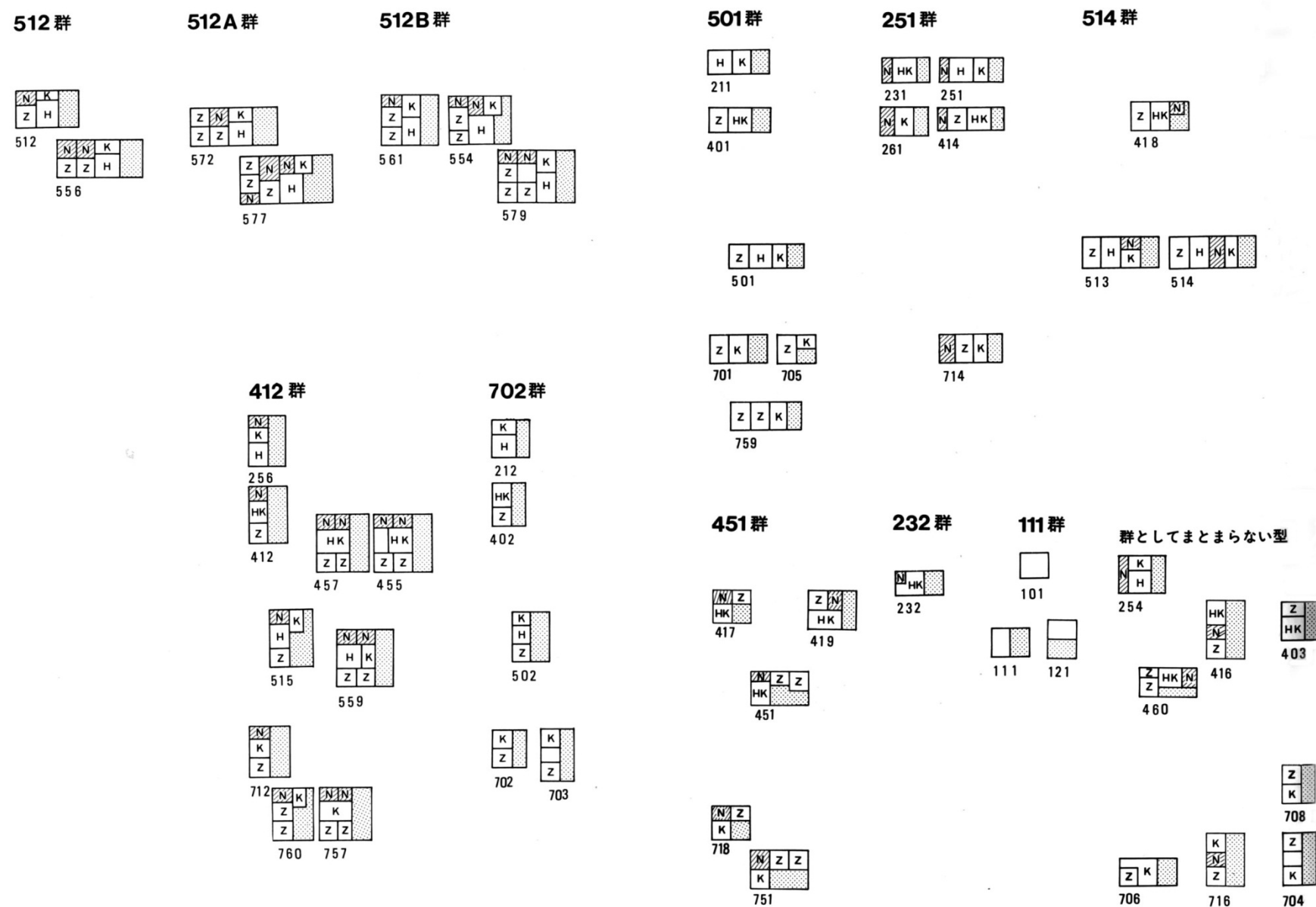


図 1.3 平面の類型図 B (512 群、512A 群、512B 群、412 群、702 群、501 群、251 群、514 群、451 群、232 群、111 群、群としてまとまらない型)

1.2.2 ヴァナキュラー建築を対象とした既往研究の理論

(1) A.ラポポート：住まいと文化

A.ラポポートは、著書『住まいと文化』の中で、『風土建築の設計過程は、モデル（模範的形態）とその修正、もしくはモデルの多様化の過程であり、原子建築に比べると個体差を生じやすい。建築のタイプそのものは変化することなく、個々の建築で部分的に修正されるのである』*3と述べている。彼のこの論が正しいのであれば、日本の民家においても、①類型を多様化させる、②ある類型を維持し、個々の作品ごとに個別の造形的な操作を加える、という2つの設計過程を観察できるはずである。本研究は、①を類型の分析、②を変調の分析と位置付けて、検証することにする。

(2) 伊藤ていじ：民家、民家は生きてきた

伊藤ていじは、民家が『軸組と造作』のシステムによって成り立つことを論じた。彼の著書『民家』*4では、軸組はさらに一次的な柱群、二次的な柱群に分かれるとし、前者を基本構造、後者を二次的構造と位置付けた。基本構造の選択は、『自動的にある種のパターンをもった柱配置が決定されること』を意味し、『空間を秩序だて、空間の骨組を方向付ける』と述べている。また『寺院建築の基本構造はただ一種にかぎられるのに対し、民家の基本構造はきわめて多様である』、『民家では、その基本構造の種類は変化に富み、その形式は自由であった』とも述べ、基本構造の例として図1.4の8つを示した。二次的構造は、『平面に見いだされる機能的な要求によってその位置が決定される』と述べ、この二次的構造と造作とを調節することにより、時代的な機能の要求にも適応できると論じた。

平面と架構の関係は、彼の著書『民家は生きてきた』*5で、『ひとつの地方には、一定の平面形式があり、それに応じて一定の建築構造法が成立している』、『構造と平面がきりはなせない関係でつながっている』と論じた。彼は民家の平面と架構が対応して造形されていることが、現代の設計へのヒントになると考えていた。

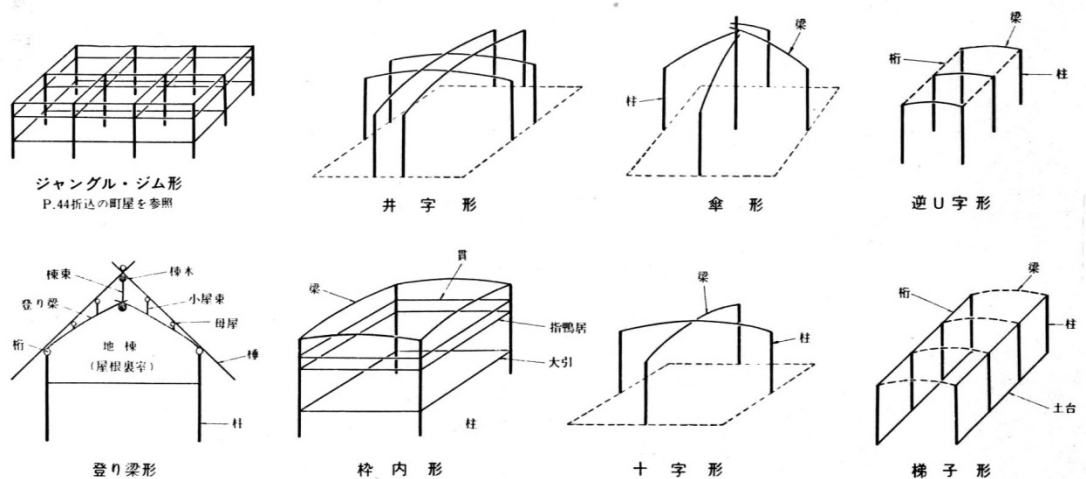


図1.4 民家の基本構造

(3) 宮城県の民家

東北地方の民家研究を行った人物に小倉強がいる。彼は著書『東北の民家』*6で、東北地方の

平面の系統には、A系統とB系統があると述べた。A系統は広間型3間取りが原形で、4間取りへと変遷するもの。B系統は当初から4間取りであったもの。B系統は上層階層（土着武士や豪族）である。また東北地方では広間型3間取りが古い形式であり、古くは全国の農家住宅の基本型だとする見解を述べ、国の中央部から地理的に離れることで発展に時間差が生じることを述べた。

緊急民家調査*7の宮城県版の報告書は、各地域の代表的な平面の分布を示した。これを図1.5に示した。また同書は平面の部屋の数及び間仕切りの位置を基準に、19種の類型にまとめた。これを図1.6に示した。同書はさらに仙台市を境に南北（仙南、仙北という）に分けて分析した。仙南は主に広間型3間取り（図1.6のA₀、A₁型）が広く分布し、4間取り以上（図1.6のB₀、B₁、C、D型）は限られた地域のみで見られる。逆に仙北は主に4間取り以上が広く分布し、広間型3間取りは限られた地域のみで見られる。

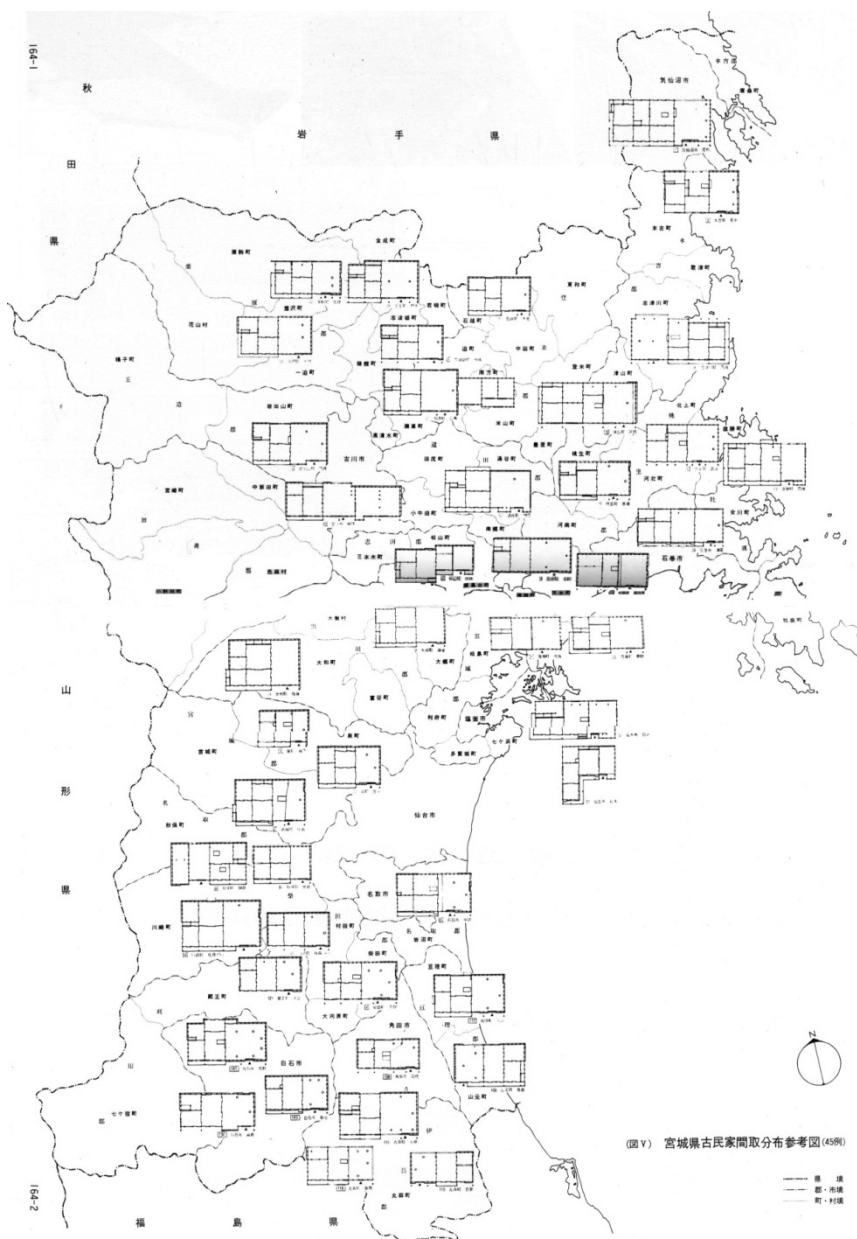


図 1.5 宮城県の各地域の代表的な平面の分布

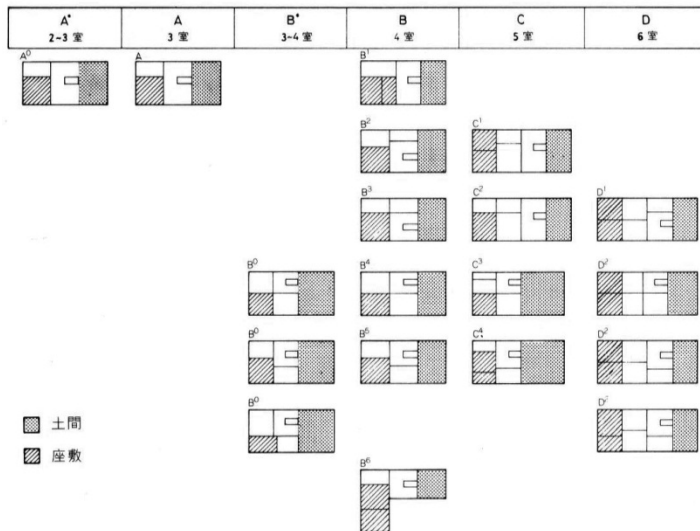


図 1.6 『宮城の古民家 ―宮城県民家緊急調査報告書―』で示された平面の類型

(4) 三重県の民家

『三重県史 別編 建築』*8によれば、三重県の平面は図 1.7 の、①北勢・中勢・北伊賀、②南伊賀および雲出川・櫛田川流域、③宮川流域、④志摩・熊野灘沿岸、⑤東紀州山間部の 5 地域に大別し、説明できる。①は広間型 3 間取りを持ち、愛知県、岐阜県、滋賀県といった東海地方の系統に属す。②は前座敷 3 間取りを持ち、近畿地方の系統に属す。③と④は近隣の地域とは異なる平面を持ち、この狭い地域で独自に発展したと推測される。⑤は奈良県大塔村や十津川村、和歌山県東牟婁郡などの系統に属す。三重県の南部③、④、⑤の地域は土間の面積が狭くなることが特徴的である。このように三重県は地域ごとにいくつかの系統を持つ。

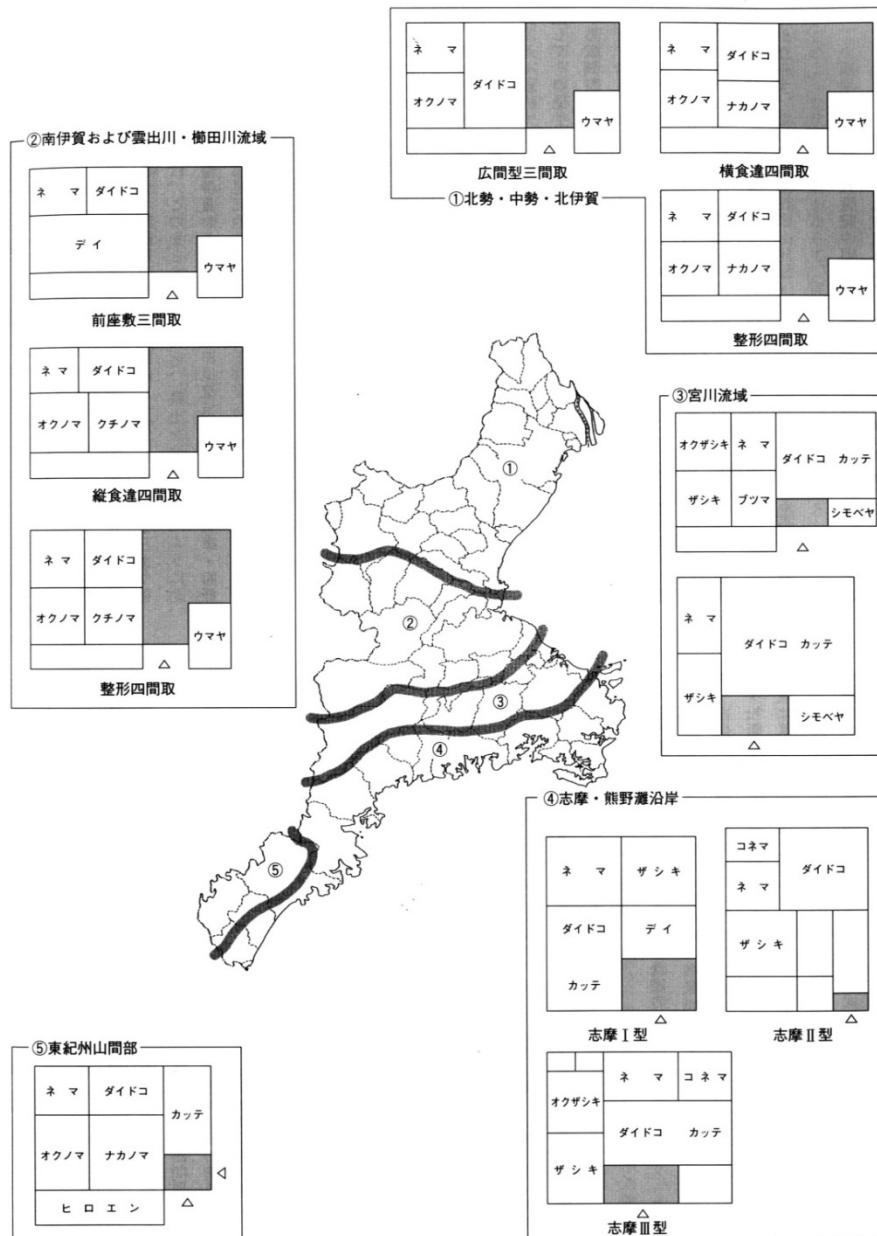


図 1.7 三重県の『各地域の農家の類型』

1.3 研究の方法

1.3.1 用語の定義

変調：共通の型から出発し、個々の作品に加えられる個別の造形的操作をいう。

1.3.2 研究の対象

宮城県と三重県の民家を取り上げる。その理由は、両県が地理的に離れていて系統的な関連が弱いと考えられること。本研究は時間的な分析を捨象し、民家の設計論として、類型のバリエーション及び地域的差異を観察することに焦点を当てる。

対象とする民家は、宮城県5つの市の計53棟、三重県5つの市町の計53棟とする。その分布を図1.8に示す。各市町の位置は、おおむね両県の中で広域となるように選定した。また調査資料が5棟以上ある市町村の民家：これは民家の特徴である地域的差異を調べるため。さらに建築年がおおむね近世と推測され、建築種が農家となる民家を選定した。

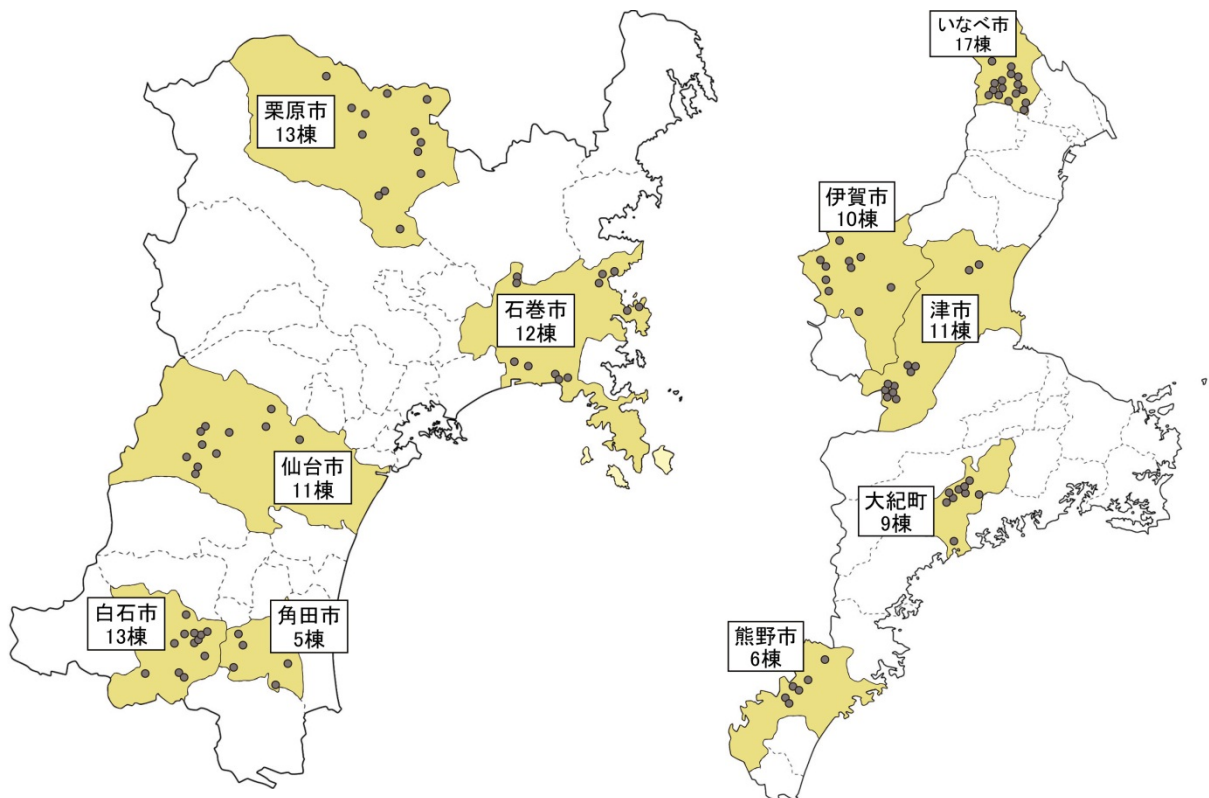


図 1.8 宮城県（左）及び三重県（右）の対象とする民家の分布

1.3.3 研究の手順及び論文の構成

本研究は次の手順で分析を行う。また論文の構成を図1.9に示す。

(1) 平面及び架構の類型化（第2章と第3章）

①平面の類型（第2章）

この分析は平面の類型図の論理に準じて類型化を行う。当該民家の復元平面図及び現状平面図を使用する。また本研究の平面の類型と吉田の平面の類型とを対照させる。

②架構の類型（第3章）

この分析は軸組と小屋組の類型化を試みる。当該民家の梁行方向の断面図を使用する。類型化の論理は、

1. 類型の設定：既往文献を引用・参照し、梁組・柱立て・小屋組の類型を設定する。
 2. 架構の図式化：民家の梁行方向の断面を図式にする。
 3. 図式のパターン化
 4. コード番号の付与：図式にコード番号を与える。
- である。

(2) 考察（第4章）

2つの考察を行う。

①平面及び架構の類型の対応に関する考察

この考察は平面及び軸組の類型の対応関係を分析する。県レベル、市町レベルの観察を行う。

②変調に関する考察

この考察は代表的な変調が加えられる部位を設定し、各民家の個別の造形的操作を観察する。

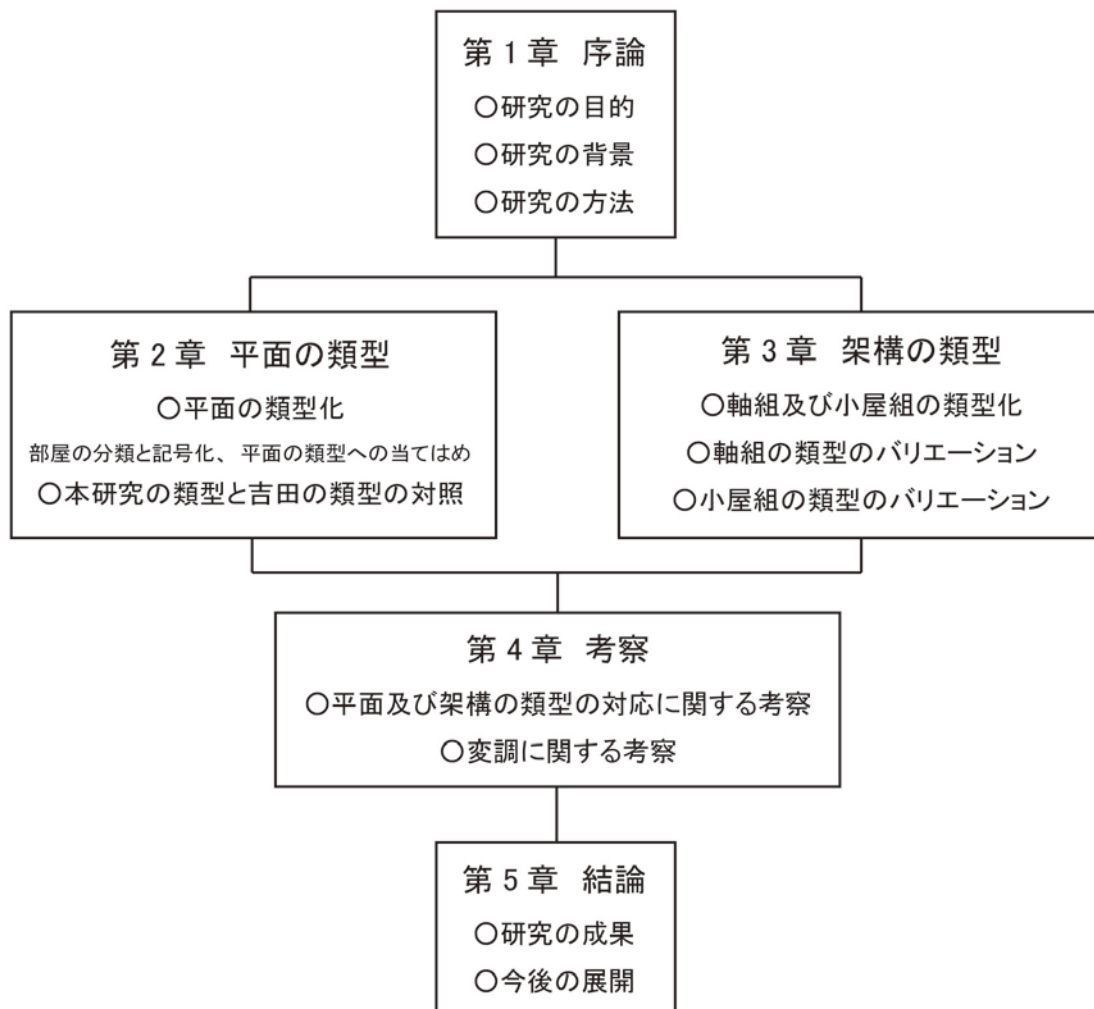


図 1.9 本研究の論文の構成

第2章 平面の類型

2.1 平面の類型化

2.1.1 部屋の分類と記号化

吉田の部屋の分類を整理して表 2.1 に示す。「だいどころ」、「ちゃのま」、「ざしき」の部屋名は、両県でそれぞれ分類する。

また当該民家には、表 2.1 に該当しない部屋名が複数確認された。それらの分類を行う。まず、部屋名の語尾に着目する。語尾が、①「～ざ」と「～ざしき」は「座敷 (Z)」とする、②「～のま」は「きやく (の) ま」の省略した部屋名とし「座敷 (Z)」とする、③「～で」と「～でえ」は「でい」がなまった部屋名とし「座敷 (Z)」とする。④「～なんど」は「寝間 (N)」とする。

次に表 2.2 には、①～④の例外と表 2.1 に該当しない部屋名を示した。これらの部屋名は、宮城県及び三重県の県史、市史、町史、村史、日本民家語彙集解*9 を参照し、その記述を根拠として、分類と記号化を行う。

表 2.1 吉田の部屋の分類

部屋の分類		記号	主な部屋の呼称						機能	設備	特徴				
1	土間	点描	どま	にわ	だいどころ					炊事、農作業、物の貯蔵、外から床上部へ至る緩衝地帯など	かまど、ながし、水がめなど	通常家の中でもっとも広い			
2	広間	H	ひろま	ざしき	だいどころ	おえ	ちゃのま	じょうい	いどこ	日常生活では一段格の高い使われ方。季節の挨拶、婚礼、葬式など改まった接客、行事に使用	いろり、神棚と仏壇、戸棚、押板、磨きあげられた板壁など	家で一番広い部屋。家の中央近くにおいて土間に面するほか他のいくつかの部屋と接し、部屋の結びつきの中心となる重要な部屋			
3	勝手	K	だいどころ	じょうい	ちゃのま	なかま					食事、一家団練、ごくうわの客を招き入れるなど	いろり、たきぎ入れ、ながし、水がめ、戸棚など炊事、調理に関するもの	日常生活の中心となる家族的な部屋で勝手のない家は少ないといつてよい		
4	広間兼勝手	HK	—								—	—	広間と勝手を一室で兼ねた部屋		
5	寝間	N	ねどこ	ねや	なんど	へや	こざ	こざしき					寝間のほか、貴重品などの物を納める部屋。両者を兼ねたり座敷の部屋を持つ場合、使いわけたりする	—	勝手、広間などとはゆききできても座敷とは壁で隔てられていることが多く、外側も大部分が壁で閉鎖性はもっとも強くて暗い
6	座敷	Z	ざしき	でい	きやくま								改まった接客、祝儀、不祝儀、仏事、量を上げて重宝にしたり、客用の寝室など	床の間、達磨、書院の書院飾	間仕切りは壁が少なく各種の板戸、襖、明障子など建具が多い

表 2.2 吉田の部屋の分類に該当しない部屋名

民家の所在		該当しない部屋名							
宮城県	栗原市	おかみ	きば	なかま					
	石巻市	なかのま	うらざ	ほとけまえ					
	仙台市	なかま	うちかた	とこまえ	おかみ	ろくじょうじき			
	角田市	うらざしき	かげのま	うらざ	なかま	じょうだん	ろんのま		
	白石市	りょうりのま	ろんのま	おかみ	なかのま	たなまえ	なかま	じょうだん	
三重県	いなべ市	きたざ	みなみざ	あがりはな	ぶつま				
	伊賀市	おもて	でぬくち						
	津市	くち	ぶつま	おちま					
	度会郡大紀町	いま	よじょう	さんじょう	げんかん	しょさい	あがりはな	あがりまち	
	熊野市	こたつば	よじょうはん						

(1) 宮城県の民家で見られた部屋名

○だいどころ：日本民家語彙集解 p.434 より

『平入り主屋の土間に、上手側から張り出した板敷き部分を指す呼称。元来は土間との間に仕切りは設けなかった。炉を備え、煮炊きや食事・冬季の夜仕事などの場所である。』、『ダイドコ（台どこの呼称も同地域に併存している）』とある。この記述から「勝手 (K)」とする。

○ちゃのま、おかみ：宮城県史 19 (民俗) p.51 より

『座敷のうちで最も広く、かつ炉を設けてある室を、普通オカミ・チャノマと呼ぶ』、『日常生活の団らんの場になる』、『田字型間取では、台所に隣合つた奥の座敷をいう』とある。これらの記述から「広間兼勝手 (HK)」とする。

○ざしき：日本民家語彙集解 pp.323-333 より

『平入り主屋の前通り上手端の室を指す呼称。床の間などを備えた正式の座敷と次位の座敷を合わせた総称である。』とある。この記述から「座敷 (Z)」とする。

○きば：宮城県史 19 (民俗) p.46 より

『格式のある農民住宅に、殿様や上侍が立寄る際に備え、ひいては其家の主人が下位の農民に会う時にも転用されていた』とある。この記述から「座敷 (Z)」とする。

○うらざ：日本民家語彙集解 p.86 より

『平入り主屋の背面通り中央の室の呼称。元来は土間に接していて、前隣の室との間に仕切りがなかったと思われる。家財の格納や寝室などに使用される。ウラザシキ (裏座敷) の呼称もある。』とある。この記述から「寝間 (N)」とする。

○ほとけまえ：日本民家語彙集解 p.683 より

『平入り主屋の前通り中央の室を指す呼称。仏壇を安置する。』とある。この記述から「座敷 (Z)」とする。

○うちかた：日本民家語彙集解 p.76 より

『平入り主屋の背面通り中央の室を指す呼称。日常の居室の裏側にあたる室で、寝室として使用される。』とある。この記述から「寝間 (N)」とする。

○で：宮城県史 19 (民俗) p.44 より

『東北地方ではデと正しく発音はしないでただ「デ」と呼ぶ』とある。この記述から「座敷 (Z)」とする。

○りょうりのま、りよんのま：宮城県史 19 (民俗) p.52、日本民家語彙集解 pp.790-791 より

宮城県史に『配膳などに用いられる』とある。炊事に関係のある部屋であるため、「勝手 (K)」とする。また日本民家語彙集解によれば、「りよんのま」も、「りょうりのま」に該当する。

○じょうだん：宮城県史 19 (民俗) p.49 より

「ジョウダンノマ (上段の間)」で説明されている。『客座敷のうちで最も正座敷にあたるもので、床・棚・書院をつけ、天井長押の制になっているのが普通』とある。この記述から「座敷 (Z)」とする。

○とこまえ：仙台市史 p.5

「トコマイ」で説明されている。『床前。座敷の中の最上座をいう』とある。この記述から「座敷 (Z)」とする。

○かげのま：角田市史 2 通史編 (下) p.645 より

『「かげのま (ちやのま)」』とある。この記述から「広間兼勝手 (HK)」とする。

○ろんのま：角田市史 2 通史編 (下) より

『りょうりのまの意ならん』とある。よって炊事関連の部屋となるので「勝手 (K)」とする。

○たなまえ：日本民家語彙集解 p.456 より

『平入り主屋の土間に上手側から張り出した板敷き部分を指す呼称。煮炊きや食事の場であり、造作した戸棚の前にあたる。』とある。この記述から「広間兼勝手 (HK)」とする。

○なかのま、なかま：日本民家語彙集解 p.556, pp.558-559、角田市史 2 通史編 (下) p.642, p.645 より

1:『平入り主屋の土間億の板敷き部分を指す呼称。炊事場である。』とある。この記述から「勝手

(K)」とする。

2:『平入り主屋の前通り中央の室を指す呼称。日常の居室の上手隣にあたる。少し規模の大きい家屋だけが備える室。仏壇などを安置するほか、座敷への通路になる。』とある。さらに角田市史には、『角田市や丸森町では、最上の部屋を「なかま」と呼ぶ例が多い。これは全国的には「ざしき」とか「でえ」と呼ばれているもの』とある。また、『「ざしき (なかま)」』ともある。これらの記述から「座敷 (Z)」とする。

(2) 三重県の民家で見られた部屋名

○だいどころ：日本民家語彙集解 p.434 より

『平入り土間の上手に隣接する背面の室を指す呼称。食事やその準備・什器置き場などに用いる室である。』とある。この記述から「勝手 (K)」とする。

○ざしき：日本民家語彙集解 pp.323-333 より

宮城県の「ざしき」と同じ。

○きたざ：日本民家語彙集解 p.227 より

「きたざしき」で説明されている。『平入り主屋の土間の上手に隣接する背面通りの室を指す呼称。主屋が南向きなら北側にあたる。食事やその準備、什器置き場などに用いる。』とある。この記述から「勝手 (K)」とする。

○みなみざ：日本民家語彙集解 p.718 より

『炉廻りの座の一つを指す呼称。平入り主屋の前通りの壁や開口を背にした位置の席である。多くの場合炉の南側にあたる。客の坐る座である。』とある。広間と座敷の両方に当てはまる記述だが、本研究では、イロリのある部屋を「広間 (H)」、それがない部屋を「座敷 (Z)」とする。

○ぶつま：日本民家語彙集解 p.664 より

『平入り主屋の前通り中央の室を指す呼称。比較的小さい室で、奥に仏壇を安置する。』とある。この記述から「座敷 (Z)」とする。

○おもて：日本民家語彙集解 pp.143-144 より

『平入り主屋の前通り上手端の室を指す呼称。』『次位の座敷にあたる。』とある。この記述から「座敷 (Z)」とする。

○おく：日本民家語彙集解 p.119 より

『平入り主屋の上手端の室を指す呼称。床の間などを備え、正式の座敷である。』とある。この記述から「座敷 (Z)」とする。

○でぬくち：日本民家語彙集解 p.508 より

「でのくち」で説明されている。『平入り主屋の土間の上手隣の前側の室を指す呼称。日常の居室』とある。「日常の居室」だけでは、広間か勝手か分からないので、筆者が適宜判断する。

○くち：美杉村史 下巻 p.690 より

『表の四畳(クチ)も当初は台所であったために、台所の単に低い板敷きのまま土間に突出していた』とある。この記述から「勝手 (K)」とする。

○おちま：日本民家語彙集解 p.132 より

『平入り主屋の上手から土間側に張り出した一段低い板敷き部分を指す呼称。炊事や屋内作業

の場でもある。』とある。この記述から「勝手 (K)」とする。

○あがりはな、げんかん：紀勢町史 p.579

『ダイドコとも呼び、畳敷きで三尺四方のユルリが切っており、居間として家族団らんの場でもあった』とある。また『主屋への出入口であり、正面ほぼ中央に位置する。大戸口の踏込みの土間と、その左手の三畳程度の畳間などからなり、ダイドコやザシキに通ずる。柏崎では現在この部分の呼称としてゲンカンが用いられることが多く、伝統的名称は失われているようである。これは、この部分が出入り以外の実質的な機能を持たないことに起因するようにも解される』ともある。元々は家族団らんの部屋であったが、次第に出入り時に通るだけの部屋に変わったようである。本研究では日常の居室とするが、広間か勝手か分からないので、筆者が適宜判断する。

○いま：日本民家語彙集解 p.56 より

『平入りの主屋の土間に接する表側の室を指す呼称。炬が切っており、日常生活の中心であった。』とある。この記述から「広間兼勝手 (HK)」とする。

○こたつば：熊野市史 p.497

『コタツノマ・コタツバ（堀ゴタツがしつらえてある）は食事の場や居間となり、家人が一番よくいるところであった』とある。この記述から「広間兼勝手 (HK)」とするが、勝手の部屋が他にある場合は、「広間 (H)」とする。

(3) 分類のできなかった部屋名

表 2.2 の部屋名のうち、「ろくじょうじき」、「よじょう」、「さんじょう」、「よじょうはん」は、根拠とする記述を確認できなかった。「じょう」はおそらく「畳」なので、畳の敷かれた部屋。座敷と推測できるかもしれないが、本研究ではこれら 4 つの部屋名は分類を行わないことにした。

2.1.2 平面の類型への当てはめ

表 2.3 に例を示し、平面の類型化の方法を説明する。類型化の手順は平面の類型図の論理に準ずる。平面の類型への当てはめは、部屋の種類と数及び部屋の配置が、①両者が一致する場合を「一致」、②前者が一致、後者が近似する場合を「近似 1」、③両者が近似する場合を「近似 2」とした。菊池清三郎は 411 型の平面の類型と一致。小倉俊二郎は 752 型の平面の類型と近似。高橋恒夫郎は 574 型の平面の類型と近似となる。平面の類型化の分析を次項より示す。

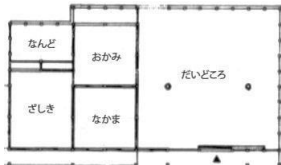

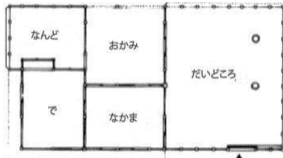
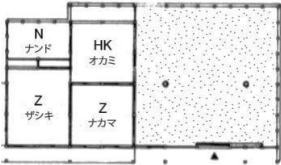




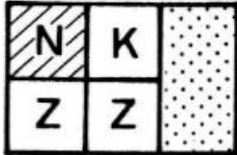
表 2.3 平面の類型化の手順

作品名		菊池清三邸	小倉俊二邸	高橋恒夫邸
所在地		宮城県白石市	三重県大紀町	宮城県栗原市
建築年代		18世紀初期	江戸末～明治初	明治初年
平面図				
部屋の分類と記号化				
平面の類型への当てはめ	一致	 411型	—	—
	近似1	— 752型	 752型	—
	近似2	—	—	 574型
コード番号の付与	型	411型	752型	574型
	群	411群	452群	459A群

2.1.2 平面の類型への当てはめ
宮城県 栗原市

番号		1	2	3
所在地		金成	志波姫	高清水
作品名		千田賢三郎邸	相馬次男邸	熊谷義美邸
建築年代	記述された年代	江戸中期	江戸中期	江戸中期
	西暦	1700年頃	1700年頃	1700年頃
平面	部屋の配置	縦喰違い4間取り	縦喰違い4間取り	縦喰違い4間取り
	座敷数	2	2	2
	寝間数	1	1	1
	平面図（1 / 400）			
	部屋の分類と記号化			
平面の類型への当てはめ・コード番号の付与	一致		—	
		454型		454型
	近似1	—	—	—
	近似2	—		—
			454型	
	型	454型に一致	454型に近似	454型に一致
群	754群	754群	754群	

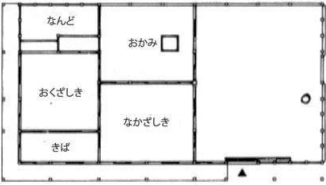
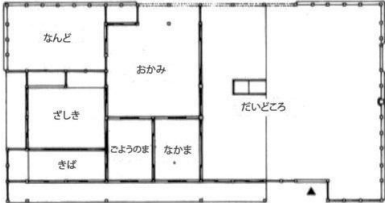
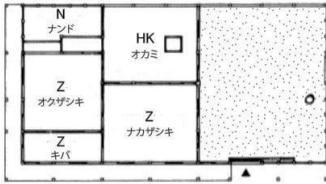
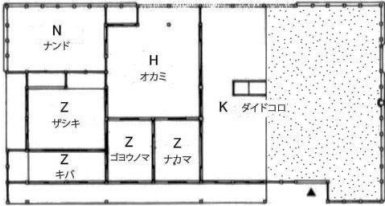
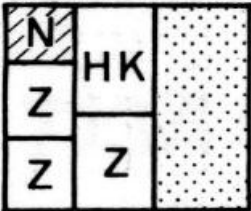
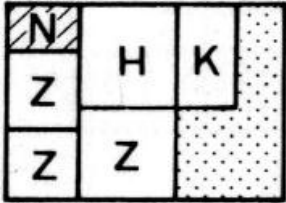
2.1.2 平面の類型への当てはめ
宮城県 栗原市

番号		4	5	6
所在地		金成	高清水	栗駒
作品名		菅原孝邸	工藤信一郎	大内朗邸
建築年代	記述された年代	江戸中期頃	江戸中期頃	200～230年位経つ
	西暦	1700年頃	1700年頃	1750年頃
平面	部屋の配置	喰違い4間取り	整形4間取り	縦喰違い4間取り
	座敷数	2	2	2
	寝間数	1	1	1
	平面図 (1 / 400)			
	部屋の分類と記号化			
平面の類型への当てはめ・コード番号の付与	一致	 454型	—	 454型
	近似1	—	 754型	—
	近似2	—	—	—
	型	454型に一致	754型に近似	454型に一致
	群	754群	754群	754群

2.1.2 平面の類型への当てはめ
宮城県 栗原市

番号		7	8
所在地		瀬峰大里	栗駒
作品名		白鳥玄三男邸	高橋清邸
建築年代	記述された年代	約200年前後経た	江戸中期～末期
	西暦	1775年頃	1800年頃
平面	部屋の配置	縦喰違い4間取り	5間取り
	座敷数	2	3
	寝間数	1	1
	平面図 (1 / 400)		
	部屋の分類と記号化		
平面の類型への当てはめ・コード番号の付与	一致	—	 474型
	近似1	 754型	—
	近似2	 454型	—
	型	454型に近似	474型に一致
	群	754群	459A群

2.1.2 平面の類型への当てはめ
宮城県 栗原市

番号		9	10
所在地		栗駒	築館
作品名		菅原初郎邸	高橋恒夫邸
建築年代	記述された年代	幕末、118年前	明治初年
	西暦	1856年	1870年頃
平面	部屋の配置	5間取り	6間取り+だいどころ
	座敷数	3	4
	寝間数	1	1
	平面図 (1 / 400)		
	部屋の分類と記号化		
平面の類型への当てはめ・コード番号の付与	一致	 474型	—
	近似1	—	—
	近似2	—	 574型
	型	474型に一致	574型に近似
	群	459A群	459A群

2.1.2 平面の類型への当てはめ
宮城県 栗原市

番号	11	12	13
所在地	築館	金成	栗駒
作品名	伊藤博邸	菅原才二郎邸	佐藤喜悦邸
建築年代	記述された年代	不明(千田賢三郎宅に構法が似ている。やや新しいとみるべきか。)	不明(かなりの古家と推測される。)
	西暦	—	—
平面	部屋の配置	広間型3間取り	縦喰違い4間取り
	座敷数	1	2
	寝間数	1	1
	平面図(1/400)		
	部屋の分類と記号化		
平面の類型への当てはめ・コード番号の付与	一致		
		411型	454型
	近似1	—	—
	近似2	—	—
	型	411型に一致	454型に一致
	群	411群	754群

2.1.2 平面の類型への当てはめ
宮城県 石巻市

番号		1	2	3
所在地		沼津	南境	蛇田
作品名		木村広助邸	佐々木ひで子邸	佐々木長五郎邸
建築年代	記述された年代	江戸中期	江戸中期	江戸中期
	西暦	1700年頃	1700年頃	1700年頃
平面	部屋の配置	6間取り	広間型3間取り	広間型3間取り
	座敷数	3	2	1
	寝間数	2	1	0
	平面図 (1 / 400)			
	部屋の分類と記号化			
	一致		—	
平面の類型への当てはめ・コード番号の付与		476型		252型
	近似1	—	—	—
	近似2	—		—
			411型	
	型	476型に一致	411型に近似	252型に一致
	群	452A群	411群	411群

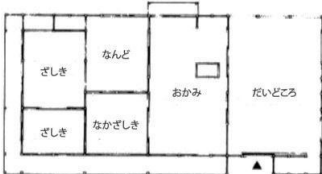
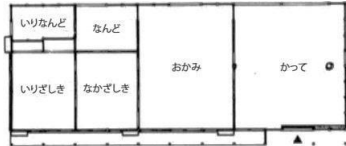

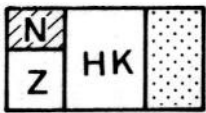


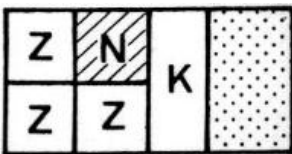
2.1.2 平面の類型への当てはめ
宮城県 石巻市

番号		4	5	6
所在地		桃生檜崎	北上女川	桃生檜崎
作品名		首藤信乃邸	武山豊助邸	千葉美雄邸
建築年代	記述された年代	18世紀前期	宝暦時代(1751～1764年)	おおよそ200年前後
	西暦	1720年頃	1760年頃	1775年頃
平面	部屋の配置	縦喰違い4間取り	縦喰違い4間取り	広間型3間取り
	座敷数	1	1	1
	寝間数	2	2	1
	平面図 (1 / 400)			
	部屋の分類と記号化			
平面の類型への当てはめ・コード番号の付与	一致			
		431型	431型	711型
	近似1	—	—	—
	近似2	—	—	—
	型	431型に一致	431型に一致	711型に一致
群	431群	431群	411群	

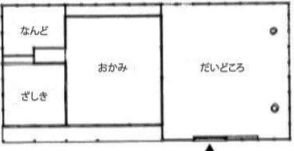


2.1.2 平面の類型への当てはめ
宮城県 石巻市

番号	7	8
所在地	北上橋浦	雄勝名振
作品名	今野農事邸	永瀬頼邸
建築年代	記述された年代 おおよそ200年前後	嘉永2年(1849年)
	西暦 1775年頃	1849年
平面	部屋の配置 縦喰違い6間取り	7間取り+だいどころ
	座敷数 3	5
	寝間数 2	1
	平面図 (1 / 400)	
	部屋の分類と記号化	
平面の類型への当てはめ・コード番号の付与	一致	
	476型	—
	近似1	—
	近似2	
	575型	—
型	476型に一致	575型に近似
群	452A群	754A群


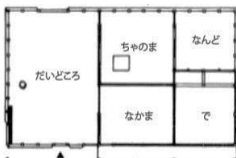
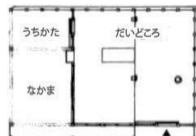
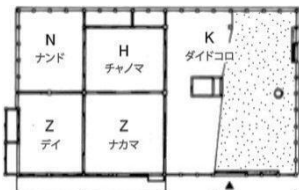
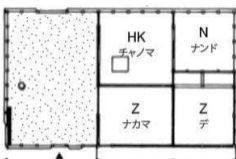
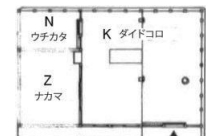

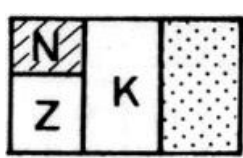
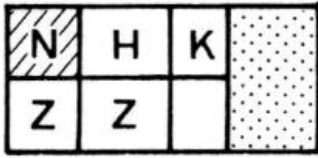

2.1.2 平面の類型への当てはめ
宮城県 石巻市

番号	9	10	11
所在地	北上長塩谷	雄勝船越	渡波
作品名	武山昭利邸	高橋てよ邸	津田政蔵邸
建築年代	記述された年代	不明	不明
	西暦	—	—
平面	部屋の配置	広間型3間取り	広間型5間取り
	座敷数	1	3
	寝間数	1	2
	平面図 (1 / 400)		
	部屋の分類と記号化		
平面の類型への当てはめ・コード番号の付与	一致		
	411型	—	453型
	近似1	—	—
	—		—
	—	471型	—
	近似2	—	—
	—		—
	—	771型	—
型	411型に一致	471型に近似	453型に一致
群	411群	411A群	411群

2.1.2 平面の類型への当てはめ
宮城県 石巻市

番号		12
所在地		渡波
作品名		亀山義一郎邸
建築年代	記述された年代	不明
	西暦	—
平面	部屋の配置	広間型3間取り
	座敷数	1
	寝間数	1
	平面図 (1 / 400)	
	部屋の分類と記号化	
平面の類型への当てはめ・コード番号の付与	一致	
		411型
	近似1	—
	近似2	—
	型	411型に一致
	群	411群

2.1.2 平面の類型への当てはめ
宮城県 仙台市

番号		1	2	3
所在地		青葉区下愛子	青葉区大倉	泉区福岡
作品名		庄司はつえ	結城幸夫	桜下吉治
建築年代	記述された年代	江戸中期	元文2年(1737年)以前	18世紀中期
	西暦	1700年頃	1737年頃	1750年頃
平面	部屋の配置	整形4間取り+だいどころ	縦喰違い4間取り	広間型3間取り
	座敷数	2	2	1
	寝間数	1	1	1
	平面図 (1 / 400)			
	部屋の分類と記号化			
平面の類型への当てはめ・コード番号の付与	一致	—	 454型	 711型
	近似1	 555型	—	—
	近似2	 563型	—	—
	型	555型に近似	454型に一致	711型に一致
	群	754群	754群	411群

2.1.2 平面の類型への当てはめ
宮城県 仙台市

日本の民家調査報告書集成 第2巻
北海道・東北地方の民家(2) 岩手・宮城
宮城の古民家 -宮城県民家緊急調査報告書-
pp.46-48, pp.110-119

番号	4	5
所在地	青葉区大倉	太白区長袋
作品名	結城藤吉	佐藤門治
建築年代	記述された年代	江戸中期、230年前後
	西暦	200～230年位
平面	部屋の配置	1750年頃
	座敷数	1770年頃
	座敷数	6間取り
	座敷数	4
	座敷数	2
平面の類型への当てはめ・コード番号の付与	座敷数	1
	座敷数	1
	平面図 (1/400)	平面図 (1/400)
	平面図 (1/400)	平面図 (1/400)
	平面図 (1/400)	平面図 (1/400)
一致	部屋の種類と記号化	部屋の種類と記号化
	部屋の種類と記号化	部屋の種類と記号化
	部屋の種類と記号化	部屋の種類と記号化
	部屋の種類と記号化	部屋の種類と記号化
	部屋の種類と記号化	部屋の種類と記号化
近似1	近似1	近似1
	近似1	近似1
	近似1	近似1
	近似1	近似1
	近似1	近似1
近似2	近似2	近似2
	近似2	近似2
	近似2	近似2
	近似2	近似2
	近似2	近似2
型	型	型
	型	型
	型	型
	型	型
	型	型
群	群	群
	群	群
	群	群
	群	群
	群	群


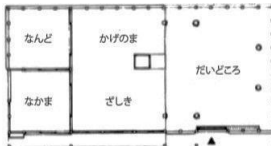
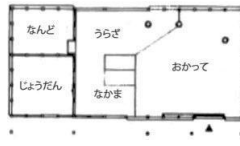



2.1.2 平面の類型への当てはめ
宮城県 仙台市

番号		6	7	8
所在地		泉区西田中	太白区境野	青葉区芋沢
作品名		庄司長一	早坂金太郎	奥山やい子
建築年代	記述された年代	200年以上経過した古家	200年前後	200年位は経ていようか
	西暦	1770年頃	1775年頃	1775年頃
平面	部屋の配置	縦喰違い4間取り	喰違い4間取り	5間取り
	座敷数	2	2	2
	寝間数	1	1	2
	平面図 (1 / 4 0 0)			
	部屋の分類と記号化			
平面の類型への当てはめ・コード番号の付与	一致		—	
		454型		459型
	近似1	—		—
			454型	
	近似2	—	—	—
型	454型に一致	454型に近似	459型に一致	
群	754群	754群	459群	




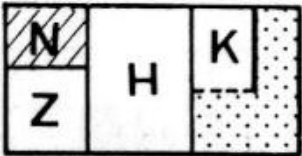
2.1.2 平面の類型への当てはめ
 宮城県 仙台市

番号		9	10	11
所在地		青葉区上愛子	太白区長袋	泉区上谷刈
作品名		石垣茂嘉	伊藤丑蔵	萱場久夫
建築年代	記述された年代	約170～180年位経過	18世紀末期	江戸末期
	西暦	1800年頃	1800年頃	1850年頃
平面	部屋の配置	縦喰違い4間取	横喰違い4間取り	広間型3間取り
	座敷数	2	2	1
	寝間数	1	1	1
	平面図（1／400）			
	部屋の分類と記号化			
平面の類型への当てはめ・コード番号の付与	一致		—	
		454型		711型
	近似1	—		—
			454型	
	近似2	—		—
			754型	
型	454型に一致	754型に近似	711型に一致	
群	754群	754群	411群	

2.1.2 平面の類型への当てはめ
宮城県 角田市

番号		1	2	3
所在地		枝野	高倉	尾山
作品名		本田邵邸	佐藤源邸	高橋国雄邸
建築年代	記述された年代	17世紀末	江戸中期	江戸中期
	西暦	1680年頃	1700年頃	1700年頃
平面	部屋の配置	整形4間取り	広間型3間取り	広間型3間取り
	座敷数	3	1	1
	寝間数	1	1	1
	平面図 (1 / 400)			
	部屋の分類と記号化			
平面の類型への当てはめ・コード番号の付与	一致	—	 411型	 411型
	近似1	 431型	—	—
	近似2	—	—	—
	型	431型に近似	411型に一致	411型に一致
	群	431群	411群	411群

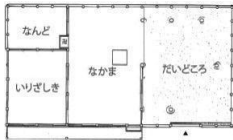
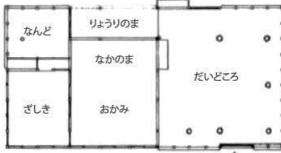
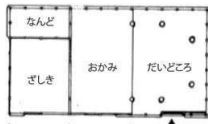
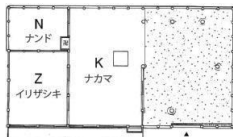



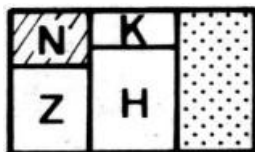

2.1.2 平面の類型への当てはめ
宮城県 角田市

番号	4	5
所在地	毛萱	小田
作品名	村上平一郎邸	高橋ふさ邸
建築年代	記述された年代	250年前後
	西暦	1725年頃
平面	部屋の配置	広間型3間取り+だいどころ
	座敷数	1
	寝間数	1
	平面図 (1 / 400)	
	部屋の分類と記号化	
平面の類型への当てはめ・コード番号の付与	一致	
		411型
	近似1	
		511型
	近似2	—
	型	511型に近似
	群	411群

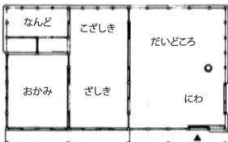
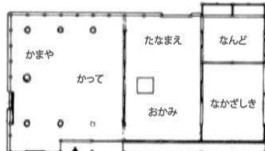
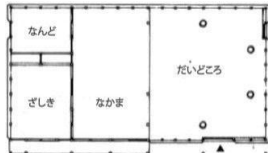

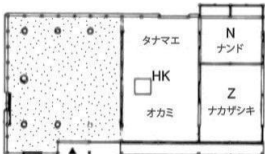
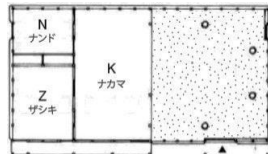


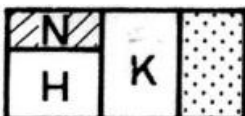
2.1.2 平面の類型への当てはめ
宮城県 白石市

番号	1	2	3
所在地	小原古原	鷹巣	後小路
作品名	高橋利三郎邸	菊池栄喜邸	小関敏邸
建築年代	記述された年代	江戸中期	18世紀初期
	西暦	1700年頃	1720年頃
平面	部屋の配置	広間型3間取り	広間型3間取り
	座敷数	1	1
	寝間数	1	1
	平面図 (1/400)		
	部屋の分類と記号化		
平面の類型への当てはめ・コード番号の付与	一致		
		411型	411型
	近似1	—	
			511型
	近似2	—	—
型	411型に一致	411型に一致	511型に近似
群	411群	411群	411群

2.1.2 平面の類型への当てはめ
宮城県 白石市

番号		4	5	6
所在地		鷹巣	深谷中丸	鷹巣
作品名		菊池清三邸	木須四一郎	高子一雄邸
建築年代	記述された年代	18世紀初期を降らない	18世紀初期	18世紀初期～中期頃
	西暦	1720年頃	1720年頃	1730年頃
平面	部屋の配置	広間型3間取り	縦喰違い4間取り	広間型3間取り
	座敷数	1	1	1
	寝間数	1	1	1
	平面図 (1 / 400)			
	部屋の分類と記号化			
平面の類型への当てはめ・コード番号の付与	一致			
		711型	512型	411型
	近似1	—	—	—
	近似2	—	—	—
	型	711型に一致	512型に一致	411型に一致
群	411群	512群	411群	

2.1.2 平面の類型への当てはめ
宮城県 白石市

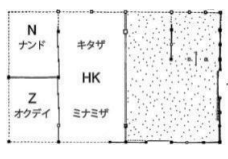

番号		7	8	9
所在地		鷹巣	斎川	鷹巣
作品名		遠藤忠雄邸	佐藤妙二邸	跡部勝左右邸
建築年代	記述された年代	元文3年(1738年)頃	18世紀中期	18世紀中期前後
	西暦	1738年頃	1750年頃	1750年頃
平面	部屋の配置	広間型3間取り	広間型3間取り	広間型3間取り
	座敷数	1	1	1
	寝間数	1	1	1
	平面図 (1 / 400)			
	部屋の分類と記号化			
平面の類型への当てはめ・コード番号の付与	一致	—	 411型	 711型
	近似1	—	—	—
	近似2	 252型	—	—
	型	252型に近似	411型に一致	711型に一致
	群	411群	411群	411群

2.1.2 平面の類型への当てはめ
宮城県 白石市

番号		10	11	12
所在地		斎川	鷹巣	福岡
作品名		島貫芳蔵邸	佐藤敬一郎	高野豊二郎
建築年代	記述された年代	江戸中期、200年以上経過	経過年数200年位	寛政7年(1795年)
	西暦	1770年頃	1775年頃	1795年
平面	部屋の配置	6間取り	縦喰違い4間取り	縦喰違い4間取り
	座敷数	3	1	1
	寝間数	1	1	1
	平面図 (1 / 400)			
	部屋の分類と記号化			
	一致	—		
平面の類型への当てはめ・コード番号の付与	近似1		—	—
		572型		
	近似2	—	—	—
	型	572型に近似	512型に一致	512型に一致
群	512A群	512群	512群	

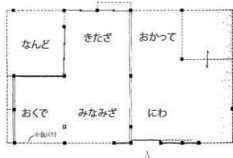

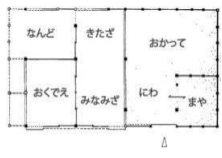
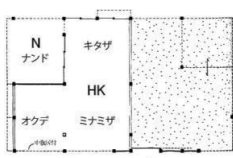

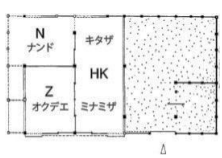



2.1.2 平面の類型への当てはめ
三重県 いなべ市

大安町史（第二巻）
pp.475-547

番号		1	2	3
所在地		平塚	片樋	高柳
作品名		土屋和喜子邸	横田幸見邸	瀬木興治邸
建築年代	記述された年代	江戸中期(17世紀中期)ごろ	江戸中期(18世紀中頃)	江戸中期から末あたり(18世紀中期～末)
	西暦	1650年頃	1750年頃	1770～1780年頃
平面	部屋の配置	広間型3間取り	広間型3間取り	広間型3間取り
	座敷数	1	1	1
	寝間数	1	1	1
	平面図 (1 / 400)			
	部屋の分類と記号化			
平面の類型への当てはめ・コード番号の付与	一致			
		411型	411型	411型
	近似1	—	—	—
	近似2	—	—	—
	系群	411型に一致	411型に一致	411型に一致
	群	411群	411群	411群

2.1.2 平面の類型への当てはめ
三重県 いなべ市

大安町史（第二巻）
pp.475-547

番号		4	5	6
所在地		丹生川上	丹生川久下	石樽南
作品名		樋口幸七邸	山北武司邸	岡常一邸
建築年代	記述された年代	18世紀末から19世紀初頭	18世紀末か19世紀初頭ごろ	18世紀末か19世紀初頭あたり
	西暦	1800年頃	1800年頃	1800年頃
平面	部屋の配置	2間取り	広間型3間取り	広間型3間取り
	座敷数	0	1	1
	寝間数	1	1	1
	平面図（1 / 400）			
	部屋の分類と記号化			
平面の類型への当てはめ・コード番号の付与	一致			
		232型	411型	411型
	近似1	—	—	—
	近似2	—	—	—
	系群	232型に一致 232群	411型に一致 411群	411型に一致 411群




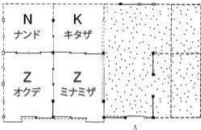
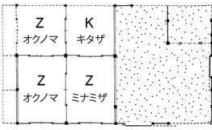


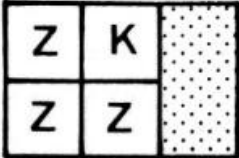
2.1.2 平面の類型への当てはめ
三重県 いなべ市

大安町史（第二巻）
pp.475-547

番号		7	8	9
所在地		片樋	片樋	丹生川上
作品名		日下徳重邸	渡部稔邸	山本教雄邸
建築年代	記述された年代	天保2年(1831年)	幕末か明治初頭(19世紀中頃)あたり	幕末か明治初頭
	西暦	1831年	1850年頃	1870年頃
平面	部屋の配置	整形4間取り	整形4間取り	整形4間取り
	座敷数	2	1	2
	寝間数	1	1	1
	平面図 (1 / 400)			
	部屋の分類と記号化			
平面の類型への当てはめ・コード番号の付与	一致		—	
		754型		754型
	近似1	—		—
			512型	
	近似2	—		—
			754型	
	型	754型に一致	754型に近似	754型に一致
群	754群	754群	754群	

2.1.2 平面の類型への当てはめ
三重県 いなべ市

大安町史（第二巻）
pp.475-547

番号		10	11	12
所在地		石榑東	丹生川久下	宇賀
作品名		弓矢守邸	出口久由邸	神谷欽一郎
建築年代	記述された年代	幕末から明治初期	明治初頭	明治5年(1872年)
	西暦	1870年頃	1870年頃	1872年
平面	部屋の配置	整形4間取り	整形4間取り	整形4間取り
	座敷数	2	3	2
	寝間数	1	0	1
	平面図 (1 / 400)			
	部屋の分類と記号化			
	平面の類型への当てはめ・コード番号の付与	一致		
		754型	778型	754型
近似1		—	—	—
近似2		—	—	—
型		754型に一致	778型に一致	754型に一致
群	754群	754A群	754群	


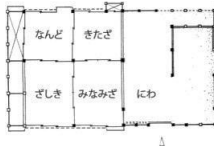
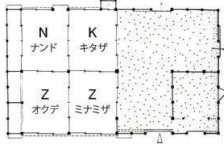

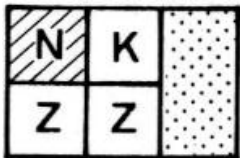
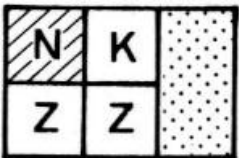
2.1.2 平面の類型への当てはめ
三重県 いなべ市

大安町史（第二巻）
pp.475-547

番号		13	14	15
所在地		梅戸	石樽南	石樽南
作品名		門脇周一郎	岡文雄邸	諸岡忠次邸
建築年代	記述された年代	明治19年	明治の中程	明治24年の濃尾地震直後に建造
	西暦	1886年	1890年頃	1891年
平面	部屋の配置	整形4間取り	整形4間取り	整形4間取り
	座敷数	2	2	2
	寝間数	1	1	1
	平面図（1 / 400）			
	部屋の分類と記号化			
	一致			
平面の類型への当てはめ・コード番号の付与		754型	754型	754型
	近似1	—	—	—
	近似2	—	—	—
	型	754型に一致	754型に一致	754型に一致
	群	754群	754群	754群

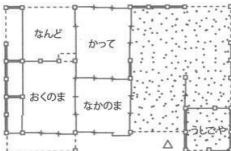
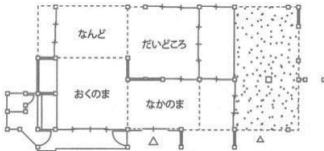
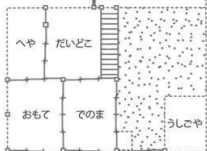

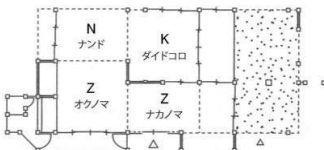

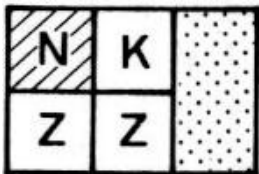

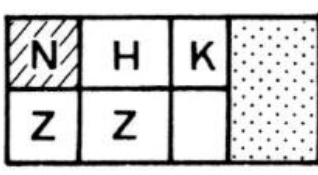
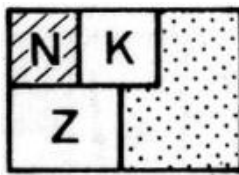
2.1.2 平面の類型への当てはめ
三重県 いなべ市

大安町史（第二巻）
pp.475-547

番号		16	17
所在地		石榑南	梅戸
作品名		伊藤正義邸	小川敏彦邸
建築年代	記述された年代	明治末あたり	不明
	西暦	1900年頃	—
平面	部屋の配置	整形4間取り	整形4間取り
	座敷数	2	2
	寝間数	1	1
	平面図（1 / 400）		
	部屋の分類と記号化		
	一致		
平面の類型への当てはめ・コード番号の付与		754型	754型
	近似1	—	—
	近似2	—	—
	型	754型に一致	754型に一致
	群	754群	754群

2.1.2 平面の類型への当てはめ
三重県 伊賀市

上野市史 文化財編
pp.534-615

番号		1	2	3
所在地		比土	西高倉	諏訪
作品名		中西定夫邸	日根野達三邸	北村汪邸
建築年代	記述された年代	江戸時代後期	江戸時代後期	江戸時代後期
	西暦	1770年頃	1770年頃	1770年頃
平面	部屋の配置	縦喰違い4間取り	縦喰違い6間取り	横喰違い4間取り
	座敷数	2	2	2
	寝間数	1	1	1
	平面図（1 / 400）			
	部屋の分類と記号化			
	平面の類型への当てはめ・コード番号の付与	一致	—	—
近似1			—	—
754型				
近似2				
454型		555型	713型	
型		454型に近似	555型に近似	713型に近似
群	754群	754群	713群	

2.1.2 平面の類型への当てはめ
三重県 伊賀市

上野市史 文化財編
pp.534-615

番号		4	5	6
所在地		高山	西高倉	諏訪
作品名		山島勝年邸	増山キヨノ邸	稲葉春昭邸
建築年代	記述された年代	江戸時代末期	安政ごろ	江戸時代末期～明治初めごろ
	西暦	1830年頃	1854～1860年頃	1870年頃
平面	部屋の配置	整形4間取り+だいどころ	縦喰違い4間取り	横喰違い4間取り
	座敷数	2	2	2
	寝間数	1	1	1
	平面図（1 / 4 0 0）			
	部屋の分類と記号化			
	平面の類型への当てはめ・コード番号の付与	一致	—	—
近似1				—
		754型	754型	
近似2				
		713型	454型	713型
型		713型に近似	454型に近似	713型に近似
群	713群	754群	713群	

2.1.2 平面の類型への当てはめ
三重県 伊賀市

上野市史 文化財編
pp.534-615

番号		7	8	9
所在地		諏訪	法花	白檜
作品名		城下一二邸	中久郎邸	猪野岩一郎
建築年代	記述された年代	江戸時代末期～明治時代	明治初めごろ	明治時代
	西暦	1870年頃	1870年頃	1890年頃
平面	部屋の配置	縦喰違い4間取り	整形4間取り+だいどころ	整形4間取り+だいどころ
	座敷数	2	2	3
	寝間数	1	1	1
	平面図（1 / 400）			
	部屋の分類と記号化			
	一致	—	—	—
平面の類型への当てはめ・コード番号の付与	近似1			—
		754型	754型	
	近似2			
		454型	713型	713型
	型	454型に近似	713型に近似	713型に近似
	群	754群	713群	713群

2.1.2 平面の類型への当てはめ
三重県 伊賀市

上野市史 文化財編
pp.534-615

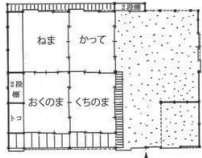

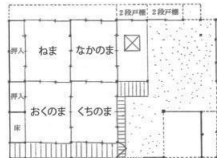
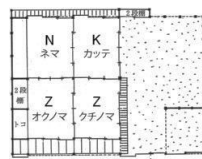

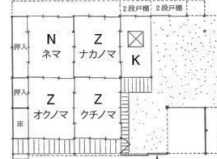
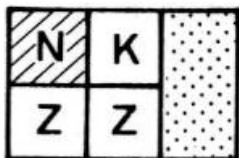


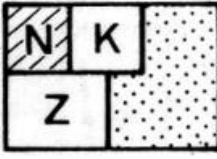
番号		10
所在地		印代
作品名		岩瀬彦一郎
建築年代	記述された年代	明治時代
	西暦	1890年頃
平面	部屋の配置	整形4間取り
	座敷数	2
	寝間数	1
	平面図 (1 / 400)	
	部屋の分類と記号化	
平面の類型への当てはめ・コード番号の付与	一致	
		754型
	近似1	—
	近似2	—
	型	754型に一致
	群	754群

2.1.2 平面の類型への当てはめ
三重県 津市

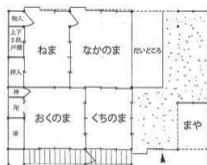
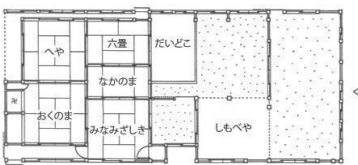
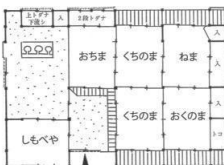
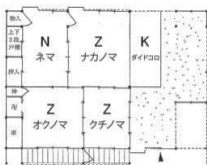
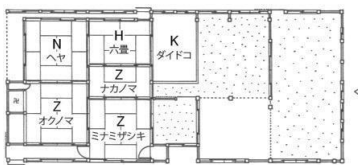

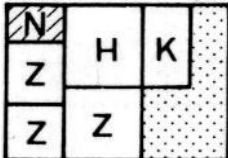
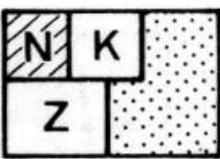
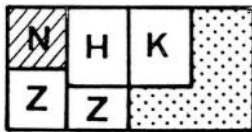
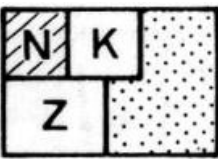
美杉村史 下巻
pp.689-722
安濃町史 通史編
pp.787-819

番号		1	2	3
所在地		三多気	三多気	三多気
作品名		溝口卯平邸	田中豊邸	谷見良邸
建築年代	記述された年代	18世紀末期頃	19世紀の初頭頃	19世紀の初頭頃
	西暦	1780年頃	1810年頃	1810年頃
平面	部屋の配置	前座敷型3間取り+だいどころ	前座敷型3間取り+だいどころ	4間取り
	座敷数	2	1	1
	寝間数	1	1	1
	平面図（1 / 400）			

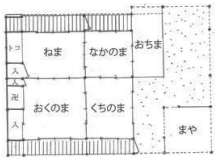
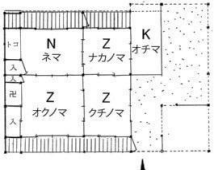
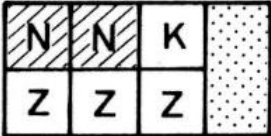
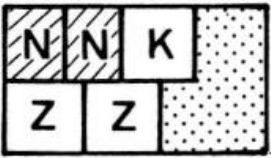
2.1.2 平面の類型への当てはめ
三重県 津市

番号		4	5	6
所在地		三多気	荒木	三多気
作品名		西村久美邸	小林豊邸	田中五夫邸
建築年代	記述された年代	19世紀前期と推定	江戸末期	約百年余り、つまり幕末に近い
	西暦	1830年頃	1830年頃	1860年頃
平面	部屋の配置	整形4間取り	6間取り+だいどころ	整形4間取り+だいどころ
	座敷数	2	3	3
	寝間数	1	2	1
	平面図 (1 / 400)			
	部屋の分類と記号化			
平面の類型への当てはめ・コード番号の付与	一致	 754型	—	—
	近似1	—	 575型	—
	近似2	—	 773型	 713型
	型	754型に一致	773型に近似	713型に近似
	群	754群	754群	713群

2.1.2 平面の類型への当てはめ
三重県 津市

番号		7	8	9
所在地		下之川	内田	三多気
作品名		渡辺糸い邸	内田照雄邸	福井治夫邸
建築年代	記述された年代	幕末から明治にかけての方式	明治初期	明治35・6年頃
	西暦	1870年頃	1870年頃	1900年頃
平面	部屋の配置	横喰違い4間取り+だいどころ	5間取り+だいどころ	整形4間取り+だいどころ
	座敷数	3	3	3
	寝間数	1	1	1
	平面図 (1 / 4 0 0)			
	部屋の分類と記号化			
	一致	—	—	—
平面の類型への当てはめ・コード番号の付与	近似1	—	 574型	—
	近似2	 713型	 563型	 713型
	型	713型に近似	563型に近似	713型に近似
	群	713群	754群	713群

2.1.2 平面の類型への当てはめ
三重県 津市

番号	10	11
所在地	丹生俣	下之川
作品名	小淵好一邸	渡辺保一邸
建築年代	記述された年代	不明(前記福井家住宅よりも発展した平面)
	西暦	1900年頃
平面	部屋の配置	整形4間取り+だいどころ
	座敷数	3
	寝間数	1
	平面図 (1 / 400)	
	部屋の分類と記号化	
平面の類型への当てはめ・コード番号の付与	一致	—
	近似1	—
	近似2	
		773型
		
		755型
	型	713型に近似
	群	713群

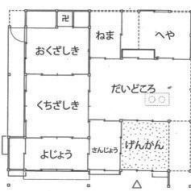
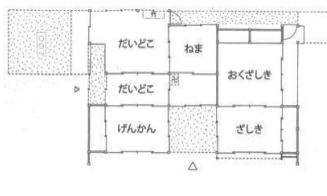
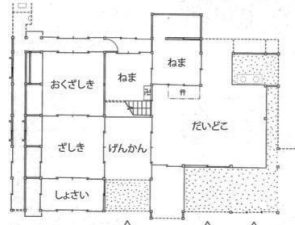
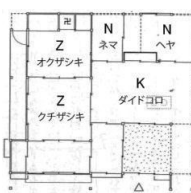
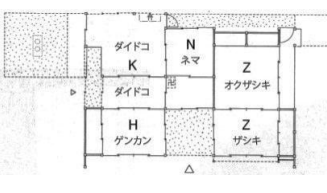
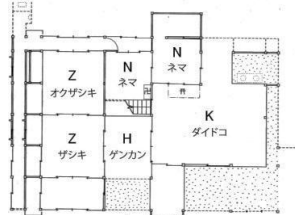
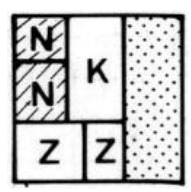
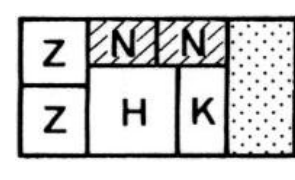
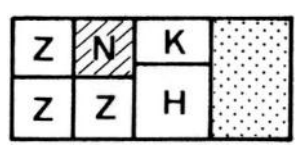
2.1.2 平面の類型への当てはめ
三重県 度会郡大紀町

紀勢町史 記録編
pp.777-835

番号		1	2	3
所在地		崎笠木	柏野沼ヶ野	崎沖田
作品名		小倉久治邸	小倉俊二郎邸	小倉章治邸
建築年代	記述された年代	江戸末～明治初	江戸末～明治初	明治初
	西暦	1860年頃	1860年頃	1870年頃
平面	部屋の配置	4間取り	4間取り	3間取り
	座敷数	2	2	2
	寝間数	1	1	1
	平面図（1 / 400）			
	部屋の分類と記号化			
平面の類型への当てはめ・コード番号の付与	一致	—	—	—
	近似1			
		452型	752型	752型
	近似2		—	—
		552型		
		型	452型に近似	752型に近似
群	452群	452群	452A群	







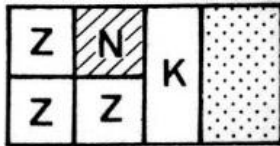


2.1.2 平面の類型への当てはめ
三重県 度会郡大紀町

紀勢町史 記録編
pp.777-835

番号		4	5	6
所在地		柏野	崎田垣	柏野
作品名		小倉裕邸	黒田哲邸	喜多直哉邸
建築年代	記述された年代	明治初	明治初	明治29年(1896年)
	西暦	1870年頃	1870年頃	1896年
平面	部屋の配置	7間取り	7間取り	7間取り
	座敷数	2	2	2
	寝間数	2	1	2
	平面図 (1 / 400)			
	部屋の分類と記号化			
平面の類型への当てはめ・コード番号の付与	一致	—	—	—
	近似1		—	
		756型		557型
	近似2	—		—
			572型	
型	756型に近似	572型に近似	557型に近似	
群	459群	512A群	452A群	

2.1.2 平面の類型への当てはめ
三重県 度会郡大紀町

紀勢町史 記録編
pp.777-835

番号		7	8	9
所在地		崎笠木	柏野	錦
作品名		小倉芳蔵邸	大野弘恒邸	谷口洋太郎
建築年代	記述された年代	明治30年(1897年)	明治32年(1899年)	大正7年(1918年)頃
	西暦	1897年	1899年	1918年
平面	部屋の配置	6間取り	5間取り	4間取り
	座敷数	3	2	1
	寝間数	1	0	1
	平面図 (1 / 400)			
	部屋の分類と記号化			
平面の類型への当てはめ・コード番号の付与	一致	—	—	—
	近似1		—	—
		771型		
	近似2	—		
			511型	420型
	型	771型に近似	511型に近似	420型に近似
群	411A群	411群	411群	

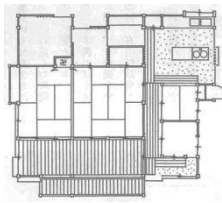



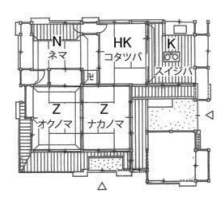
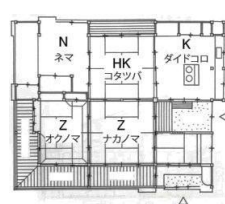
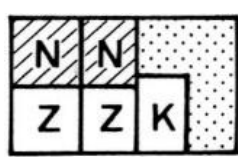
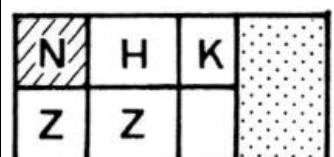



2.1.2 平面の類型への当てはめ
三重県 熊野市

三重県史 別編 建築
pp.263-421

番号		1	2	3
所在地		育生町	飛鳥町	神川町
作品名		倉本おきせ邸	杉村栄作邸	栗村八代子邸
建築年代	記述された年代	文化10年(1813年)	文政13年(1830年)	明治時代
	西暦	1813年	1830年	1890年頃
平面	部屋の配置	5間取り	4間取り+だいどころ	4間取り+だいどころ
	座敷数	2	2	1
	寝間数	1	1	2
	平面図 (1 / 400)			
	部屋の分類と記号化			
	一致	—	—	—
平面の類型への当てはめ・コード番号の付与	近似1			—
		555型	555型	
	近似2			
		713型	713型	731型
	型	713型に近似	713型に近似	731型に近似
	群	713群	713群	431群

2.1.2 平面の類型への当てはめ
三重県 熊野市

三重県史 別編 建築
pp.263-421

番号		4	5	6
所在地		五郷町	育生町	神川町
作品名		尾中熊之助邸	石倉敬一郎	東きぬ彥邸
建築年代	記述された年代	明治23年(1890年)	不明	不明
	西暦	1890年	—	—
平面	部屋の配置	4間取り+だいどころ	5間取り	5間取り
	座敷数	2	2	2
	寝間数	2	1	1
	平面図 (1 / 400)			
	部屋の分類と記号化			
	一致	—	—	—
平面の類型への当てはめ・コード番号の付与	近似1			
		758型	555型	555型
	近似2	—		
			713型	713型
	型	758型に近似	713型に近似	713型に近似
	群	754群	713群	713群

2.2 本研究の類型と吉田の類型との対照

本研究の平面の類型を表 2.4 に示す。両県それぞれ異なる 18 種の類型に当てはめることができた。表 2.5 は吉田の平面の類型から、宮城県と三重県を取り出して筆者が整理したものである。表 2.4, 2.5 を対照させると、灰色で示した平面の類型が共通していた。よって吉田の平面の類型は、おおむね妥当といえるが、一部は本研究で観察されなかった平面の類型があった。また吉田の研究で追加すべき平面の類型も観察された。

表 2.4 本研究の平面の類型

宮城県(53棟)			群	三重県(53棟)				
			411群					
252型(2棟)	411型(11棟)	453型(1棟)		411型(5棟)	420型(1棟)	511型(1棟)		
471型(1棟)	511型(2棟)	711型(5棟)	771型(1棟)					
			754群					
454型(12棟)	472型(1棟)	555型(1棟)		454型(3棟)	555型(1棟)	563型(1棟)		
575型(1棟)	754型(3棟)			754型(12棟)	755型(1棟)	758型(1棟)		
なし			713群					
				713型(16棟)				
			431群					
431型(3棟)				731型(1棟)				
			512群					
512型(3棟)	572型(1棟)			572型(1棟)				
			452群					
476型(2棟)				452型(1棟)	557型(1棟)	752型(2棟)		
なし			232群					
				232型(1棟)				
			459群					
459型(1棟)	474型(2棟)	574型(1棟)		756型(1棟)				

表 2.5 吉田の平面の類型（宮城県と三重県）＊10

宮城県(53棟)			群	三重県(24棟)		
			411群			
252型(1棟)	411型(21棟)	453型(1棟)		411型(3棟)		
458型(1棟)	471型(3棟)	511型(1棟)				
571型(1棟)						
			754群			
454型(10棟)	472型(3棟)	555型(1棟)		754型(16棟)	772型(1棟)	773型(1棟)
563型(1棟)	575型(1棟)	754型(1棟)				
なし			713群			
			713群(2棟)			
			431群	なし		
431型(1棟)	456型(1棟)					
			512群	なし		
512型(2棟)	561型(1棟)					
			452群	なし		
573型(1棟)						
なし			232群	なし		
			459群			
474型(1棟)			774型(1棟)			

第3章 架構の類型

3.1 軸組及び小屋組の類型化

(1) 軸組の類型の設定

軸組は堀江らの研究*11を参考にして、梁組及び柱立ちの類型を図3.1, 3.2のように設定した。梁組のタイプのコード番号は、a：上屋梁のみ、b：梁行梁のみ、c：上屋梁＋差鴨居、d：梁行梁＋差鴨居、e：上屋梁＋梁行梁＋差鴨居、f：上屋梁＋差鴨居＋つなぎ梁とする。柱立ちのタイプのコード番号は、0：柱なし、1：片端柱受け、2：両端柱受け、3：中通り柱受け、4：片端柱受け＋中通り柱受け、5：両端柱受け＋中通り柱受けとした。

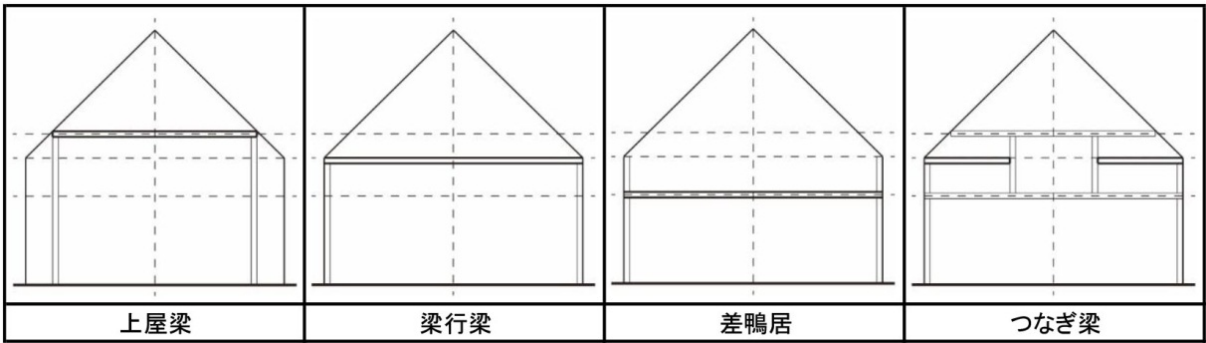


図 3.1 梁組の類型

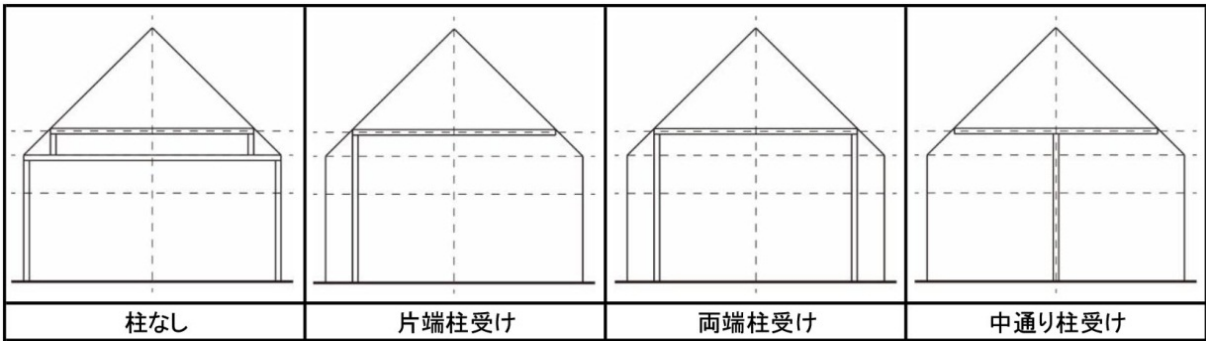


図 3.2 柱立ちの類型

(2) 小屋組の類型の設定

小屋組は川島の『小屋組の形式』*12を引用し、図3.3を小屋組の類型と設定した。小屋組のタイプのコード番号は、s：さす組、o：おだち組、w：和小屋組、n：登り梁組、wn：和小屋組＋登り梁組とした。

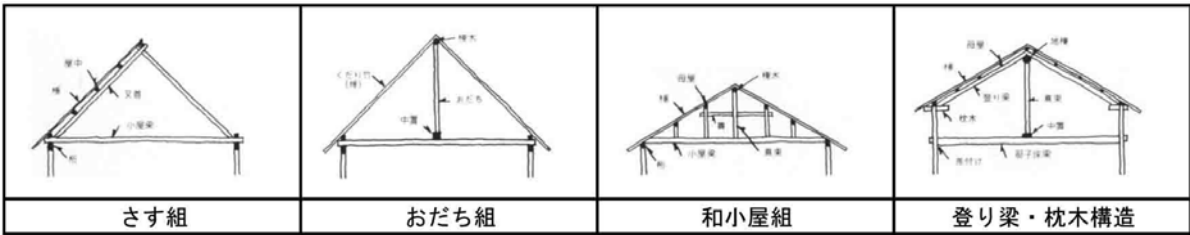


図 3.3 小屋組のモデル

3.1 軸組及び小屋組の類型化
(3)類型化
宮城県 栗原市

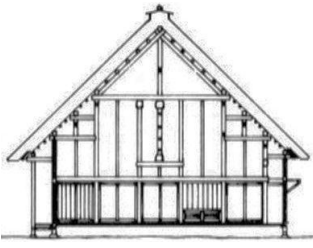
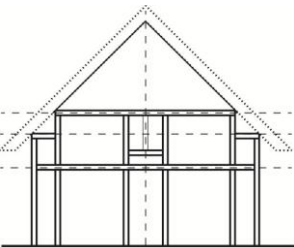
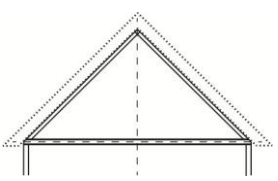
日本の民家調査報告書集成 第2巻
北海道・東北地方の民家(2) 岩手・宮城
宮城の古民家 -宮城県民家緊急調査報告書-
pp.35-40, p.34, p.96




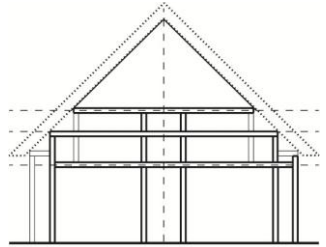
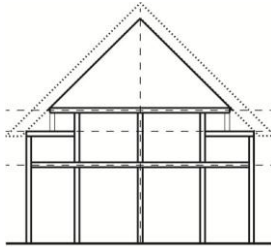
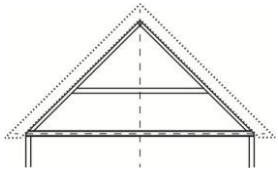
番号	1	2	3
所在地	金成	志波姫	高清水
作品名	千田賢三郎邸	相馬次男邸	熊谷義美邸
断面図 (1/300)			なし
図式の パターン化・コード 番号の付与	軸組の 類型化		
		f341	f422
	小屋組の 類型化		
		s32	s31

番号	4	5	6
所在地	金成	高清水	栗駒
作品名	菅原孝邸	工藤信一郎	大内朗邸
断面図 (1/300)	なし		
図式の パターン化・コード 番号の付与	軸組の 類型化		
		c423	f331
	小屋組の 類型化		
		s01	s01

3.1 軸組及び小屋組の類型化
(3)類型化
宮城県 栗原市

日本の民家調査報告書集成 第2巻
北海道・東北地方の民家(2) 岩手・宮城
宮城の古民家 -宮城県民家緊急調査報告書-
pp.35-40, p.34, p.96

番号	7	8	9
所在地	瀬峰大里	栗駒	栗駒
作品名	白鳥亥三男邸	高橋清邸	菅原初郎邸
断面図 (1/300)	なし		なし
図式の パターン化・コード 番号の付与	軸組	 f523	—
		 s11	

番号	10	11	12
所在地	築館	築館	金成
作品名	高橋恒夫邸	伊藤博邸	菅原才二郎邸
断面図 (1/300)			
図式の パターン化・コード 番号の付与	軸組	 e321	 f331
		 s02	

3.1 軸組及び小屋組の類型化
(3)類型化
宮城県 栗原市

日本の民家調査報告書集成 第2巻
北海道・東北地方の民家(2) 岩手・宮城
宮城の古民家 -宮城県民家緊急調査報告書-
pp.35-40, p.34, p.96

番号		13
所在地		栗駒
作品名		佐藤喜悦邸
断面図 (1/300)		なし
図式の パターン 化・コ ード 番号 の付 与	軸組	—
	小屋組	—

3.1 軸組及び小屋組の類型化
(3)類型化
宮城県 石巻市

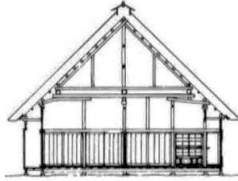
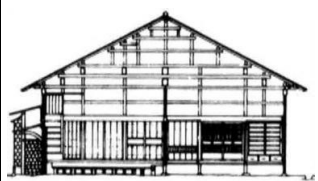

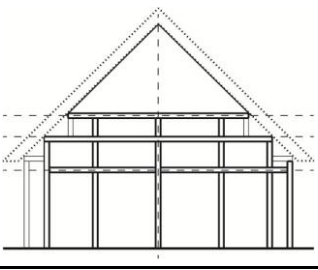
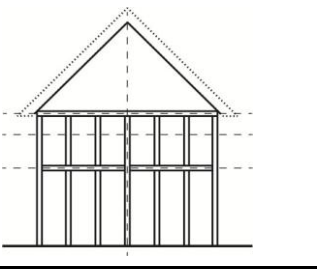
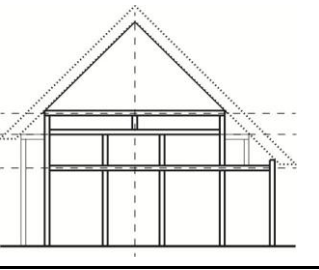
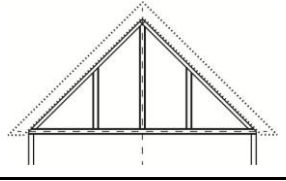
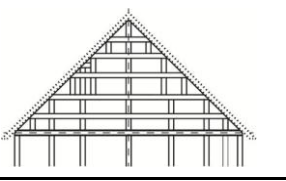
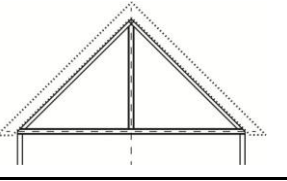
日本の民家調査報告書集成 第2巻
北海道・東北地方の民家(2) 岩手・宮城
宮城の古民家 -宮城県民家緊急調査報告書-
pp.32-34, pp.75-89

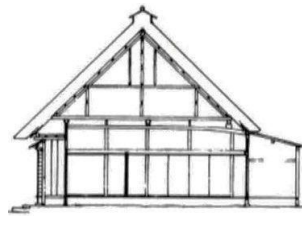

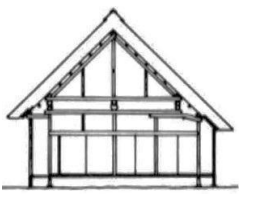
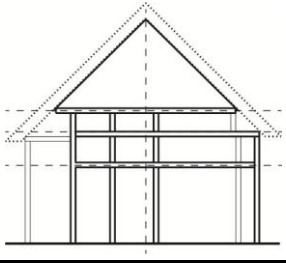
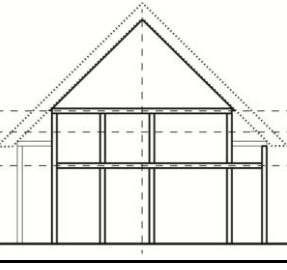
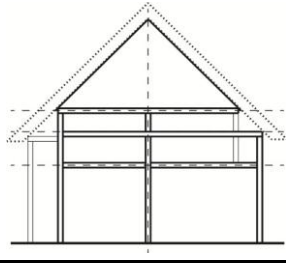
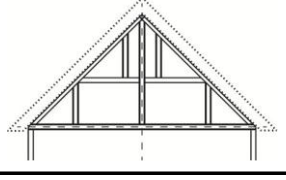
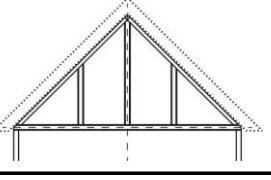
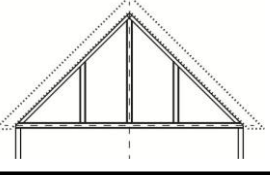
番号		1	2	3
所在地		沼津	南境	蛇田
作品名		木村広助邸	佐々木ひで子邸	佐々木長五郎邸
断面図 (1/300)				
図式の パターン化・コード 番号の付与	軸組			
		e432	e101	f422
	小屋組			
		s31	s11	s31

番号		4	5	6
所在地		桃生檜崎	北上女川	桃生檜崎
作品名		首藤信乃邸	武山豊助邸	千葉美雄邸
断面図 (1/300)				なし
図式の パターン化・コード 番号の付与	軸組			—
		f432	f332	
	小屋組			—
		s32	s31	

3.1 軸組及び小屋組の類型化
(3)類型化
宮城県 石巻市

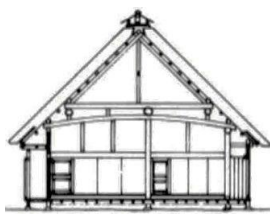
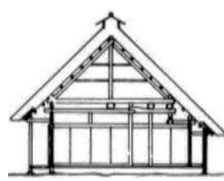
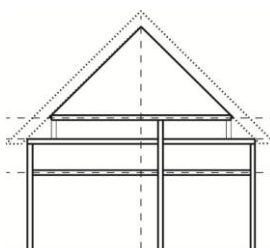
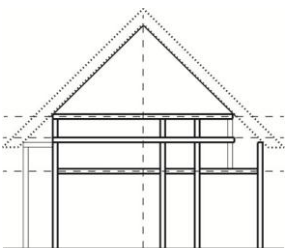
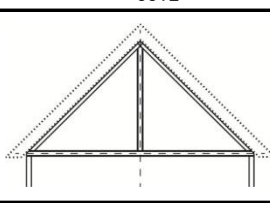
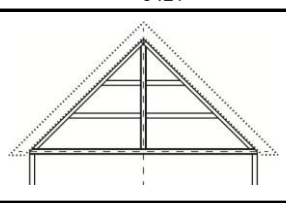
日本の民家調査報告書集成 第2巻
北海道・東北地方の民家(2) 岩手・宮城
宮城の古民家 -宮城県民家緊急調査報告書-
pp.32-34, pp.75-89



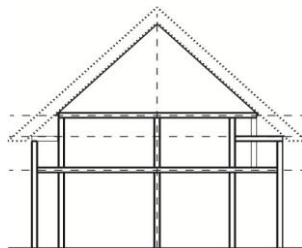
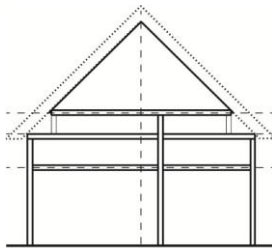
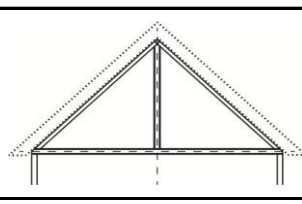
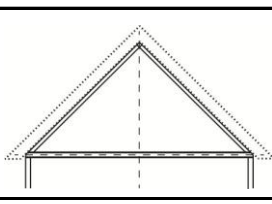
番号		7	8	9
所在地		北上橋浦	雄勝名振	北上長塩谷
作品名		今野農事邸	永瀬頼邸	武山昭利邸
断面図 (1/300)				
図式の パターン化・コード 番号の付与	軸組			
		e331	c551	e521
	小屋組			
		s31	w61	s11

番号		10	11	12
所在地		雄勝船越	渡波	渡波
作品名		高橋てよ邸	津田政蔵邸	亀山義一郎邸
断面図 (1/300)				
図式の パターン化・コード 番号の付与	軸組			
		e333	c521	e411
	小屋組			
		s33	s31	s31

3.1 軸組及び小屋組の類型化
(3) 類型化
宮城県 仙台市


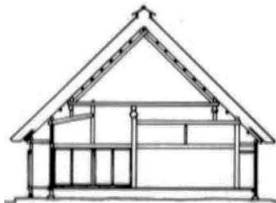

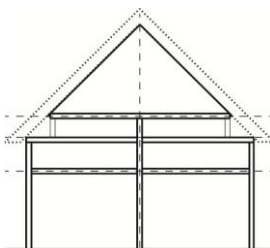
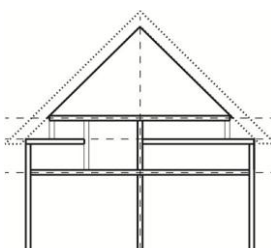
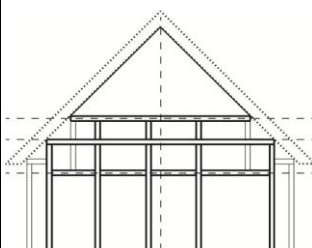
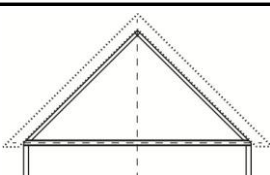
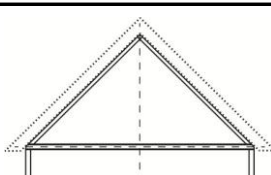
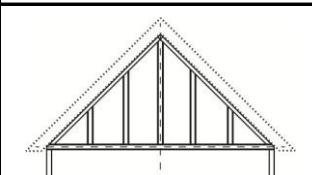
日本の民家調査報告書集成 第2巻
北海道・東北地方の民家(2) 岩手・宮城
宮城の古民家 -宮城県民家緊急調査報告書-
pp.46-48, pp.110-119

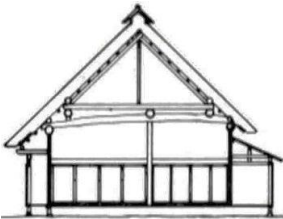
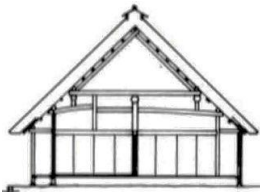
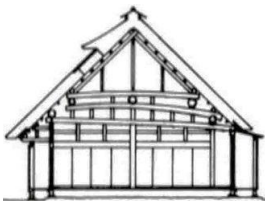
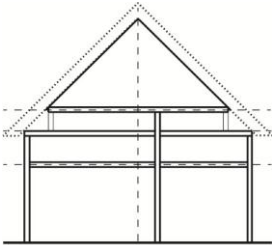
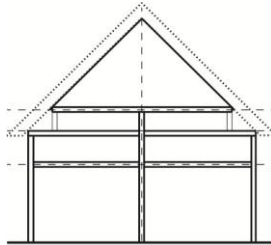
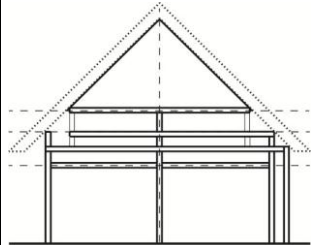
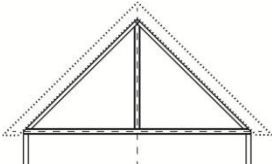
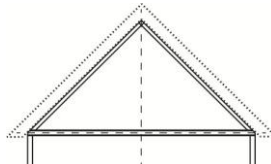
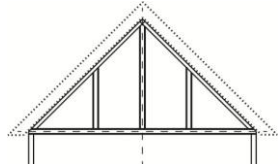
番号		1	2	3	
所在地		青葉区下愛子	青葉区大倉	泉区福岡	
作品名		庄司はつえ邸	結城幸夫邸	桜下吉治邸	
断面図 (1/300)			なし		
図式の パターン化・コード 番号の付与	軸組		—		
		e312		e421	
	小屋組			—	
		s11			s12

番号		4	5
所在地		青葉区大倉	太白区長袋
作品名		結城藤吉邸	佐藤門治邸
断面図 (1/300)			
図式の パターン化・コード 番号の付与	軸組		
		f421	e312
	小屋組		
		s11	s01

3.1 軸組及び小屋組の類型化
(3)類型化
宮城県 仙台市


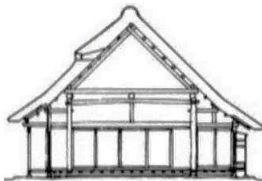

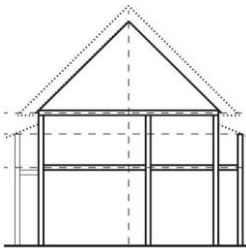
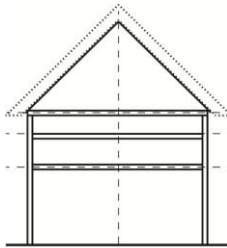
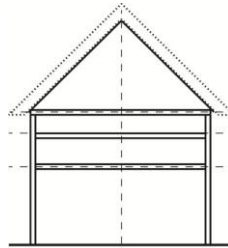
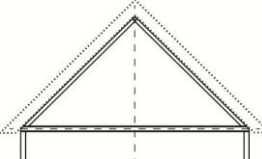
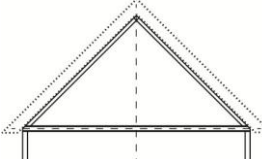
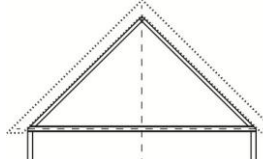
日本の民家調査報告書集成 第2巻
北海道・東北地方の民家(2) 岩手・宮城
宮城の古民家 -宮城県民家緊急調査報告書-
pp.46-48, pp.110-119

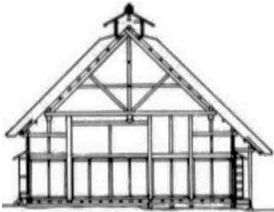
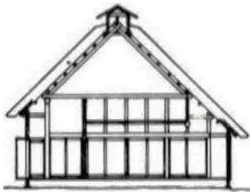
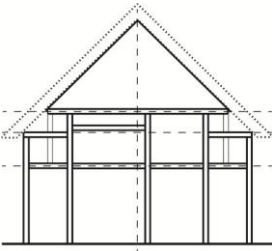
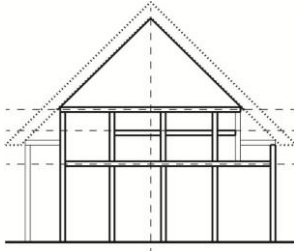
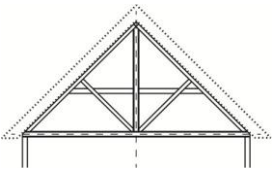
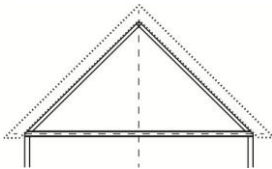
番号		6	7	8	
所在地		泉区西田中	太白区境野	青葉区芋沢	
作品名		庄司長一郎	早坂金太郎邸	奥山やい子邸	
断面図 (1/300)					
図式の パターン化・ コード 番号の付与	軸組				
		e311	f311	e332	
	小屋組				
		s01	s01	s51	

番号		9	10	11
所在地		青葉区上愛子	太白区長袋	泉区上谷刈
作品名		石垣茂嘉邸	伊藤丑蔵邸	萱場久夫邸
断面図 (1/300)				
図式の パターン化・ コード番号の付与	軸組			
		e312	e311	e313
	小屋組			
		s11	s01	s31

3.1 軸組及び小屋組の類型化
(3)類型化
宮城県 角田市

日本の民家調査報告書集成 第2巻
北海道・東北地方の民家(2) 岩手・宮城
宮城の古民家 -宮城県民家緊急調査報告書-
pp.53-54, pp.133-140

番号		1	2	3
所在地		枝野	高倉	尾山
作品名		本田邵邸	佐藤源邸	高橋国雄邸
断面図 (1/300)				
図式の パターン化・コード 番号の付与	軸組			
		c511	e201	e201
	小屋組			
		s01	s01	s01

番号		4	5
所在地		毛萱	小田
作品名		村上平一郎邸	高橋ふさ邸
断面図 (1/300)			
図式の パターン化・コード 番号の付与	軸組		
		f333	f431
	小屋組		
		s13	s01

3.1 軸組及び小屋組の類型化
(3) 類型化
宮城県 白石市

日本の民家調査報告書集成 第2巻
北海道・東北地方の民家(2) 岩手・宮城
宮城の古民家 -宮城県民家緊急調査報告書-
pp.57-60, pp.149-159

番号		1	2	3
所在地		小原古原	鷹巣	後小路
作品名		高橋利三郎邸	菊池栄喜邸	小関敏邸
断面図 (1/300)				
図式の パターン化・コード 番号の付与	軸組			
		e512	f421	f521
	小屋組			
		s11	s11	s11

番号		4	5	6
所在地		鷹巣	深谷中丸	鷹巣
作品名		菊池清三邸	木須四一邸	高子一雄邸
断面図 (1/300)				
図式の パターン化・コード 番号の付与	軸組			
		c514	f522	e513
	小屋組			
		s11	s01	s01

3.1 軸組及び小屋組の類型化
(3) 類型化
宮城県 白石市

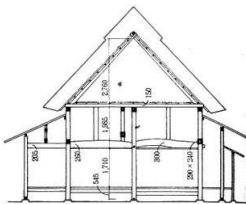
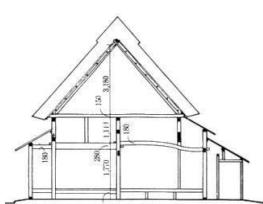

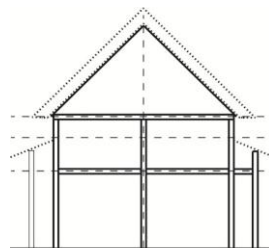
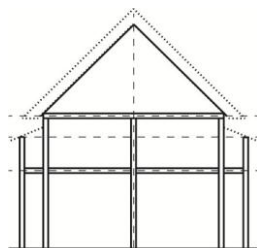
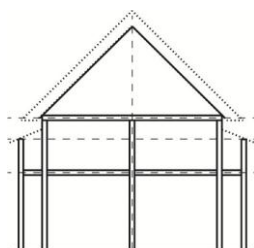
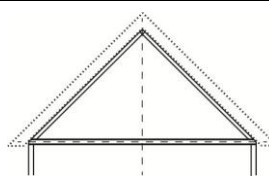
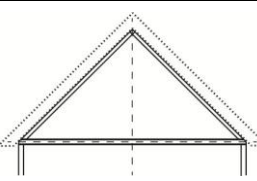
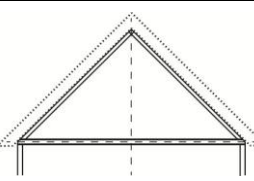
日本の民家調査報告書集成 第2巻
北海道・東北地方の民家(2) 岩手・宮城
宮城の古民家 -宮城県民家緊急調査報告書-
pp.57-60, pp.149-159

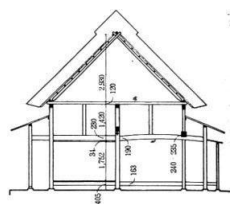
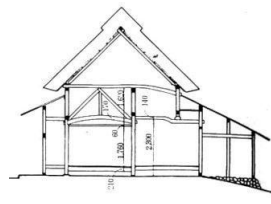
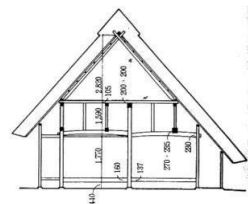
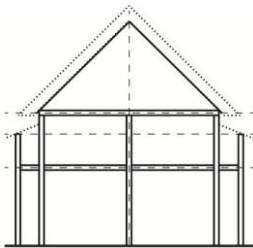
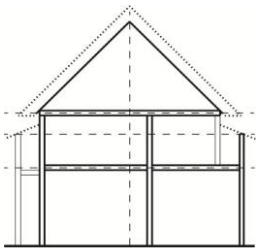
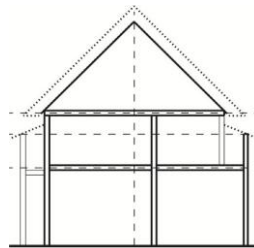
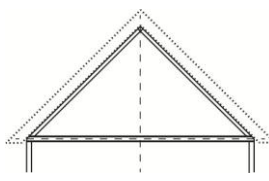
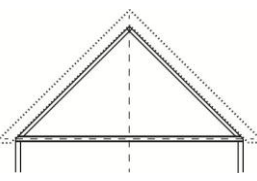
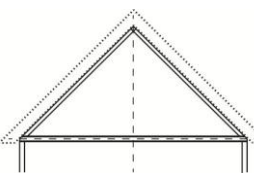
番号	7	8	9
所在地	鷹巣	斎川	鷹巣
作品名	遠藤忠雄邸	佐藤妙二郎	跡部勝左右邸
断面図 (1/300)			
図式の パターン化・コード 番号の付与	軸組		
		e514	e515
	小屋組		
		s01	s01
図式の パターン化・コード 番号の付与	軸組		
		f511	
	小屋組		
		s01	s01

番号	10	11	12
所在地	斎川	鷹巣	福岡
作品名	島貫芳蔵邸	佐藤敬一郎	高野豊二郎
断面図 (1/300)			
図式の パターン化・コード 番号の付与	軸組		
		f531	e516
	小屋組		
		s31	s32
図式の パターン化・コード 番号の付与	軸組		
		e521	
	小屋組		
		s31	s31

3.1 軸組及び小屋組の類型化
(3)類型化
三重県 いなべ市

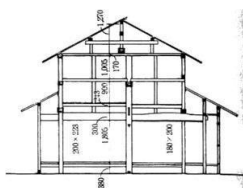
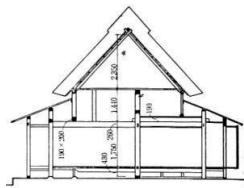
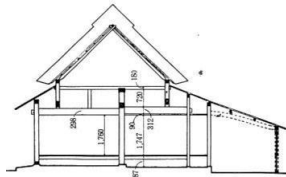
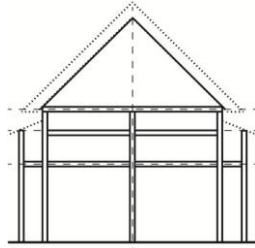
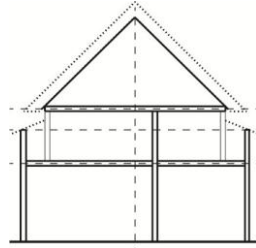
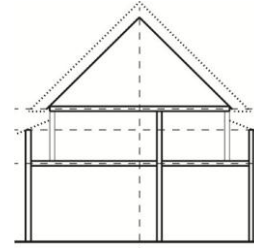
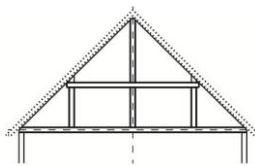
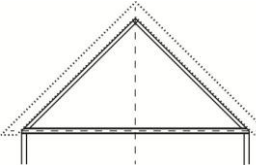
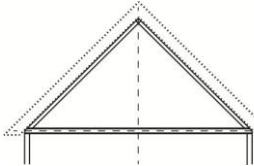
大安町史 (第二巻)
pp.475-547


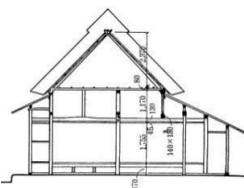
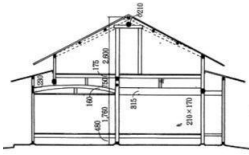
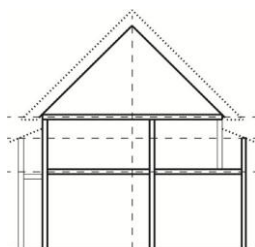
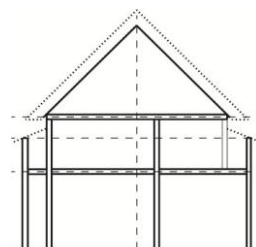
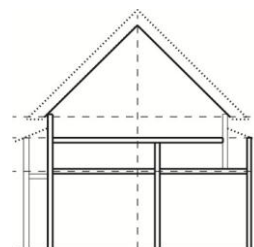
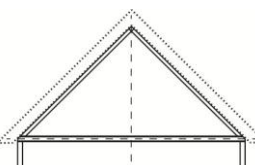
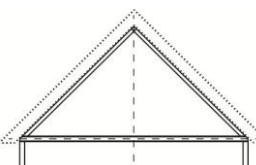
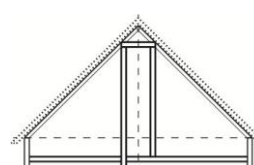
番号		1	2	3
所在地		平塚	片樋	高柳
作品名		土屋和喜子邸	横田幸見邸	瀬木興治邸
断面図 (1/300)				
図式の パターン化・コード 番号の付与	軸組			
		c513	c512	c512
	小屋組			
		s01	s01	s01

番号		4	5	6
所在地		丹生川上	丹生川久下	石樽南
作品名		樋口幸七邸	山北武司邸	岡常一邸
断面図 (1/300)				
図式の パターン化・コード 番号の付与	軸組			
		c512	c412	c412
	小屋組			
		s01	s01	s01

3.1 軸組及び小屋組の類型化
(3)類型化
三重県 いなべ市

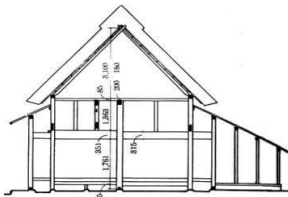


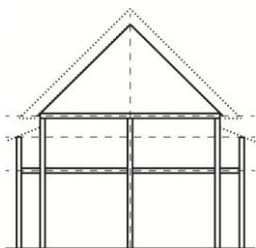
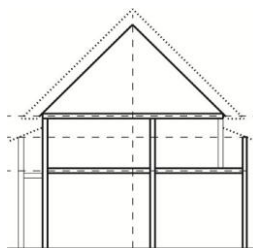
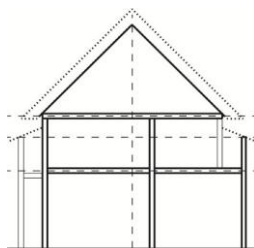
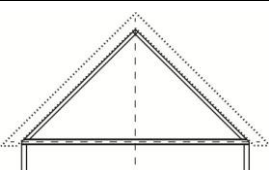
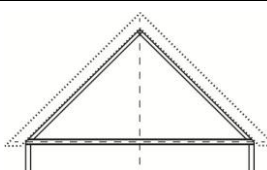
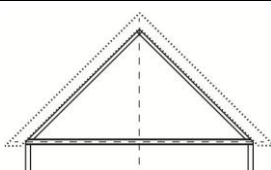
大安町史 (第二巻)
pp.475-547

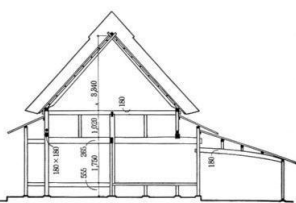

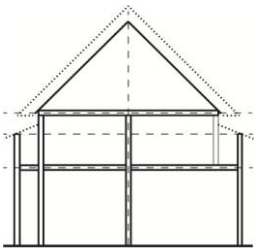
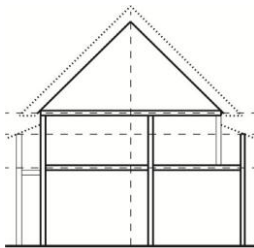
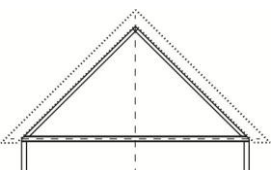
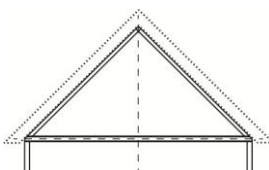
番号		7	8	9
所在地		片樋	片樋	丹生川上
作品名		日下徳重邸	渡部稔邸	山本教雄邸
断面図 (1/300)				
図式の パターン化・コード 番号の付与	軸組			
		e511	c311	c311
	小屋組			
		w21	s01	s01

番号		10	11	12
所在地		石榑東	丹生川久下	宇賀
作品名		弓矢守邸	出口久由邸	神谷欽一郎
断面図 (1/300)				
図式の パターン化・コード 番号の付与	軸組			
		c412	c414	d411
	小屋組			
		s01	s01	n11

3.1 軸組及び小屋組の類型化
(3)類型化
三重県 いなべ市



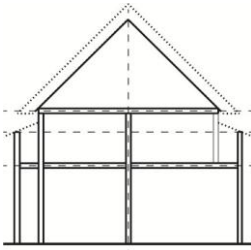
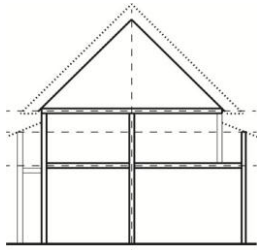
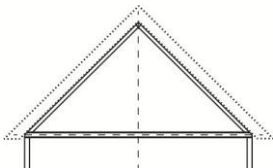
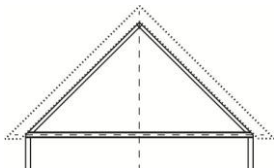
大安町史 (第二巻)
pp.475-547

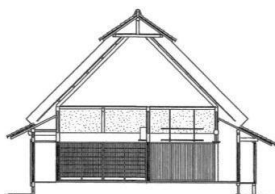


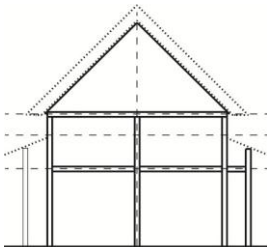
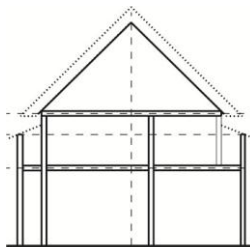
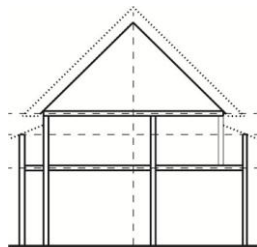
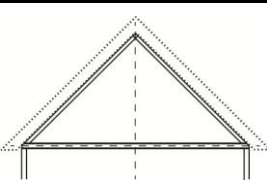
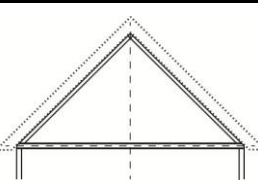
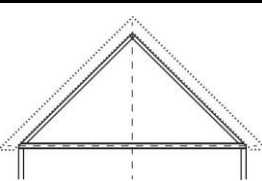
番号		13	14	15
所在地		梅戸	石樽南	石樽南
作品名		門脇周一郎	岡文雄邸	諸岡忠次邸
断面図 (1/300)				
図式の パターン化・コード 番号の付与	軸組			
		c512	c412	c412
	小屋組			
		s01	s01	s01

番号		16	17
所在地		石樽南	梅戸
作品名		伊藤正義邸	小川敏彦邸
断面図 (1/300)			
図式の パターン化・コード 番号の付与	軸組		
		c413	c412
	小屋組		
		s01	s01

3.1 軸組及び小屋組の類型化
(3)類型化
三重県 伊賀市

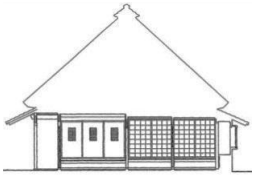


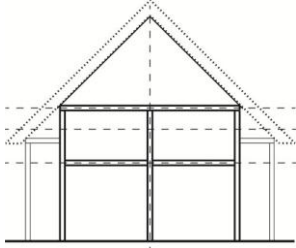
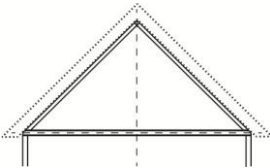
上野市史 文化財編
pp.534-615

番号		1	2	3
所在地		比土	西高倉	諏訪
作品名		中西定夫邸	日根野達三邸	北村汪邸
断面図 (1/300)				なし
図式の パターン化・コード 番号の付与	軸組			—
		c413	c411	
	小屋組			—
		s01	s01	

番号		4	5	6
所在地		高山	西高倉	諏訪
作品名		山島勝年邸	増山キヨノ邸	稲葉春昭邸
断面図 (1/300)				
図式の パターン化・コード 番号の付与	軸組			
		c513	c414	c414
	小屋組			
		s01	s01	s01

3.1 軸組及び小屋組の類型化
(3)類型化
三重県 伊賀市

上野市史 文化財編
pp.534-615

番号	7	8	9
所在地	諏訪	法花	白檜
作品名	城下一二邸	中久郎邸	猪野岩一邸
断面図 (1/300)			
図式の パターン化・コード 番号の付与	軸組	不明	
		c514	c511
	小屋組	不明	
		s01	s01

番号	10	
所在地	印代	
作品名	岩瀬彦一邸	
断面図 (1/300)		
	図式の パターン化・コード 番号の付与	
軸組	不明	
小屋組	不明	

3.1 軸組及び小屋組の類型化
(3)類型化
三重県 津市

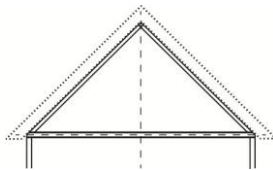
美杉村史 下巻
pp.689-722
安濃町史 通史編
pp.787-819

番号	1	2	3
所在地	三多気	三多気	三多気
作品名	溝口卯平邸	田中豊邸	谷見良邸
断面図 (1/300)			
図式の パターン化・コード 番号の付与	軸組		
		e412	e412
	小屋組		
		s01	s01
図式の パターン化・コード 番号の付与	軸組		
		f411	f411
	小屋組		
		s01	s01

番号	4	5	6
所在地	三多気	荒木	三多気
作品名	西村久美邸	小林豊邸	田中五夫邸
断面図 (1/300)			
図式の パターン化・コード 番号の付与	軸組		
		c422	c421
	小屋組		
		s01	wn31
図式の パターン化・コード 番号の付与	軸組		
		f524	f524
	小屋組		
		s01	s01

3.1 軸組及び小屋組の類型化
(3)類型化
三重県 津市

美杉村史 下巻
pp.689-722
安濃町史 通史編
pp.787-819

番号		7	8	9
所在地		下之川	内田	三多気
作品名		渡辺ゑい邸	内田照雄邸	福井治夫邸
断面図 (1/300)				
図式の パターン化・コード 番号の付与	軸組			
		f512	d412	c414
	小屋組			
		s01	n01	s01

番号		10	11
所在地		丹生俣	下之川
作品名		小淵好一郎	渡辺保一郎
断面図 (1/300)		なし	なし
図式の パターン化・コード 番号の付与	軸組	—	—
	小屋組	—	—



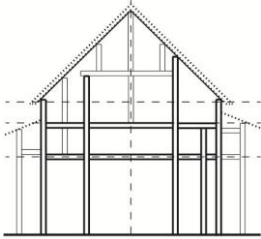
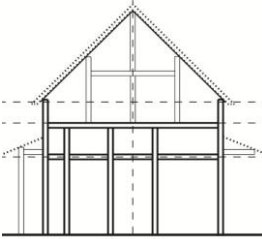
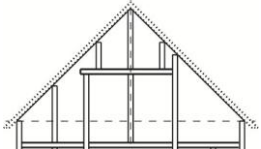
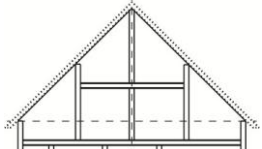
3.1 軸組及び小屋組の類型化

(3) 類型化

三重県 度会郡大紀町


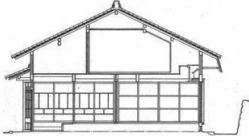
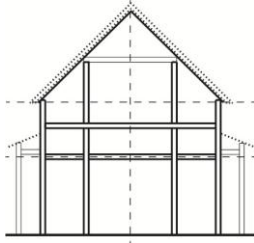
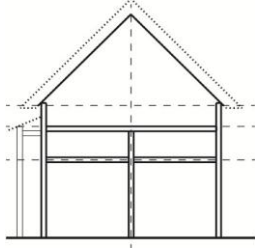
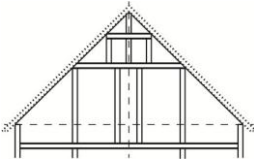
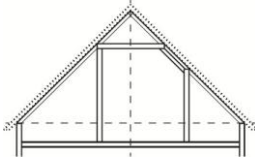
紀勢町史 記録編
pp.777-835

番号	1	2	3
所在地	崎笠木	柏野沼ヶ野	崎沖田
作品名	小倉久治邸	小倉俊二邸	小倉章治邸
断面図 (1/300)	なし	なし	なし
図式の パターン化・コード 番号の付与	軸組	—	—
	小屋組	—	—

番号	4	5	6
所在地	柏野	崎田垣	柏野
作品名	小倉裕邸	黒田哲邸	喜多直哉邸
断面図 (1/300)			なし
図式の パターン化・コード 番号の付与	軸組	 d531	—
	小屋組	 d532	—
	 w24	 w23	—

3.1 軸組及び小屋組の類型化
(3)類型化
三重県 度会郡大紀町

紀勢町史 記録編
pp.777-835


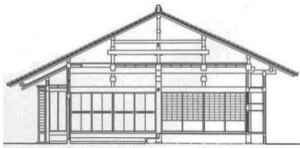
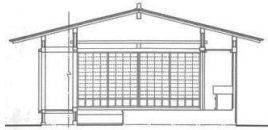
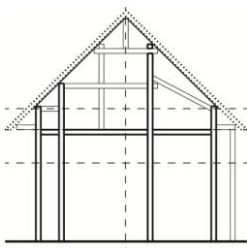
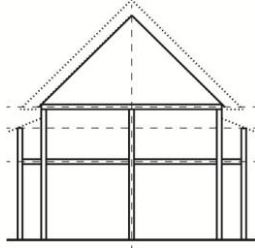
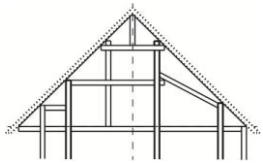
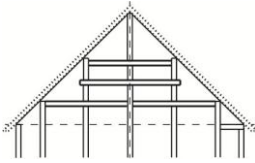
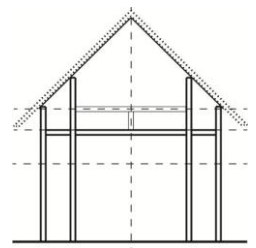
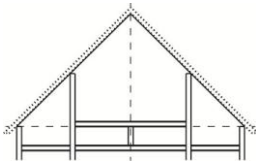
番号		7	8	9
所在地		崎笠木	柏野	錦
作品名		小倉芳蔵邸	大野弘恒邸	谷口洋太郎
断面図 (1/300)			なし	
図式の パターン化・ コード 番号の付与	軸組		—	
		d521		d511
	小屋組			
		w31		n02


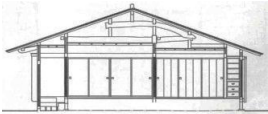

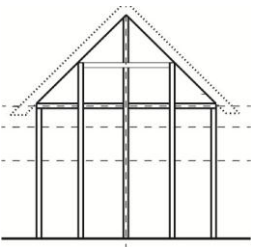
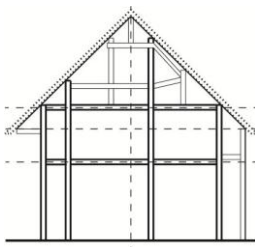
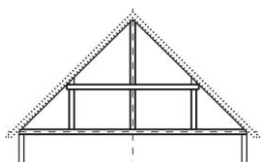

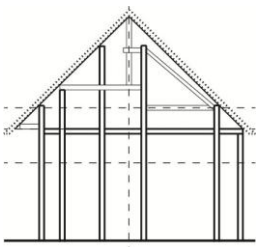
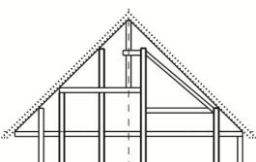
3.1 軸組及び小屋組の類型化

(3) 類型化

三重県 熊野市

三重県史 別編 建築
pp.263-421

番号	1	2	3
所在地	育生町	飛鳥町	神川町
作品名	倉本おきせ邸	杉村栄作邸	栗村八代子邸
断面図 (1/300)			
図式の パターン化・コード 番号の付与	軸組		
		b521	c512
	小屋組		
		wn21	w32
			b522
			
			w22

番号	4	5	6
所在地	五郷町	育生町	神川町
作品名	尾中熊之助邸	石倉敬一郎邸	東きぬゑ邸
断面図 (1/300)			
図式の パターン化・コード 番号の付与	軸組		
		a531	c522
	小屋組		
		w21	wn22
			
			b531
			
			wn41

3.2 軸組の類型のバリエーション

軸組の類型化の結果を表 3.1 に示す。縦軸は梁組の類型、横軸は柱立ての類型である。コード番号の十の位は中通り柱の本数、一の位は中通り柱の位置、梁材の両端の位置で、順に番号を付与した。三重県の軸組の類型を灰色で示す。さらに c423, c511, c514 は両県で共通する軸組の類型であった。

宮城県の民家は縦軸の e, f, 横軸の 3, 4, 5 の位置に類型が集まった。三重県の民家は縦軸の b, c, d、横軸の 4, 5 の類型が集まった。

3.3 小屋組の類型のバリエーション

小屋組の類型化の結果を表 3.2 に示す。さす組はコード番号の十の位を小屋束の本数とし、順に番号を付与した。和小屋組はコード番号の十の位を小屋梁の本数とし、順に番号を付与した。登り梁組はコード番号の十の位を中通り柱の本数とし、順に番号を付与した。三重県の小屋組の類型を灰色で示す。さらに s01 は両県で共通する小屋組の類型であった。

宮城県の民家のさす組は、さす束及び小屋貫による補強が見られた。川島によれば、『寒地で積雪量の多い地方や、屋根が大きくて又首が長大な場合には、又首の撓みを防ぐために中間に束を立てて鳥居組として補強する』*13 とある。宮城県は雪が関係するのではないかとと思われる。宮城県の民家は、「さす組」の類型にバリエーションが見られた。対して三重県の民家は、「和小屋組」、「登り梁組」、「和小屋組+登り梁組」の類型にバリエーションが見られた。

表 3.2 本研究の小屋組の類型


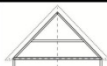
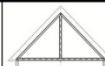
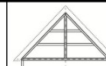
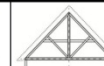











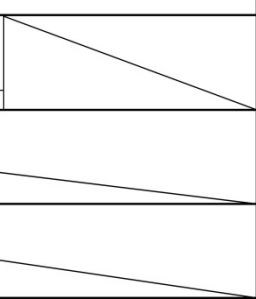



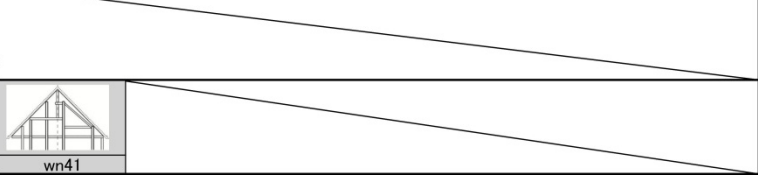





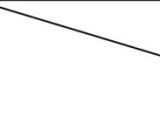
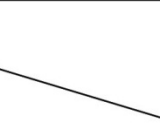




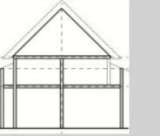







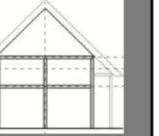





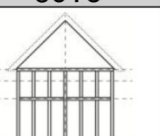
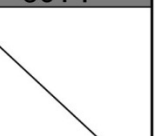






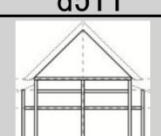
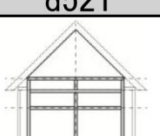



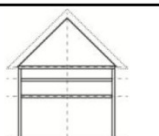

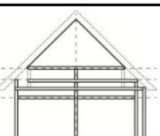



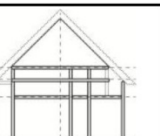
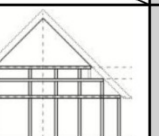

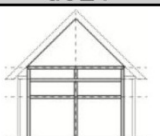


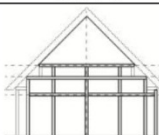

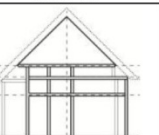

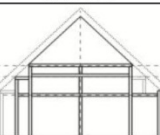
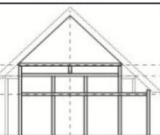





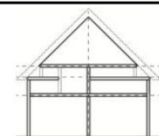

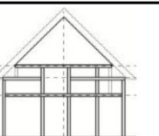

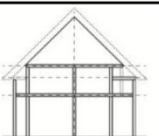
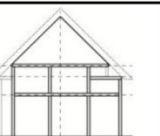

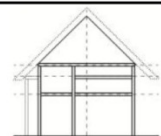
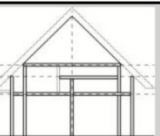

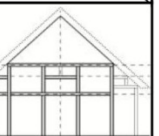




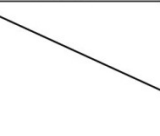








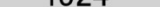


さす組 S											
おだち組 O	なし										
和小屋組 W											
登り梁組 N											
和小屋組 + 登り梁組 WN											

表 3.1 本研究の軸組の類型

	柱なし 0	片端柱受け 1	両端柱受け 2	柱なし＋中通り柱受け 3			片端柱受け＋中通り柱受け 4				両端柱受け＋中通り柱受け 5						
上屋梁のみ a	—	—	—	—			—					  					
梁行梁のみ b	—	—	—	—			—				a531				b521	b522	b531
上屋梁＋差鴨居 c	—	—	—		   												
				c311			c411	c412	c413	c414	c511	c512	c513	c514			
																	
							c421	c422	c423	c521	c522	c523	c524				
梁行梁＋差鴨居 d	—	—	—	—					   								
d411	d412	d511	d521	d523	d524												
上屋梁＋梁行梁＋差鴨居 e	—																
		e101	e201	e311	e313	e321	e411	e412	e421	e431	e511	e512	e513	e514			
							   										
					e331	e332						e333	e515	e516	e517	e518	
上屋梁＋差鴨居＋つなぎ梁 f	—	—	—														
				f311	f331	f332	f411	f421	f422	f423	f511	f512	f521	f522			
								   				   					
							f333			f341	f431			f432	f523	f524	f525

第4章 考察

4.1 平面及び架構のタイプの対応に関する考察

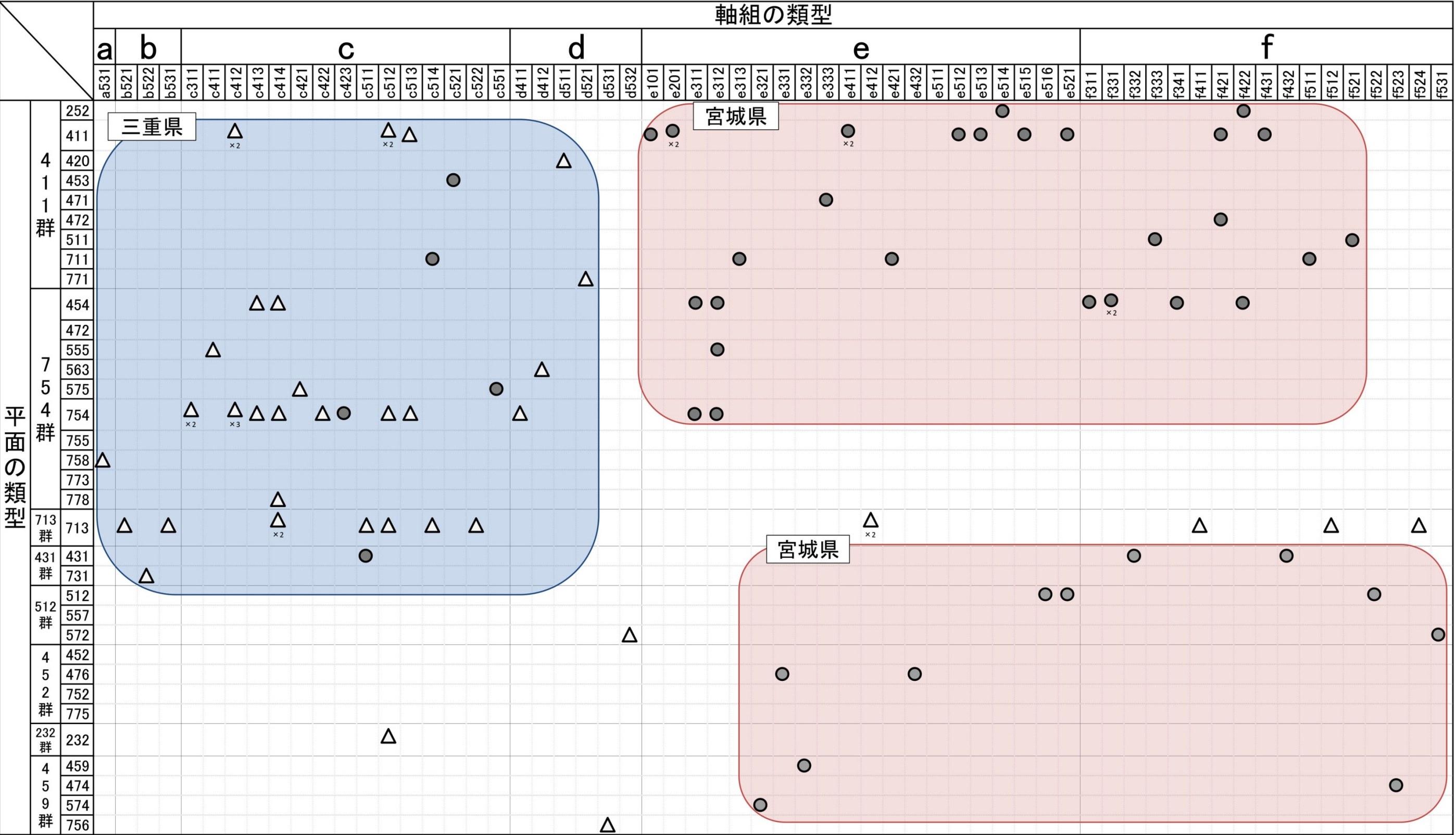
表 4.1 は縦軸を平面の類型、横軸を軸組の類型とし、当該民家の類型を該当する位置にプロットしたものである。宮城県の民家を「●」、三重県の民家「△」で示した。

例外はあるが、宮城県は表 4.1 の右側上部及び下部にそれぞれの類型がプロットされた。三重県は表の左側上部から中央部にかけて類型がプロットされた。

次に市町レベルの観察を表 4.2 に示す。各市町の点の集まる個所をおおよその枠で囲んだ。各市町で枠が複数ある場合と特異点がある場合は線を結んで示した。各市町で観察されたそれぞれの枠は、縦方向に大きくなるまたは複数並ぶと、平面の類型は不定、軸組の類型は一定だといえる。枠が横方向に大きくなるまたは複数並ぶと、平面の類型は一定、軸組の類型は不定といえる。

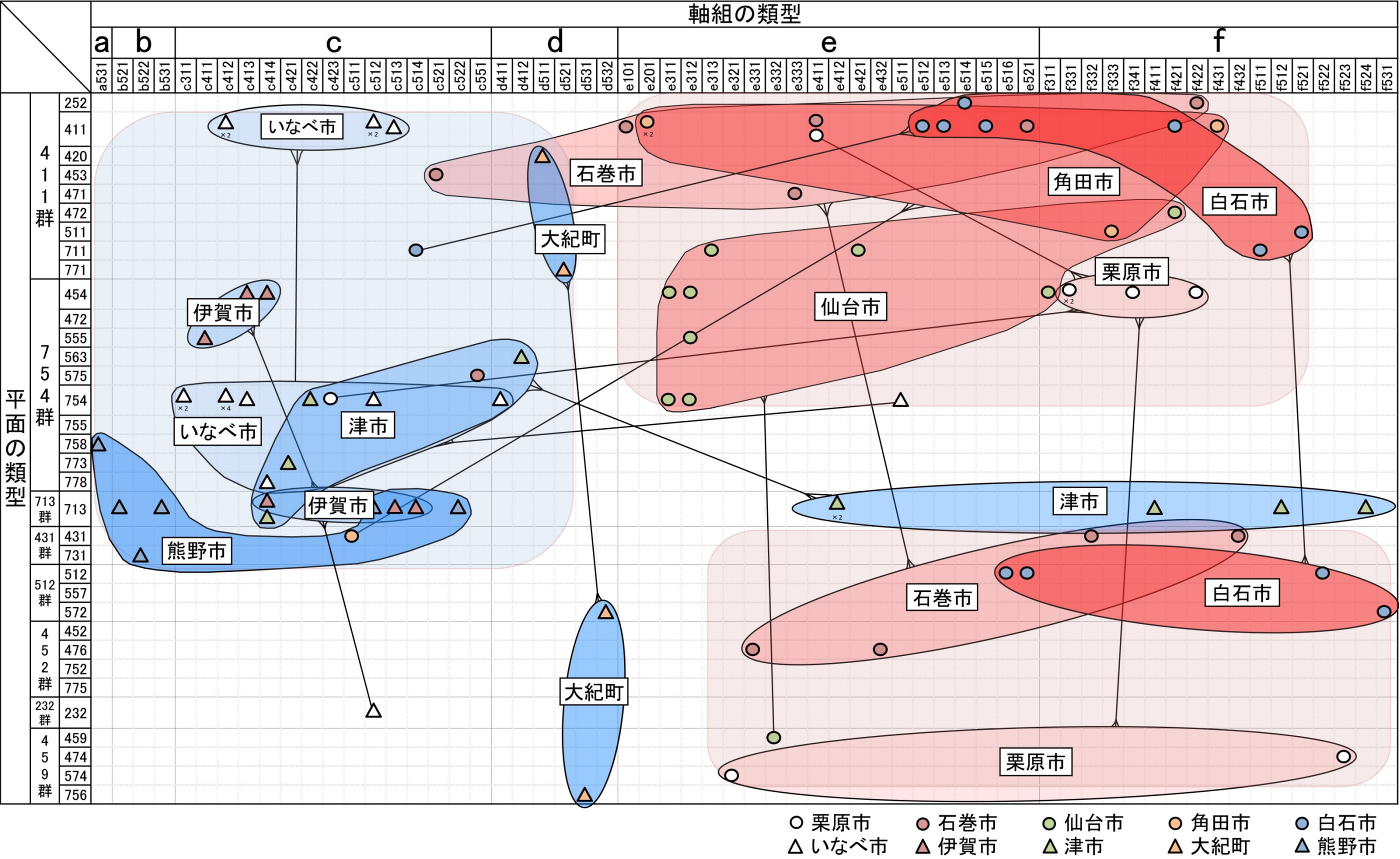
県レベル、市町レベルの観察から、吉田の平面の類型に架構の類型を掛け合わせることで、民家の地域的な差異の記述する能力が高まったといえるだろう。

表 4.1 本研究の平面及び軸組の種類の対照（県レベル）



● : 宮城県の民家
△ : 三重県の民家

表 4.2 本研究の平面及び軸組の類型の対照（市町レベル）



4.2 変調に関する考察

4.2.1 平面の変調

代表的な平面の変調が加えられる部位は、①土座と床座との間仕切り、②寝間と座敷との間仕切り、③縁側の位置、④縁側の種類、⑤主屋内のウマヤ（馬屋）もしくはシモベヤ（下部屋）の有無、⑥囲炉裏の有無と設定した。これに準じて各民家の変調の図を作成する。

図 4.1 は間仕切りの種類別の描き方を示した。図 4.2 は押入による間仕切りを分類した。図 4.3 は縁側が取り付けられる位置で分類した。図 4.4 は縁側の種類別に分類した。

さらに一つの民家に同じ記号の部屋が複数ある場合は、N1, N2, N3, ...のように記号の後に番号を振り分けることにした。

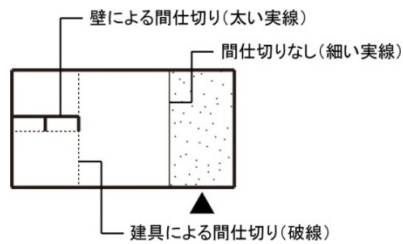


図 4.1 間仕切りの種類別の描き方

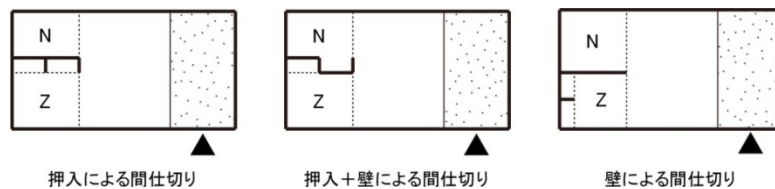


図 4.2 押入による間仕切りの分類

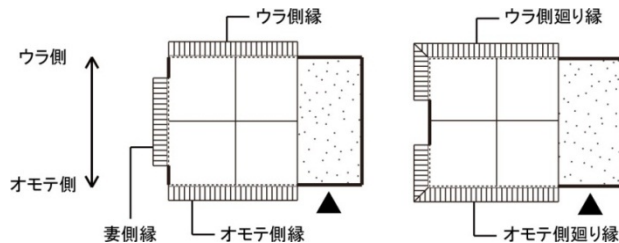


図 4.3 縁側の位置の分類

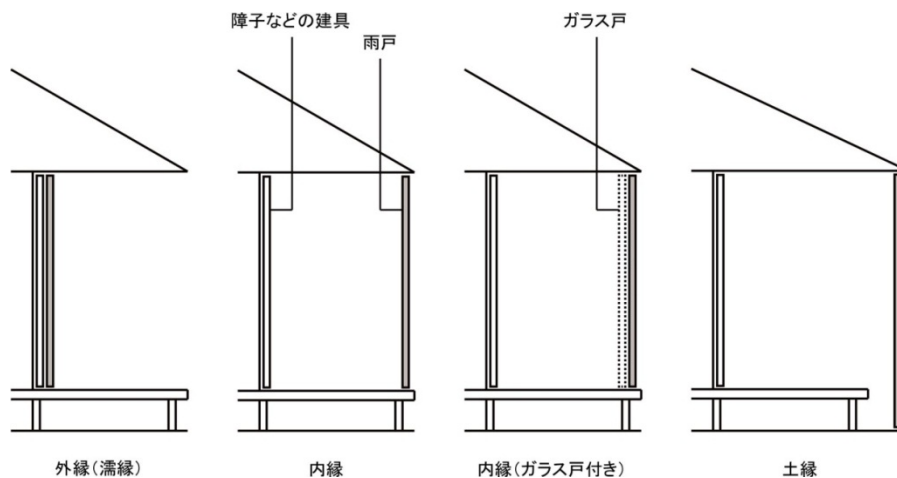

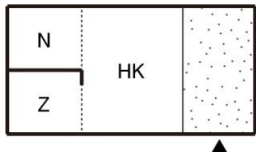
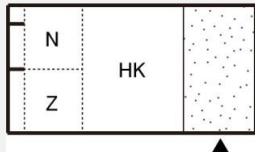
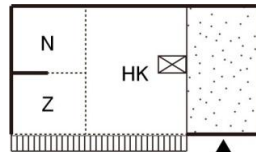
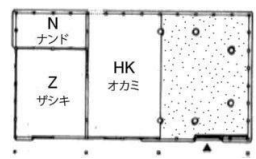
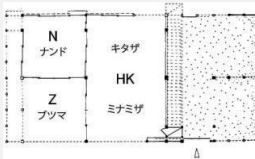
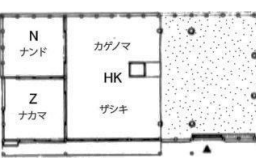
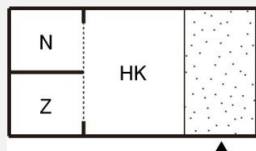
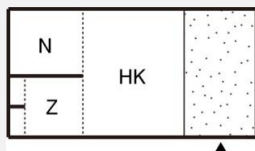
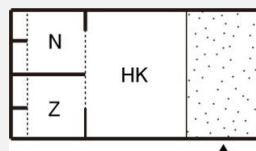
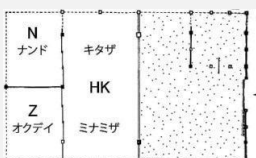

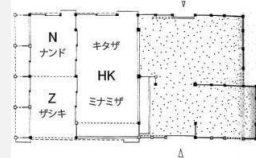
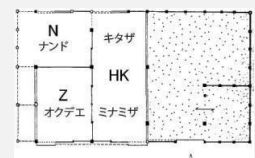


図 4.4 縁側の種類別の分類*14

4.2変調に関する考察


4.2.1平面の変調

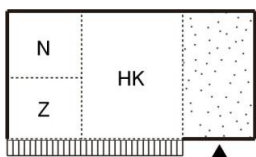
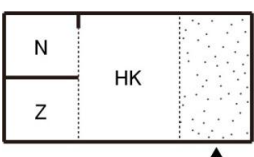
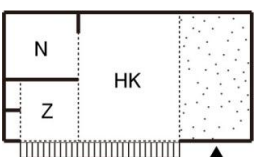
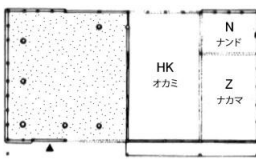
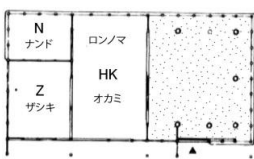

平面の類型	変調が加えられる部位
 <p>411型</p>	①土座と床座との間仕切り ②寝間と座敷との間仕切り ③縁側の位置 ④縁側の種類 ⑤ウマヤもしくはシモベヤの有無 ⑥イロりの有無

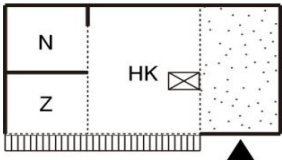
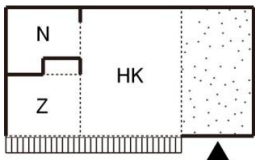
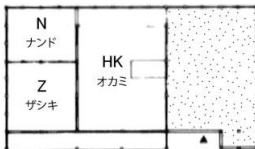
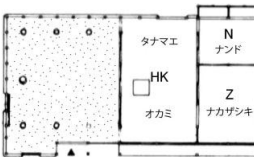
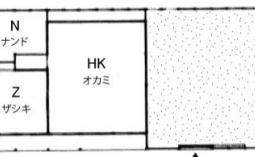
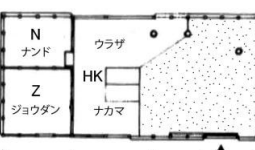
		1	2	3
変調の図				
変調が加えられる部位	①	間仕切りなし	間仕切りなし	間仕切りなし
	②	壁	建具	壁+建具
	③	縁なし	縁なし	オモテ側縁
	④	縁なし	縁なし	外縁
	⑤	なし	あり	なし
	⑥	なし	なし	あり(広間兼勝手)
該当する民家 (平面図1/400)		 宮城県白石市、高子一雄邸	 三重県いなべ市、瀬木興治邸	 宮城県角田市、佐藤源邸
		4	5	6
変調の図				
変調が加えられる部位	①	間仕切りなし	間仕切りなし	間仕切りなし
	②	壁	壁	壁
	③	縁なし	縁なし	縁なし
	④	縁なし	縁なし	縁なし
	⑤	あり	あり	あり
	⑥	なし	なし	なし
該当する民家 (平面図1/400)		 三重県いなべ市、横田幸見邸	 三重県いなべ市、山北武司邸	 三重県いなべ市、土屋和喜子邸
			 三重県いなべ市、岡常一邸	

4.2変調に関する考察

4.2.1平面の変調

平面の種類	変調が加えられる部位
 <p>411型</p>	①土座と床座との間仕切り ②寝間と座敷との間仕切り ③縁側の位置 ④縁側の種類 ⑤ウマヤもしくはシモベヤの有無 ⑥イロりの有無

	7	8	9
変調の図			
変調が加えられる部位	① 建具	建具	建具
	② 建具	壁	壁
	③ オモテ側縁	縁なし	オモテ側縁
	④ 外縁	縁なし	外縁
	⑤ なし	なし	なし
	⑥ なし	なし	なし
該当する民家 (平面図1/400)	 宮城県角田市、高橋ふさ邸	 宮城県白石市、菊池栄喜邸	 宮城県石巻市、佐々木ひで子邸


		10	11
変調の図			
変調が加えられる部位	①	建具	建具
	②	壁	押入(座敷側)+壁
	③	オモテ側縁	オモテ側縁
	④	外縁	外縁
	⑤	なし	なし
	⑥	あり(広間兼勝手)	なし
該当する民家 (平面図1/400)	 宮城県石巻市、武山昭利邸	 宮城県白石市、佐藤妙二邸	 宮城県石巻市、亀山義一郎邸
	 宮城県角田市、高橋国雄邸		

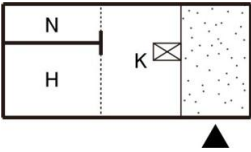
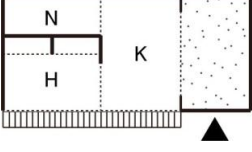
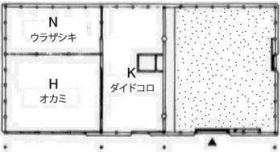
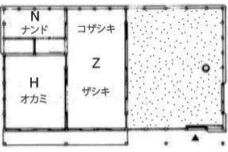
4.2変調に関する考察
 4.2.1平面の変調

平面の類型	変調が加えられる部位
<div> </div> <p>411型</p>	①土座と床座との間仕切り ②寝間と座敷との間仕切り ③縁側の位置 ④縁側の種類 ⑤ウマヤもしくはシモベヤの有無 ⑥イロリの有無


	12	13
変調の図	<div> </div>	<div> </div>
変調が加えられる部位	① 建具	建具
	② 押入(寝間側)＋壁	押入(座敷側)
	③ 縁なし	オモテ側縁
	④ 縁なし	外縁
	⑤ なし	なし
	⑥ なし	なし
該当する民家 (平面図1/400)	<div> </div> <p>宮城県白石市、高橋利三郎邸</p>	<div> </div> <p>宮城県栗原市、伊藤博邸</p>

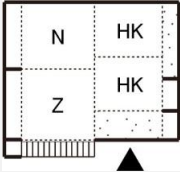

4.2変調に関する考察
 4.2.1平面の変調

平面の類型	変調が加えられる部位
 <p>252型</p>	①土座と床座との間仕切り ②寝間と座敷との間仕切り ③縁側の位置 ④縁側の種類 ⑤ウマヤもしくはシモベヤの有無 ⑥イロリの有無

		1	2
変調の図			
変調が加えられる部位	①	間仕切りなし	建具
	②	座敷なし	座敷なし
	③	縁なし	オモテ側縁
	④	縁なし	外縁
	⑤	なし	なし
	⑥	あり(勝手)	なし
該当する民家 (平面図1/400)		 <p>宮城県石巻市、佐々木長五郎邸</p>	 <p>宮城県白石市、遠藤忠雄邸</p>

4.2変調に関する考察
 4.2.1平面の変調

平面の類型	変調が加えられる部位
<div>  </div> <p>420型</p>	①土座と床座との間仕切り ②寝間と座敷との間仕切り ③縁側の位置 ④縁側の種類 ⑤ウマヤもしくはシモベヤの有無 ⑥イロリの有無

	1
変調の図	<div>  </div>
変調が加えられる部位	① 建具
	② 建具
	③ オモテ側縁
	④ 内縁
	⑤ なし
	⑥ なし
該当する民家 (平面図1/400)	<div>  </div> <p>三重県大紀町、谷口洋太郎邸</p>

4.2変調に関する考察
 4.2.1平面の変調

平面の種類	変調が加えられる部位
<div> </div> <p>453型</p>	①土座と床座との間仕切り ②寝間と座敷との間仕切り ③縁側の位置 ④縁側の種類 ⑤ウマヤもしくはシモベヤの有無 ⑥イロリの有無

	1
変調の図	<div> </div>
変調が加えられる部位	① 建具
	② N1とZ1 押入(座敷側)
	② N2とZ2 建具
	③ オモテ側縁
	④ 外縁
	⑤ なし
	⑥ なし
該当する民家 (平面図1/400)	<div> </div> <p>宮城県石巻市、津田政蔵邸</p>

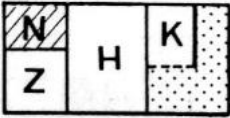
4.2変調に関する考察
 4.2.1平面の変調

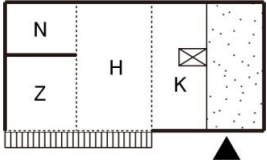
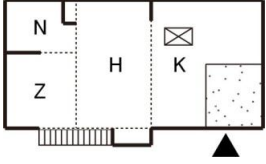
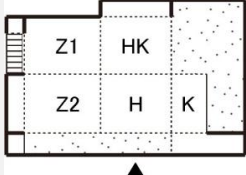



平面の類型	変調が加えられる部位
<div> </div> <p>471型</p>	①土座と床座との間仕切り ②寝間と座敷との間仕切り ③縁側の位置 ④縁側の種類 ⑤ウマヤもしくはシモベヤの有無 ⑥イロリの有無

		1
変調の図		<div> </div>
変調が加えられる部位	①	建具
	②	NとZ1 壁＋建具
		NとZ3 建具
	③	オモテ側廻り縁
	④	外縁
	⑤	なし
	⑥	あり(広間兼勝手)
該当する民家 (平面図1/400)		<div> </div> <p>宮城県石巻市、高橋てよ邸</p>

4.2変調に関する考察


4.2.1平面の変調

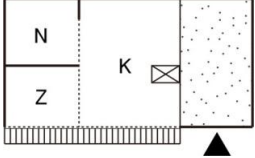
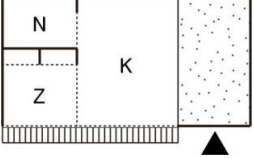
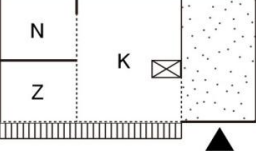

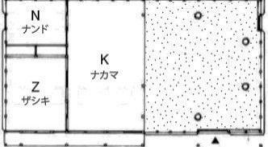

平面の類型	変調が加えられる部位
 <p>511型</p>	①土座と床座との間仕切り ②寝間と座敷との間仕切り ③縁側の位置 ④縁側の種類 ⑤ウマヤもしくはシモベヤの有無 ⑥イロリの有無

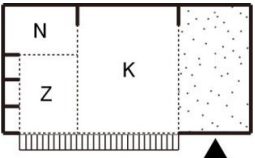
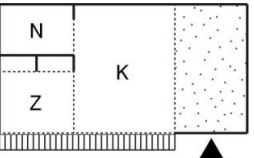
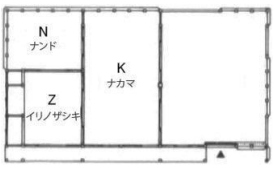
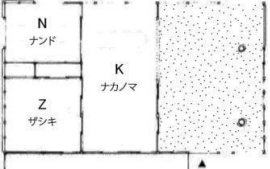
		1	2	3
変調の図				
変調が加えられる部位	①	間仕切りなし	間仕切りなし	HK、H、Z2 K 建具 間仕切りなし(一部建具)
	②	壁	建具(一部壁)	寝間なし
	③	オモテ側縁	オモテ側縁	妻側縁
	④	外縁	外縁	内縁
	⑤	なし	なし	なし
	⑥	あり(勝手)	あり(勝手)	なし
該当する民家 (平面図1/400)		 <p>宮城県角田市、村上平一郎邸</p>	 <p>宮城県角田市、小関敏邸</p>	 <p>三重県大紀町、大野弘恒邸</p>

4.2変調に関する考察

4.2.1平面の変調

平面の類型	変調が加えられる部位
 <p>711型</p>	①土座と床座との間仕切り ②寝間と座敷との間仕切り ③縁側の位置 ④縁側の種類 ⑤ウマヤもしくはシモベヤの有無 ⑥イロリの有無

	1	2	3
変調の図			
変調が加えられる部位	①	間仕切りなし	間仕切りなし
	②	壁	押入(座敷側)
	③	オモテ側縁	オモテ側縁
	④	外縁	外縁
	⑤	なし	なし
	⑥	あり(勝手)	なし
該当する民家 (平面図1/400)			
	宮城県仙台市、桜下吉治邸	宮城県白石市、跡部勝左右邸	宮城県白石市、菊池清三邸

	4	5
変調の図		
変調が加えられる部位	①	建具
	②	建具(一部壁)
	③	オモテ側縁
	④	外縁
	⑤	なし
	⑥	なし
該当する民家 (平面図1/400)		
	宮城県仙台市、萱場久夫邸	宮城県石巻市、千葉美雄邸

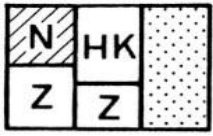
4.2変調に関する考察
4.2.1平面の変調

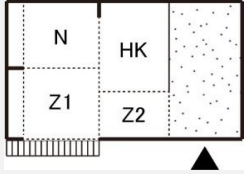
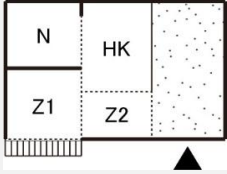
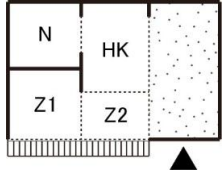
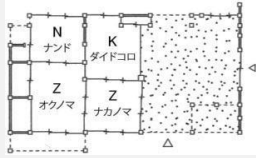
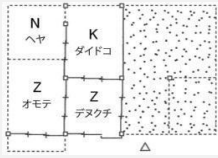

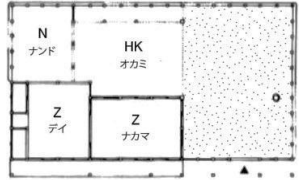
平面の類型	変調が加えられる部位
<div> </div> <p>771型</p>	①土座と床座との間仕切り ②寝間と座敷との間仕切り ③縁側の位置 ④縁側の種類 ⑤ウマヤもしくはシモベヤの有無 ⑥イロリの有無

		1
変調の図		<div> </div>
変調が加えられる部位	①	建具
	②	NとZ1 壁
		NとZ3 押入(座敷側)
	③	妻側縁
	④	内縁
	⑤	あり
	⑥	あり(勝手)
該当する民家 (平面図1/400)		<div> </div> <p>三重県大紀町、小倉芳蔵邸</p>


4.2変調に関する考察

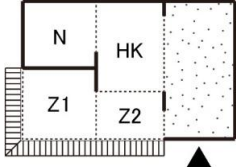
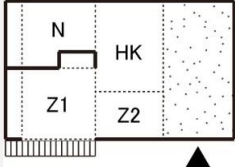
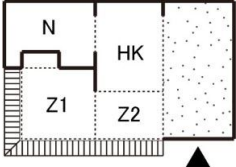
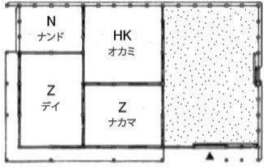
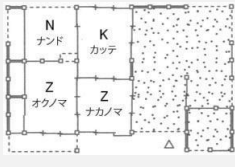
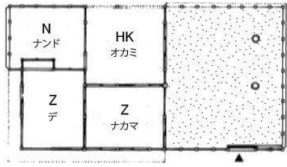
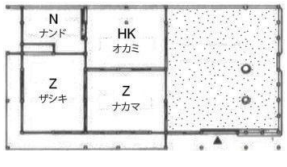
4.2.1平面の変調

平面の種類	変調が加えられる部位
 454型	①土座と床座との間仕切り ②寝間と座敷との間仕切り ③縁側の位置 ④縁側の種類 ⑤ウマヤもしくはシモベヤの有無 ⑥イロりの有無


		1	2	3
変調の図				
変調が加えられる部位	①	HK 間仕切りなし Z2 建具	HK 間仕切りなし Z2 建具	建具
	②	建具	壁	壁
	③	オモテ側縁	オモテ側縁	オモテ側縁
	④	外縁	外縁	外縁
	⑤	あり	あり	なし
	⑥	なし	なし	なし
該当する民家 (平面図1/400)		 三重県伊賀市、増山キヨノ邸	 三重県伊賀市、城下一二邸	 宮城県仙台市、庄司長一郎
				 宮城県仙台市、早坂金太郎邸

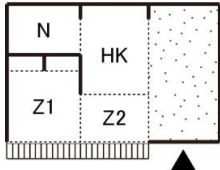
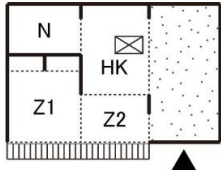
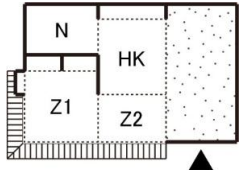
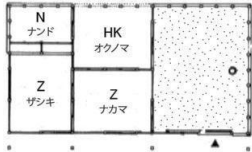
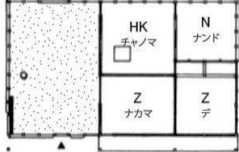
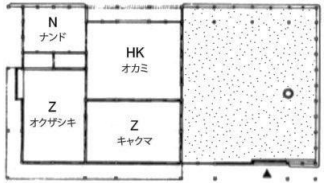
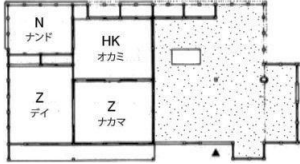
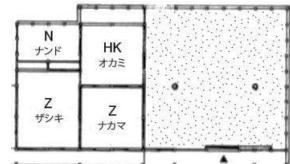
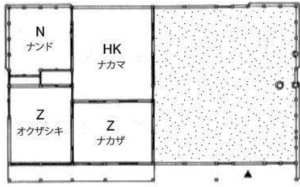
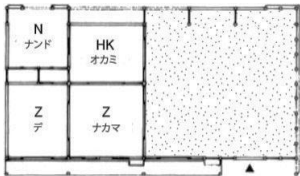
4.2変調に関する考察
 4.2.1平面の変調

平面の種類	変調が加えられる部位
 <p>454型</p>	①土座と床座との間仕切り ②寝間と座敷との間仕切り ③縁側の位置 ④縁側の種類 ⑤ウマヤもしくはシモベヤの有無 ⑥イロリの有無

		4	5	6
変調の図				
変調が加えられる部位	①	建具(一部壁)	建具	建具
	②	壁	壁+押入(座敷側)	壁+押入(座敷側)
	③	オモテ側廻り縁	オモテ側縁	オモテ側廻り縁
	④	外縁	外縁	外縁
	⑤	なし	あり	なし
	⑥	なし	なし	なし
該当する民家 (平面図1/400)		 <p>宮城県栗原市、菅原才二郎邸</p>	 <p>三重県伊賀市、中西定夫邸</p>	 <p>宮城県栗原市、大内朗邸</p>
				 <p>宮城県栗原市、佐藤喜悦邸</p>

4.2変調に関する考察
4.2.1平面の変調

平面の類型	変調が加えられる部位
<div>  </div> <p>454型</p>	①土座と床座との間仕切り ②寝間と座敷との間仕切り ③縁側の位置 ④縁側の種類 ⑤ウマヤもしくはシモベヤの有無 ⑥イロリの有無

		7	8	9
変調の図				
変調が加えられる部位	①	建具	建具（一部壁）	建具
	②	押入（座敷側）	押入（座敷側）	押入（座敷側）
	③	オモテ側縁	オモテ側縁	オモテ側廻り縁
	④	外縁	外縁	外縁
	⑤	なし	なし	なし
	⑥	なし	あり（広間兼勝手）	なし
該当する民家 （平面図1/400）		 <p>宮城県栗原市、相馬次男邸</p>	 <p>宮城県仙台市、結城幸夫邸</p>	 <p>宮城県栗原市、千田賢三郎邸</p>
		 <p>宮城県栗原市、熊谷義美邸</p>		
		 <p>宮城県栗原市、菅原孝邸</p>		
		 <p>宮城県栗原市、白鳥玄三男邸</p>		
		 <p>宮城県仙台市、石垣茂嘉邸</p>		

4.2変調に関する考察

4.2.1平面の変調

平面の種類	変調が加えられる部位
<p>754型</p>	①土座と床座との間仕切り ②寝間と座敷との間仕切り ③縁側の位置 ④縁側の種類 ⑤ウマヤもしくはシモベヤの有無 ⑥イロりの有無

		1	2	3
変調の図				
変調が加えられる部位	①	間仕切りなし	間仕切りなし	間仕切りなし
	②	建具(一部壁)	建具	壁
	③	縁なし	縁なし	縁なし
	④	縁なし	縁なし	縁なし
	⑤	あり	あり	あり
	⑥	なし	なし	あり(広間)
該当する民家 (平面図1/400)		<p>三重県いなべ市、岡文雄邸</p>	<p>三重県いなべ市、諸岡忠次邸</p>	<p>三重県いなべ市、渡部稔邸</p>
			<p>三重県いなべ市、小川敏彦邸</p>	

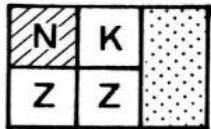
4.2変調に関する考察
 4.2.1平面の変調

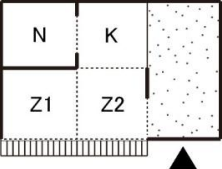
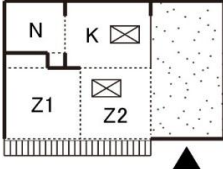
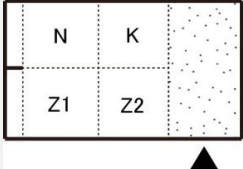
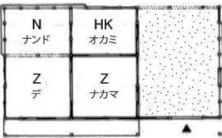
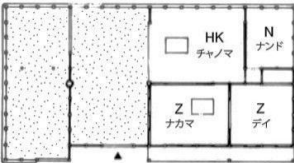

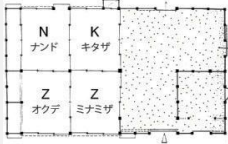
平面の類型	変調が加えられる部位
<div> </div> <p>754型</p>	①土座と床座との間仕切り ②寝間と座敷との間仕切り ③縁側の位置 ④縁側の種類 ⑤ウマヤもしくはシモベヤの有無 ⑥イロりの有無

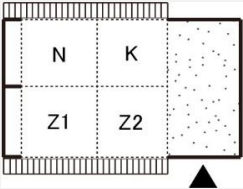
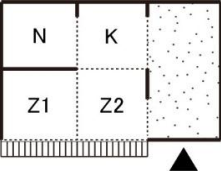
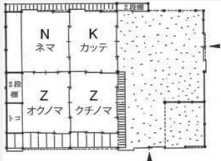
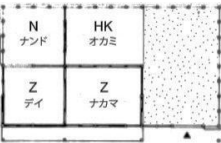
		4	5	6
変調の図		<div> </div>	<div> </div>	<div> </div>
変調が加えられる部位	①	<div> <div>K</div> <div>間仕切りなし</div> </div> <div> <div>Z2</div> <div>建具</div> </div>	<div> <div>K</div> <div>間仕切りなし</div> </div> <div> <div>Z2</div> <div>建具</div> </div>	<div> <div>K</div> <div>間仕切りなし</div> </div> <div> <div>Z2</div> <div>建具</div> </div>
	②	建具	建具	建具
	③	縁なし	縁なし	縁なし
	④	縁なし	縁なし	縁なし
	⑤	あり	あり	なし
	⑥	なし	なし	なし
該当する民家 (平面図1/400)		<div> </div> <p>三重県いなべ市、日下徳重邸</p>	<div> </div> <p>三重県いなべ市、門脇周一郎</p>	<div> </div> <p>三重県いなべ市、神谷欽一郎</p>
		<div> </div> <p>三重県いなべ市、弓矢守邸</p>		
		<div> </div> <p>三重県伊賀市、岩瀬彦一郎</p>		

4.2変調に関する考察

4.2.1平面の変調

平面の類型	変調が加えられる部位
 <p>754型</p>	①土座と床座との間仕切り ②寝間と座敷との間仕切り ③縁側の位置 ④縁側の種類 ⑤ウマヤもしくはシモベヤの有無 ⑥イロりの有無

		7		8		9	
変調の図							
変調が加えられる部位	① ② ③ ④ ⑤ ⑥	K	間仕切りなし	K	間仕切りなし	建具	
		Z2	建具(一部壁)	Z2	建具		
		壁		押入(寝間側、座敷側)		建具	
		オモテ側縁		オモテ側縁		縁なし	
		外縁		外縁		縁なし	
		なし		あり		あり	
なし		あり(広間兼勝手と座敷)		なし			
該当する民家 (平面図1/400)							
		宮城県栗原市、工藤信一郎		宮城県仙台市、伊藤丑蔵邸		三重県いなべ市、山本教雄邸	
							
				三重県いなべ市、伊藤正義邸			


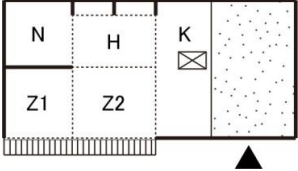
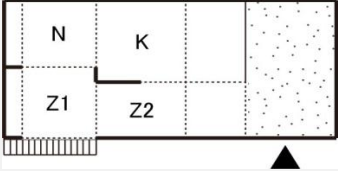
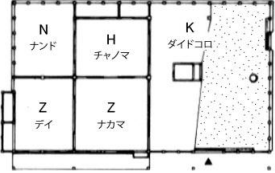
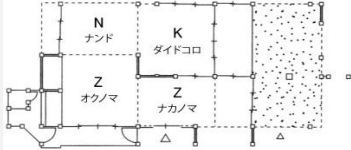
		10	11
変調の図			
変調が加えられる部位	①	建具	建具(一部壁)
	②	建具	壁
	③	オモテ側縁＋ウラ側縁	オモテ側縁
	④	内縁	外縁
	⑤	あり	なし
	⑥	なし	なし
該当する民家 (平面図1/400)			
		三重県津市、西村久美邸	宮城県仙台市、佐藤門治邸

4.2変調に関する考察
 4.2.1平面の変調

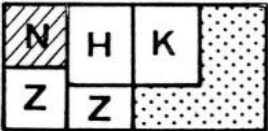
平面の種類	変調が加えられる部位
<div> <div> <div>Z</div> <div>N</div> <div>HK</div> </div> <div> <div>Z</div> <div>Z</div> <div>Z</div> </div> </div>	①土座と床座との間仕切り ②寝間と座敷との間仕切り ③縁側の位置 ④縁側の種類 ⑤ウマヤもしくはシモベヤの有無 ⑥イロリの有無
472型	

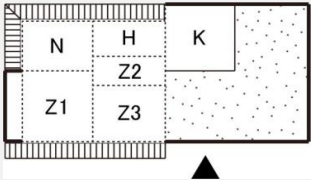
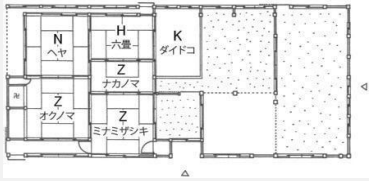
		1
変調の図		
変調が加えられる部位	①	建具
	②	NとZ3 押入(座敷側)
	③	オモテ側廻り縁
	④	外縁
	⑤	なし
	⑥	なし
該当する民家 (平面図1/400)		
		宮城県仙台市、結城藤吉邸

4.2変調に関する考察
 4.2.1平面の変調

平面の種類		変調が加えられる部位	
<div>  </div> <div>555型</div>		①土座と床座との間仕切り ②寝間と座敷との間仕切り ③縁側の位置 ④縁側の種類 ⑤ウマヤもしくはシモベヤの有無 ⑥イロリの有無	
	1	2	
変調の図	<div>  </div>	<div>  </div>	
変調が加えられる部位	①	間仕切りなし	<div>K</div> <div>間仕切りなし</div> <div>土間に接するオモテ側の部屋</div> <div>建具</div>
	②	壁	建具
	③	オモテ側縁	オモテ側縁
	④	外縁	内縁
	⑤	なし	なし
	⑥	あり(勝手)	なし
該当する民家 (平面図1/400)	<div>  </div> <div>宮城県仙台市、庄司はつえ邸</div>	<div>  </div> <div>三重県伊賀市、日根野達三邸</div>	

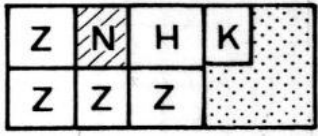
4.2変調に関する考察
 4.2.1平面の変調

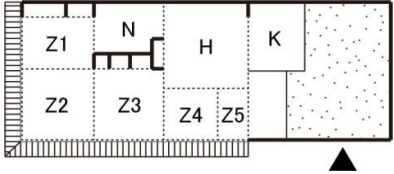
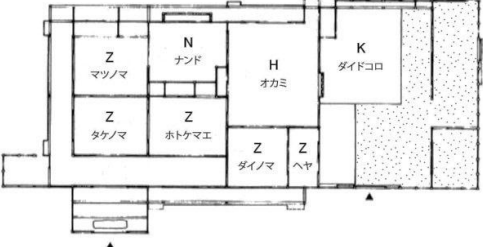
平面の類型	変調が加えられる部位
<div>  </div> <p>563型</p>	①土座と床座との間仕切り ②寝間と座敷との間仕切り ③縁側の位置 ④縁側の種類 ⑤ウマヤもしくはシモベヤの有無 ⑥イロリの有無

		1
変調の図		<div>  </div>
変調が加えられる部位	①	K 間仕切りなし
		Z2 建具
		Z3 建具
	②	NとZ1 建具
		NとZ2 建具
	③	オモテ側縁＋ウラ側廻り縁
	④	内縁
	⑤	あり
	⑥	なし
該当する民家 (平面図1/400)		<div>  </div> <p>三重県津市、内田照雄邸</p>

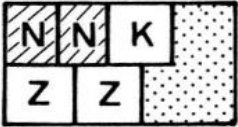
4.2変調に関する考察

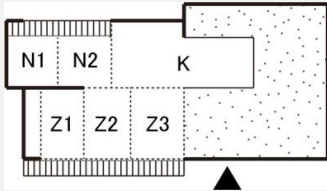
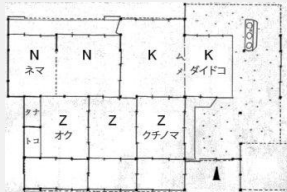
4.2.1平面の変調

平面の種類	変調が加えられる部位
 575型	①土座と床座との間仕切り ②寝間と座敷との間仕切り ③縁側の位置 ④縁側の種類 ⑤ウマヤもしくはシモベヤの有無 ⑥イロリの有無

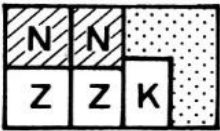
		1
変調の図		
変調が加えられる部位	①	K 間仕切りなし
		H 建具
		Z5 建具
	②	NとZ1 建具（一部壁）
		NとZ3 押入（座敷側）
	③	オモテ側廻り縁
	④	内縁
	⑤	あり
	⑥	なし
該当する民家 （平面図1/400）		 宮城県石巻市、永沼穎邸

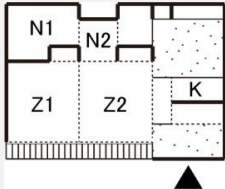

4.2変調に関する考察
 4.2.1平面の変調

平面の種類	変調が加えられる部位
<div>  </div> <p>755型</p>	①土座と床座との間仕切り ②寝間と座敷との間仕切り ③縁側の位置 ④縁側の種類 ⑤ウマヤもしくはシモベヤの有無 ⑥イロリの有無

		1	
変調の図			
変調が加えられる部位	①	K	間仕切りなし
		Z3	建具
	②	N1とZ1	壁
		N2とZ1	壁
		N2とZ2	建具
	③	オモテ側縁＋ウラ側縁	
	④	内縁	
	⑤	あり	
⑥	なし		
該当する民家 (平面図1/400)			
		三重県津市、渡辺保一郎	

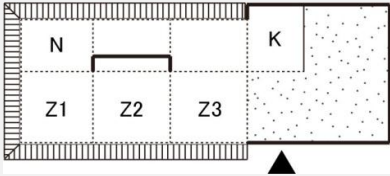

4.2変調に関する考察
 4.2.1平面の変調

平面の種類	変調が加えられる部位
<div>  </div> <p>758型</p>	①土座と床座との間仕切り ②寝間と座敷との間仕切り ③縁側の位置 ④縁側の種類 ⑤ウマヤもしくはシモベヤの有無 ⑥イロリの有無

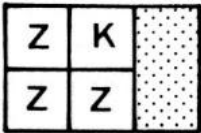
		1	
変調の図			
変調が加えられる部位	①	K	間仕切りなし
		Z2	建具
	②	N1とZ1	壁＋押入(座敷側)
		N2とZ2	建具
	③	オモテ側縁	
	④	内縁	
	⑤	なし	
	⑥	なし	
該当する民家 (平面図1/400)			
		三重県熊野市、尾中熊之助邸	

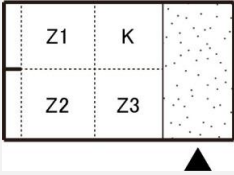
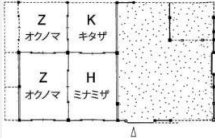
4.2変調に関する考察
 4.2.1平面の変調

平面の種類	変調が加えられる部位
<div> <div> <div>N</div> <div>N</div> <div>K</div> </div> <div> <div>Z</div> <div>Z</div> <div>Z</div> </div> </div> <p>773型</p>	①土座と床座との間仕切り ②寝間と座敷との間仕切り ③縁側の位置 ④縁側の種類 ⑤ウマヤもしくはシモベヤの有無 ⑥イロリの有無

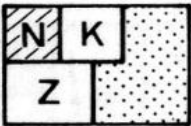
		1	
変調の図			
変調が加えられる部位	①	K	間仕切りなし(一部建具)
		Z3	建具
	②	建具	
	③	オモテ側、ウラ側、妻側の3方向の廻り縁	
	④	内縁	
	⑤	あり	
⑥	なし		
該当する民家 (平面図1/400)			
		三重県津市、小林豊邸	

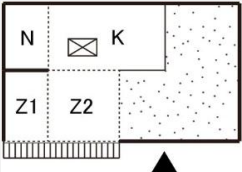
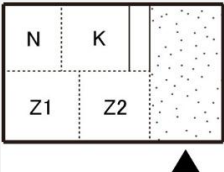
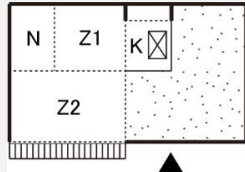
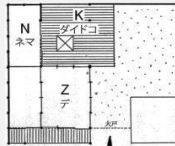
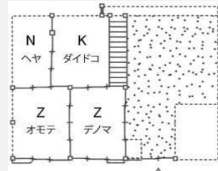
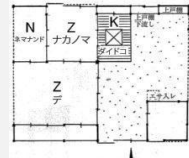
4.2変調に関する考察
 4.2.1平面の変調

平面の類型	変調が加えられる部位
<div>  </div> <p>778型</p>	①土座と床座との間仕切り ②寝間と座敷との間仕切り ③縁側の位置 ④縁側の種類 ⑤ウマヤもしくはシモベヤの有無 ⑥イロリの有無

	1
変調の図	<div>  </div>
変調が加えられる部位	① 間仕切りなし
	② 寝間なし
	③ 縁なし
	④ 縁なし
	⑤ あり
	⑥ なし
該当する民家 (平面図1/400)	<div>  </div> <p>三重県いなべ市、出口久由邸</p>

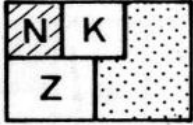
4.2変調に関する考察
 4.2.1平面の変調

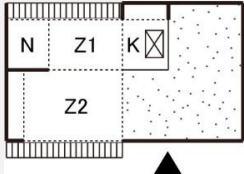
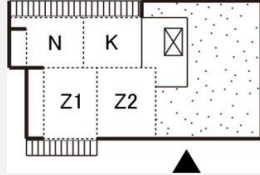
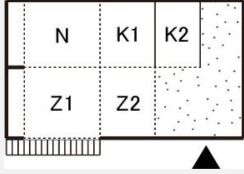
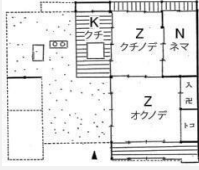
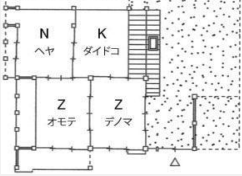
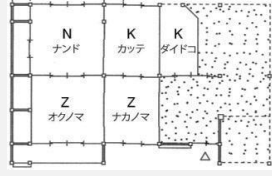

平面の類型	変調が加えられる部位
 <p>713型</p>	①土座と床座との間仕切り ②寝間と座敷との間仕切り ③縁側の位置 ④縁側の種類 ⑤ウマヤもしくはシモベヤの有無 ⑥イロりの有無

		1		2		3	
変調の図							
変調が加えられる部位	①	K	間仕切りなし	K	間仕切りなし	K	間仕切りなし
		Z2	建具	Z2	建具	Z2	建具
	②	壁		建具		NとZ1	建具
						NとZ2	建具
	③	オモテ側縁		縁なし		オモテ側縁	
	④	外縁		縁なし		外縁	
	⑤	あり		あり		あり	
⑥	あり(勝手)		なし		あり(勝手)		
該当する民家 (平面図1/400)							
		津市、谷見良邸		伊賀市、北村汪邸		津市、田中豊邸	

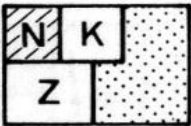
4.2変調に関する考察

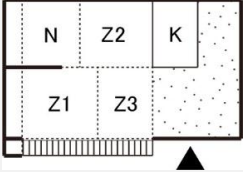
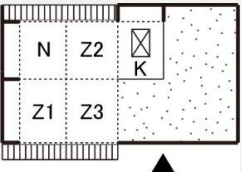
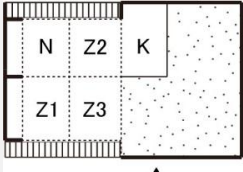
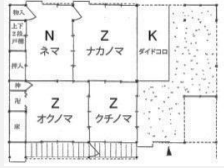
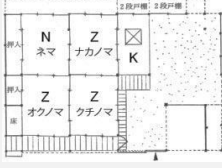
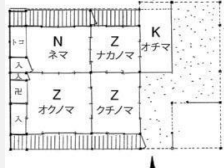
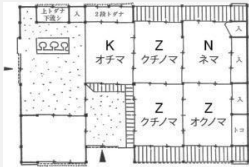
4.2.1平面の変調

平面の類型	変調が加えられる部位
	①土座と床座との間仕切り ②寝間と座敷との間仕切り ③縁側の位置 ④縁側の種類 ⑤ウマヤもしくはシモベヤの有無 ⑥イロりの有無
713型	

		4	5	6
変調の図				
変調が加えられる部位	①	K Z2	K Z2	K2 Z2
		間仕切りなし 建具	間仕切りなし 建具	間仕切りなし(一部建具) 建具
	②	NとZ1 NとZ2	建具(一部壁)	
		建具 壁		
	③	オモテ側縁+ウラ側縁		オモテ側縁
	④	オモテ側 ウラ側	オモテ側 ウラ側	内縁 外縁
該当する民家 (平面図1/400)	⑤	あり		あり
	⑥	あり(勝手)		なし
				
		津市、溝口卯平邸	伊賀市、稲葉春昭邸	伊賀市、山島勝年邸
				
				伊賀市、中久郎邸

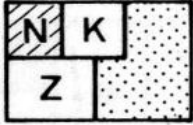
4.2変調に関する考察
4.2.1平面の変調

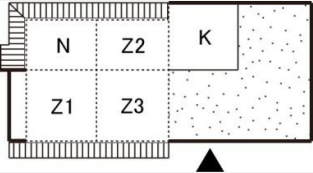
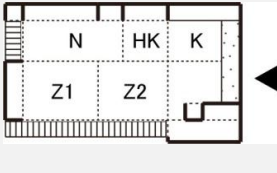
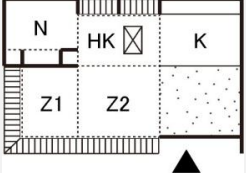
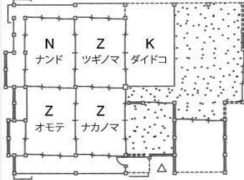
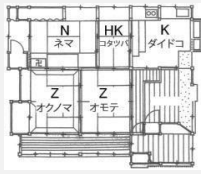
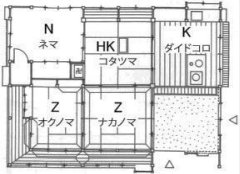
平面の類型	変調が加えられる部位
<div>  </div> <p>713型</p>	①土座と床座との間仕切り ②寝間と座敷との間仕切り ③縁側の位置 ④縁側の種類 ⑤ウマヤもしくはシモベヤの有無 ⑥イロりの有無

		7	8	9
変調の図		<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>
変調が加えられる部位	①	<div> <div>K</div> <div>間仕切りなし</div> </div> <div> <div>Z3</div> <div>建具</div> </div>	<div> <div>K</div> <div>間仕切りなし</div> </div> <div> <div>Z3</div> <div>建具</div> </div>	<div> <div>K</div> <div>間仕切りなし</div> </div> <div> <div>Z3</div> <div>建具</div> </div>
	②	建具（一部壁）	建具	建具
	③	オモテ側縁	オモテ側縁＋ウラ側縁	オモテ側縁＋ウラ側縁
	④	内縁	<div>オモテ側</div> <div>内縁</div> <div>ウラ側</div> <div>外縁</div>	内縁
	⑤	あり	あり	あり
	⑥	なし	あり（勝手）	なし
該当する民家 （平面図1/400）		<div>  </div>	<div>  </div>	<div>  </div>
		津市、渡辺ゑい邸	津市、田中五夫邸	津市、小淵好一邸
				<div>  </div> <p>津市、福井治夫邸</p>

4.2変調に関する考察


4.2.1平面の変調

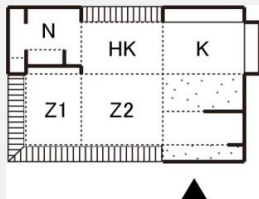
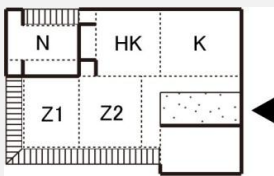
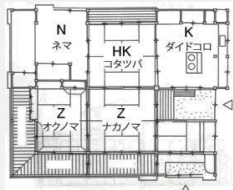
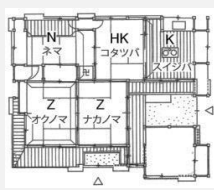
平面の類型	変調が加えられる部位
 <p>713型</p>	①土座と床座との間仕切り ②寝間と座敷との間仕切り ③縁側の位置 ④縁側の種類 ⑤ウマヤもしくはシモベヤの有無 ⑥イロリの有無

		10	11	12
変調の図				
変調が加えられる部位	①	K Z3	K Z2	K Z2
		間仕切りなし 建具	間仕切りなし 建具	間仕切りなし 建具
	②	NとZ1 NとZ2	NとZ1 NとZ2	押入(寝間側)
		建具 建具	建具 建具	
	③	オモテ側縁＋ウラ側廻り縁		オモテ側廻り縁＋ウラ側縁
	④	内縁		内縁
	⑤	あり		なし
	⑥	なし		あり(広間兼勝手)
該当する民家 (平面図1/400)				
		伊賀市、猪野岩一邸	熊野市、倉本おきせ邸	熊野市、杉村栄作邸

4.2変調に関する考察


4.2.1平面の変調

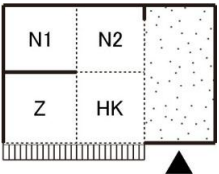
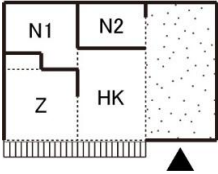
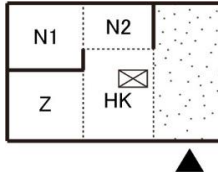
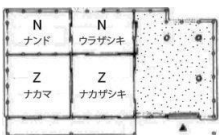

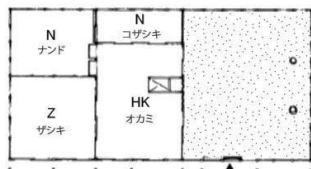
平面の類型		変調が加えられる部位	
		①土座と床座との間仕切り ②寝間と座敷との間仕切り ③縁側の位置 ④縁側の種類 ⑤ウマヤもしくはシモベヤの有無 ⑥イロリの有無	
713型			

		13		14	
変調の図					
変調が加えられる部位	①	K	建具	K、HK	建具
		Z2	建具	Z2	建具
	②	押入(寝間側)		押入(寝間側)	
	③	オモテ側廻り縁＋ウラ側縁		オモテ側廻り縁＋ウラ側縁	
	④	オモテ側	内縁	内縁	
		ウラ側	外縁		
	⑤	なし		あり	
	⑥	なし		なし	
該当する民家 (平面図1/400)					
		熊野市、東きぬゑ邸		熊野市、石倉敬一邸	

4.2変調に関する考察

4.2.1平面の変調

平面の種類	変調が加えられる部位
	①土座と床座との間仕切り ②寝間と座敷との間仕切り ③縁側の位置 ④縁側の種類 ⑤ウマヤもしくはシモベヤの有無 ⑥イロリの有無
431型	

		1	2	3
変調の図				
変調が加えられる部位	①	建具	建具	N2 壁 HK 建具
	②	壁	壁＋押入(座敷側)	壁
	③	オモテ側縁	オモテ側縁	縁なし
	④	外縁	外縁	縁なし
	⑤	なし	なし	なし
	⑥	なし	なし	あり(広間兼勝手)
該当する民家 (平面図1/400)				
		宮城県角田市、本田邵邸	宮城県石巻市、首藤信乃邸	宮城県石巻市、武山豊助邸

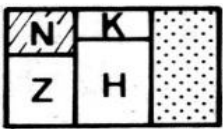
4.2変調に関する考察
 4.2.1平面の変調

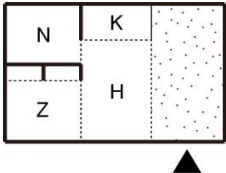
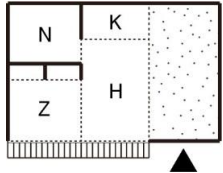
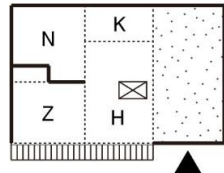
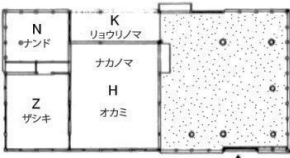

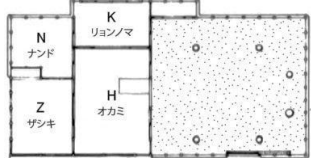
平面の種類	変調が加えられる部位
<div> </div> <p>731型</p>	①土座と床座との間仕切り ②寝間と座敷との間仕切り ③縁側の位置 ④縁側の種類 ⑤ウマヤもしくはシモベヤの有無 ⑥イロリの有無

	1
変調の図	<div> </div>
変調が加えられる部位	① 間仕切りなし
	② N1とZ 押入(座敷側)
	② N2とZ 壁
	③ オモテ側縁
	④ 内縁
	⑤ なし
	⑥ なし
該当する民家 (平面図1/400)	<div> </div> <p>三重県熊野市、栗村八代子邸</p>

4.2変調に関する考察

4.2.1平面の変調

平面の類型	変調が加えられる部位
 <p>512型</p>	①土座と床座との間仕切り ②寝間と座敷との間仕切り ③縁側の位置 ④縁側の種類 ⑤ウマヤもしくはシモベヤの有無 ⑥イロリの有無

		1		2	3
変調の図					
変調が加えられる部位	①	K	間仕切りなし	建具	建具
		H	建具		
	②	押入(座敷側)		押入(座敷側)	壁+押入(座敷側)
	③	縁なし		オモテ側縁	オモテ側縁
	④	縁なし		外縁	外縁
	⑤	なし		なし	なし
⑥	なし		なし	あり(広間)	
該当する民家 (平面図1/400)					
		宮城県白石市、木須四一邸		宮城県白石市、佐藤敬一邸	宮城県白石市、高野豊二邸

4.2変調に関する考察
4.2.1平面の変調

平面の類型		変調が加えられる部位	
<div><div><div>Z</div><div>N</div><div>K</div></div><div><div>Z</div><div>Z</div><div>H</div></div></div> <div>572型</div>		<div>①土座と床座との間仕切り</div> <div>②寝間と座敷との間仕切り</div> <div>③縁側の位置</div> <div>④縁側の種類</div> <div>⑤ウマヤもしくはシモベヤの有無</div> <div>⑥イロリの有無</div>	
		1	2
変調の図			
変調が加えられる部位	①	建具	
	②	NとZ1	壁
		NとZ3	壁
	③	オモテ側縁	
	④	外縁	
	⑤	なし	
	⑥	なし	
	該当する民家 (平面図1/400)		
宮城県白石市、島貫芳蔵邸		三重県大紀町、黒田哲邸	


4.2変調に関する考察
4.2.1平面の変調

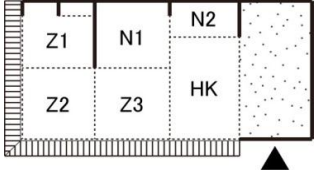
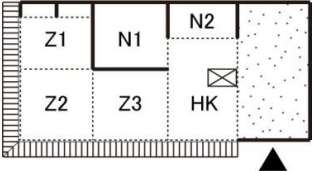
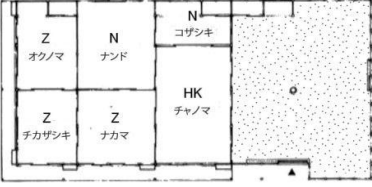

平面の種類	変調が加えられる部位
<div> <div> <div>Z</div> <div>N</div> </div> <div> <div>Z</div> <div>HK</div> </div> </div> <p>452型</p>	①土座と床座との間仕切り ②寝間と座敷との間仕切り ③縁側の位置 ④縁側の種類 ⑤ウマヤもしくはシモベヤの有無 ⑥イロりの有無

		1
変調の図		
変調が加えられる部位	①	HK 間仕切りなし(一部建具)
		N 壁
	②	壁
	③	オモテ側縁＋ウラ側縁＋妻側縁
	④	オモテ側 内縁
		ウラ側＋妻側 外縁
	⑤	あり
		⑥ あり(広間兼勝手)
該当する民家 (平面図1/400)		<p>三重県大紀町、小倉久治邸</p>

4.2変調に関する考察


4.2.1平面の変調

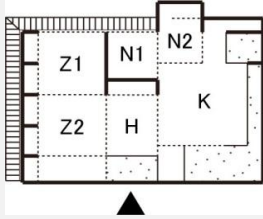
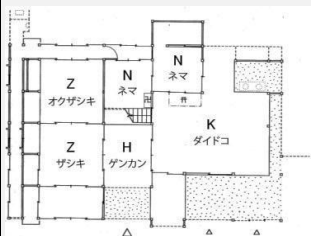
平面の類型	変調が加えられる部位
 <p>476型</p>	①土座と床座との間仕切り ②寝間と座敷との間仕切り ③縁側の位置 ④縁側の種類 ⑤ウマヤもしくはシモベヤの有無 ⑥イロリの有無

		1	2
変調の図			
変調が加えられる部位	①	HK	建具
		N2	壁
	②	N1とZ1	壁
		N1とZ3	建具
	③	オモテ側廻り縁	
	④	外縁	
	⑤	なし	
	⑥	なし	
該当する民家 (平面図1/400)		 <p>宮城県石巻市、今野農事邸</p>	 <p>宮城県石巻市、木村広助邸</p>


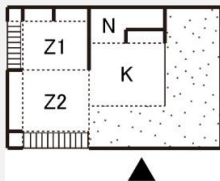
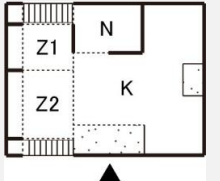


4.2変調に関する考察

4.2.1平面の変調


平面の種類	変調が加えられる部位
	①土座と床座との間仕切り ②寝間と座敷との間仕切り ③縁側の位置 ④縁側の種類 ⑤ウマヤもしくはシモベヤの有無 ⑥イロリの有無
557型	

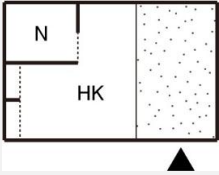
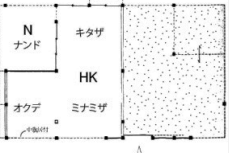
		1
変調の図		
変調が加えられる部位	①	K 間仕切りなし(一部建具) H 間仕切りなし
	②	壁
	③	ウラ側廻り縁
	④	内縁
	⑤	なし
	⑥	なし
該当する民家 (平面図1/400)		 三重県大紀町、喜多直哉邸

4.2変調に関する考察
 4.2.1平面の変調

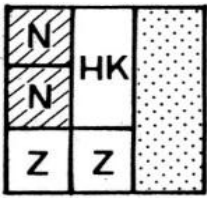
平面の種類		変調が加えられる部位			
<div></div> <p>752型</p>		<p>①土座と床座との間仕切り</p> <p>②寝間と座敷との間仕切り</p> <p>③縁側の位置</p> <p>④縁側の種類</p> <p>⑤ウマヤもしくはシモベヤの有無</p> <p>⑥イロリの有無</p>			
		1	2		
変調の図		<div></div>	<div></div>		
変調が加えられる部位	①	K	間仕切りなし(一部建具)	K	間仕切りなし(一部建具)
		N	壁		
		Z2	建具	Z2	建具
	②	壁		壁	
	③	オモテ側縁＋妻側縁		オモテ側縁＋ウラ側縁	
	④	オモテ側	内縁	内縁	
		妻側	外縁		
	⑤	なし		なし	
⑥	なし		なし		
該当する民家 (平面図1/400)		<div></div>	<div></div>		
		三重県大紀町、小倉俊二邸		三重県大紀町、小倉章治	

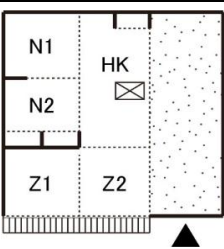
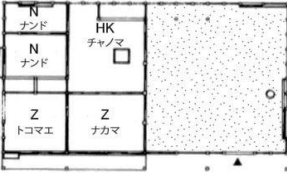
4.2変調に関する考察
 4.2.1平面の変調

平面の種類	変調が加えられる部位
<div>  </div> <p>232型</p>	①土座と床座との間仕切り ②寝間と座敷との間仕切り ③縁側の位置 ④縁側の種類 ⑤ウマヤもしくはシモベヤの有無 ⑥イロリの有無

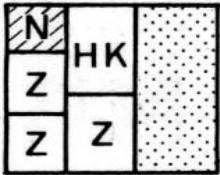
		1
変調の図		<div>  </div>
変調が加えられる部位	①	間仕切りなし
	②	座敷なし
	③	縁なし
	④	縁なし
	⑤	あり
	⑥	なし
該当する民家 (平面図1/400)		<div>  </div> <p>三重県いなべ市、樋口幸七郎</p>

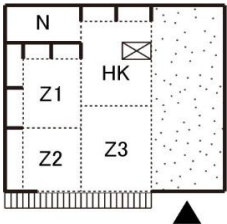
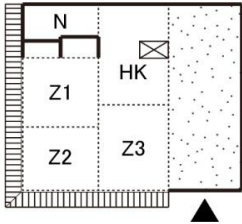
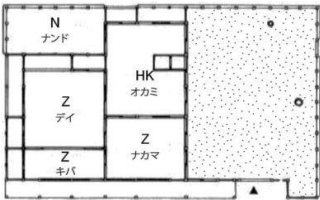
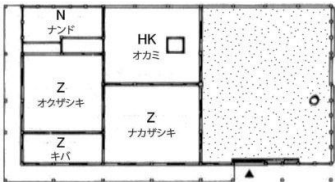
4.2変調に関する考察
 4.2.1平面の変調

平面の類型	変調が加えられる部位
<div>  <p>459型</p> </div>	①土座と床座との間仕切り ②寝間と座敷との間仕切り ③縁側の位置 ④縁側の種類 ⑤ウマヤもしくはシモベヤの有無 ⑥イロリの有無

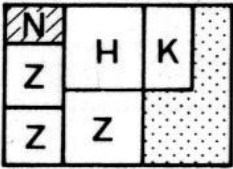
		1
変調の図		<div>  </div>
変調が加えられる部位	①	建具
	②	押入(寝間側)
	③	オモテ側縁
	④	外縁
	⑤	なし
	⑥	あり(広間兼勝手)
該当する民家 (平面図1/400)		<div>  <p>宮城県仙台市、奥山やい子邸</p> </div>

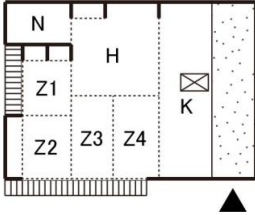
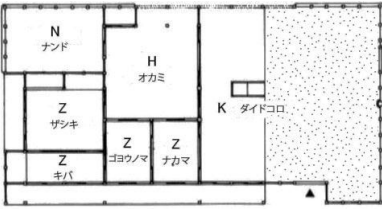
4.2変調に関する考察
 4.2.1平面の変調

平面の種類	変調が加えられる部位
<div>  <p>474型</p> </div>	①土座と床座との間仕切り ②寝間と座敷との間仕切り ③縁側の位置 ④縁側の種類 ⑤ウマヤもしくはシモベヤの有無 ⑥イロリの有無

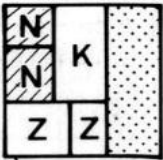
		1	2
変調の図		<div>  </div>	<div>  </div>
変調が加えられる部位	①	建具	建具
	②	押入(座敷側)	押入(座敷側)
	③	オモテ側縁	オモテ側廻り縁
	④	外縁	外縁
	⑤	なし	なし
	⑥	あり(広間兼勝手)	あり(広間兼勝手)
該当する民家 (平面図1/400)		<div>  <p>宮城県栗原市、高橋清邸</p> </div>	<div>  <p>宮城県栗原市、菅原初郎邸</p> </div>

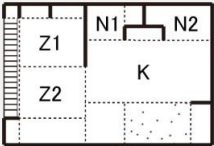

4.2変調に関する考察
 4.2.1平面の変調

平面の種類	変調が加えられる部位
<div>  <p>574型</p> </div>	①土座と床座との間仕切り ②寝間と座敷との間仕切り ③縁側の位置 ④縁側の種類 ⑤ウマヤもしくはシモベヤの有無 ⑥イロリの有無

		1
変調の図		<div>  </div>
変調が加えられる部位	①	間仕切りなし
	②	押入(座敷側)
	③	オモテ側縁+妻側縁
	④	外縁
	⑤	なし
	⑥	あり(勝手)
該当する民家 (平面図1/400)		<div>  <p>宮城県栗原市、高橋恒夫邸</p> </div>

4.2変調に関する考察
 4.2.1平面の変調

平面の種類	変調が加えられる部位
<div>  <p>756型</p> </div>	①土座と床座との間仕切り ②寝間と座敷との間仕切り ③縁側の位置 ④縁側の種類 ⑤ウマヤもしくはシモベヤの有無 ⑥イロリの有無

		1
変調の図		<div>  </div>
変調が加えられる部位	①	建具
	②	壁
	③	妻側縁
	④	内縁
	⑤	なし
	⑥	なし
該当する民家 (平面図1/400)		<div>  </div>
		三重県大紀町、小倉裕邸

○平面の変調のまとめ

表 4.3 は変調が加えられる部位を縦に示し、両県の変調のボキャブラリーをまとめた。さらに図 4.5 は両県の変調の傾向を取り上げ、それによく当てはまる民家の図を付加した。

両県で変調の傾向が異なるのは、

- ①の部位：土間と広間兼勝手が接する場合、宮城県が「建具」による間仕切り、三重県が「間仕切りなし」となる。
- ②の部位：寝間と座敷が縦に並ぶ場合、宮城県が「壁」による間仕切り、三重県が「建具」による間仕切りとなる。
- ④の部位：縁側の種類は宮城県が「外縁」、三重県が「内縁」となる。
- ⑤の部位：ウマヤ・シモベヤは宮城県が「なし」、三重県が「あり」で土間オモテ側に位置する。例として宮城県の民家の主屋とウマヤの位置関係を図 4.6 に示す。ウマヤは付属屋の一つとして建てられた。三重県の民家は主屋内のウマヤ・シモベヤの位置を図 4.7 のように分類できた。

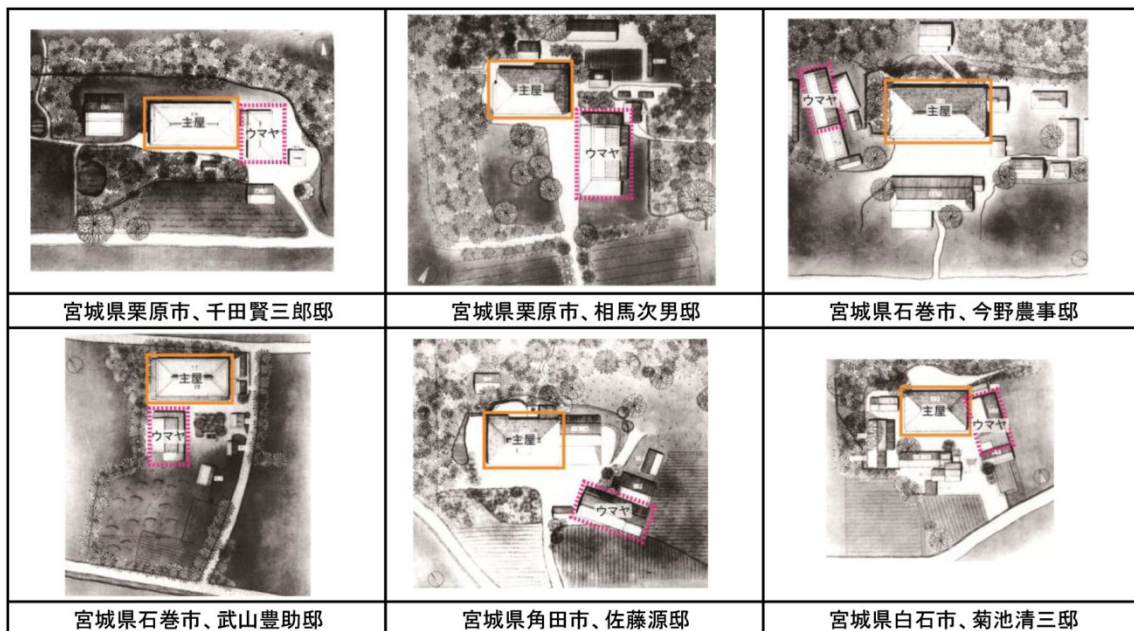


図 4.6 宮城県の民家に見られる主屋とウマヤの位置



図 4.7 主屋内のウマヤ・シモベヤの位置

表 4.3 平面の変調のボキャブラリー

宮城県	変調が加えられる部位	三重県
	①土座と床座の間仕切り	
間仕切りなし(12/17)	土間と勝手	間仕切りなし(34/42)
建具(5/17)		建具(8/42)
間仕切りなし	土間と広間	間仕切りなし(1/2)
建具(4/4)		建具(1/2)
間仕切りなし(2/34)	土間と広間兼勝手	間仕切りなし(8/10)
建具(32/34)		建具(2/8)
建具(2/5)	土間と寝間	建具
壁(3/5)		壁(2/2)
間仕切りなし	土間と座敷	間仕切りなし(5/37)
建具(20/20)		建具(32/37)
	②寝間と座敷の間仕切り	
建具(5/50)	(1)寝間と座敷が縦に並ぶ場合	建具(29/45)
壁(19/50)		壁(9/45)
壁+建具(2/50)		壁+建具
壁+押入(座敷側)(4/50)		壁+押入(座敷側)(2/45)
壁+押入(寝間側)(1/50)		壁+押入(寝間側)
押入(座敷側)(17/50)		押入(座敷側)(2/45)
押入(寝間側)(1/50)		押入(寝間側)(3/45)
押入(座敷側+寝間側)(1/50)		押入(座敷側+寝間側)
建具(1/5)	(2)寝間と座敷が横に並ぶ場合	建具(8/15)
壁(3/5)		壁(7/15)
壁+建具(1/5)		壁+建具
縁なし(6/53)	③縁側の位置	縁なし(17/53)
オモテ側縁(36/53)		オモテ側縁(12/53)
妻側縁		妻側縁(3/53)
オモテ側廻り縁(10/53)		オモテ側廻り縁
ウラ側廻り縁		ウラ側廻り縁(1/53)
オモテ側縁+ウラ側縁		オモテ側縁+ウラ側縁(4/53)
オモテ側縁+妻側縁(1/53)		オモテ側縁+妻側縁(3/53)
オモテ側廻り縁+ウラ側縁		オモテ側廻り縁+ウラ側縁(3/53)
オモテ側縁+ウラ側廻り縁		オモテ側縁+ウラ側廻り縁(2/53)
オモテ側縁+ウラ側縁+妻側縁		オモテ側縁+ウラ側縁+妻側縁(1/53)
オモテ側からウラ側まで ひと連なりの廻り縁		オモテ側からウラ側まで ひと連なりの廻り縁(1/53)
縁なし(6/53)	④縁側の種類	縁なし(17/53)
外縁(46/53)		外縁(9/53)
内縁(1/53)		内縁(27/53)
なし(51/53)	⑤ウマヤ・シモベヤ	なし(12/53)
土間オモテ側(1/53)		土間オモテ側(32/53)
土間ウラ側		土間ウラ側(7/53)
土間オモテ側+土間ウラ側		土間オモテ側+土間ウラ側(1/53)
土間オモテ側からウラ側にかけて (1/53)		土間オモテ側からウラ側にかけて (1/53)
なし(34/53)	⑥イロリ	なし(44/53)
勝手(8/53)		勝手(6/53)
広間(1/53)		広間
広間兼勝手(10/53)		広間兼勝手(2/53)
座敷		座敷(1/53)

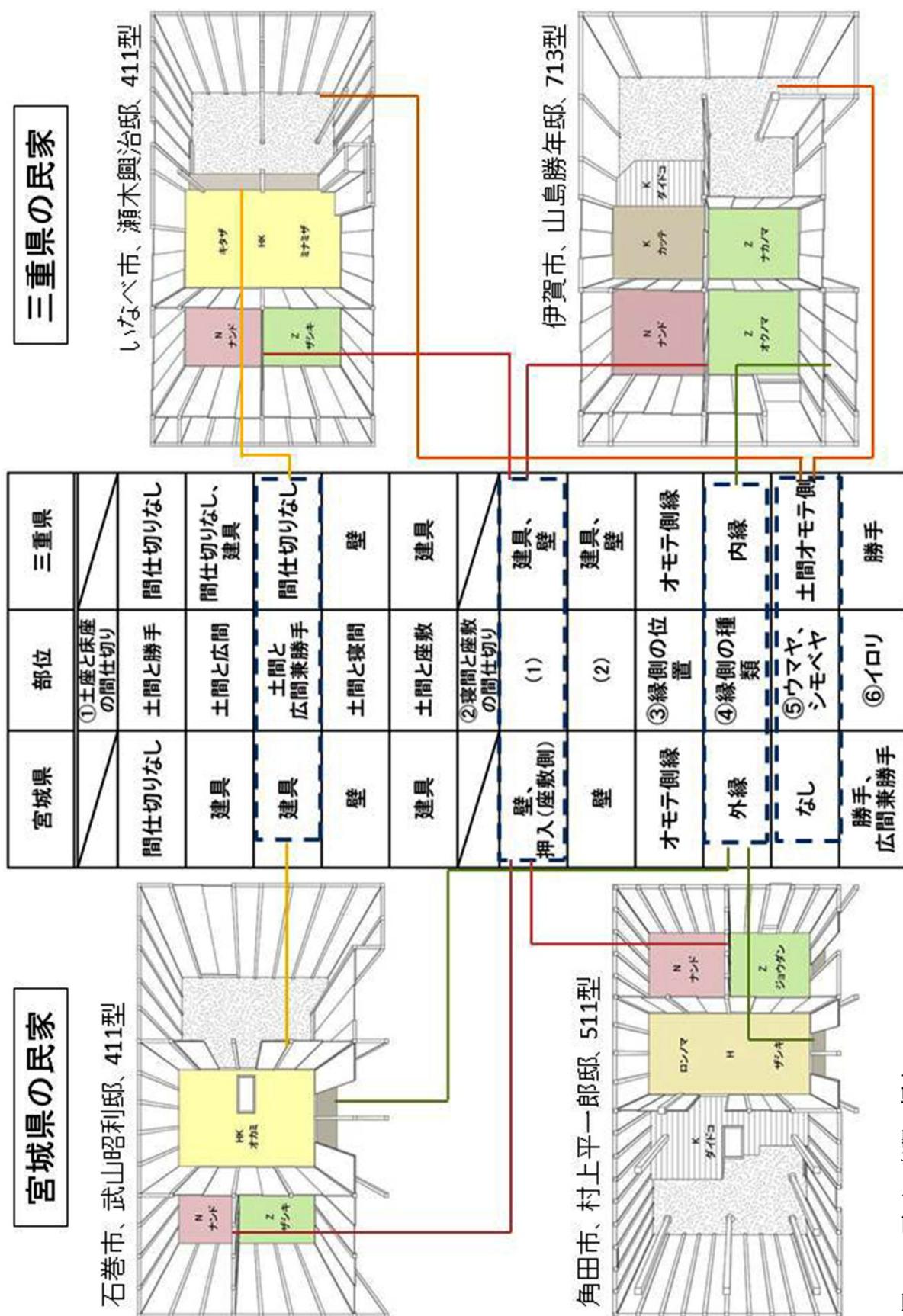


図 4.5 平面の変調の傾向

4.2.2 架構の変調

本分析は架構を梁行材と桁行材に区別する。代表的な架構の変調が加えられる部位は、①上屋造の形式、②下屋造の形式、③上屋の架構、④下屋の架構、⑤又下屋の架構、⑥小屋組の支持形式と設定した。図4.8は①と②の選択肢として参考にした。図4.9は③、④、⑤の選択肢として参考にした。図4.10は⑥の選択肢として参考にした。

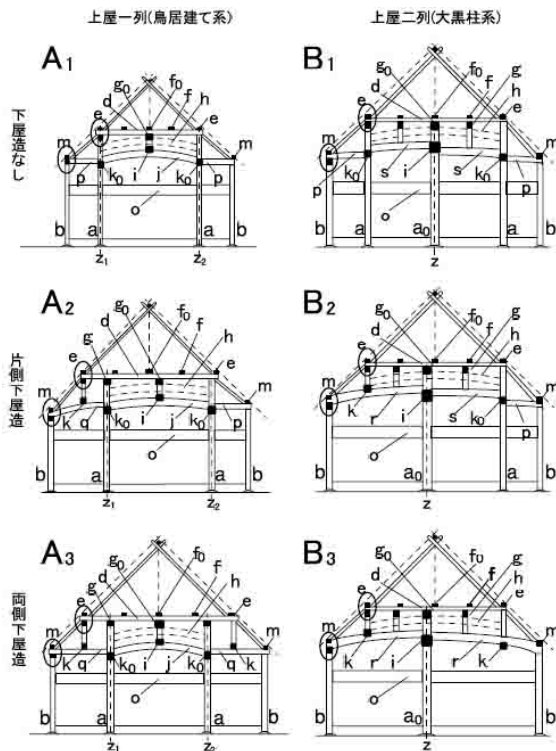


図 4.8 上屋造及び下屋造の形式*15

下屋構造	上屋構造	上屋梁折置				上屋梁京呂			
		桁受け		梁受け		梁受け		桁受け	
		A	B	C	D	A	B	C	D
0	なし								
1	折置								
2	折置・京呂混在								
3	京呂								

は上屋を示す

図 4.9 折置組及び京呂組の類型*16

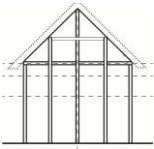

上屋梁折置			上屋梁京呂			上屋梁差付け
(地棟+桁) 受け	(地棟+梁) 受け	梁受け	(梁+桁) 受け	(薄梁+桁) 受け	桁受け	棟束受け 棟持柱受け

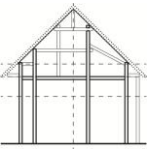

図 4.10 小屋組の支持形式の分類*17

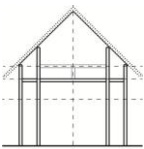
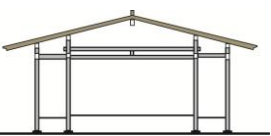
4.2変調に関する考察

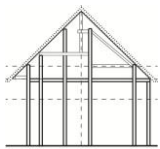
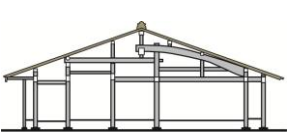
4.2.2架構の変調

変調が加えられる部位
①上屋造の形式
②下屋造の形式
③上屋の架構
④下屋の架構
⑤又下屋の架構
⑥小屋組の支持形式

軸組の種類		
		a531
1		
変調の図		
変調が 部位 えられる	①	上屋二列
	②	下屋造なし
	③	折置組
	④	折置組
	⑤	—
	⑥	桁受け
該当する民家	三重県熊野市、尾中熊之助邸	

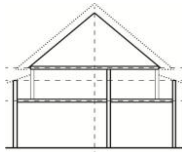


軸組の種類		
		b521
1		
変調の図		
変調が 部位 えられる	①	上屋一列
	②	下屋造なし
	③	京呂組
	④	京呂組
	⑤	—
	⑥	桁受け
該当する民家	三重県熊野市、倉本おきせ邸	

軸組の種類		
		b522
1		
変調の図		
変調が 部位 えられる	①	上屋一列
	②	下屋造なし
	③	京呂組
	④	京呂組
	⑤	—
	⑥	桁受け
該当する民家	三重県熊野市、栗村八代子邸	



軸組の種類		
		b531
1		
変調の図		
変調が 部位 えられる	①	上屋二列
	②	下屋造なし
	③	折置組・京呂組混在
	④	京呂組
	⑤	—
	⑥	桁受け
該当する民家	三重県熊野市、東きぬゑ邸	

4.2変調に関する考察
 4.2.2架構の変調

変調が加えられる部位		
①上屋造の形式		
②下屋造の形式		
③上屋の架構		
④下屋の架構		
⑤又下屋の架構		
⑥小屋組の支持形式		

軸組の類型			
			
c311			
	1	2	
変調の図			
変調が 部 加 え ら れ る	①	上屋二列	上屋二列
	②	両側下屋造	両側下屋造
	③	京呂組桁受け	折置組桁受け
	④	折置組	折置組
	⑤	折置組	折置組
	⑥	桁受け	桁受け
該当する民家	三重県いなべ市、渡部稔邸		三重県いなべ市、山本教雄邸


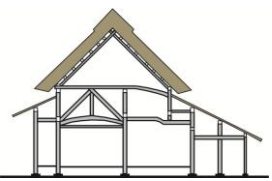
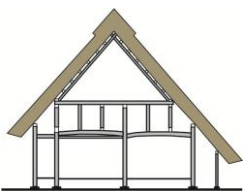
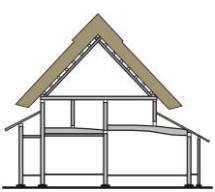


4.2変調に関する考察
 4.2.2架構の変調

変調が加えられる部位 <div> ①上屋造の形式 ②下屋造の形式 ③上屋の架構 ④下屋の架構 ⑤又下屋の架構 ⑥小屋組の支持形式 </div>		
軸組の種類 <div>  <p>c411</p> </div>		
		1
変調の図		
変調が 加えら れる部	①	上屋二列
	②	片側下屋造
	③	京呂組桁受け
	④	折置組・京呂組混在
	⑤	—
	⑥	桁受け
該当する民家	三重県伊賀市、日根野達三邸	

4.2変調に関する考察

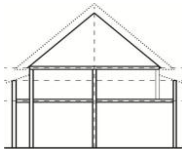


4.2.2架構の変調

変調が加えられる部位
①上屋造の形式
②下屋造の形式
③上屋の架構
④下屋の架構
⑤又下屋の架構
⑥小屋組の支持形式

		軸組の種類		
		 c412		
		1	2	3
変調の図				
変調が加えられる部位	①	上屋二列	上屋二列	上屋二列
	②	片側下屋造	片側下屋造	片側下屋造
	③	折置組・京呂組混在、桁受け・梁受け混在	京呂組梁受け	京呂組梁受け
	④	折置組	折置組	折置組
	⑤	—	—	—
	⑥	梁受け・(梁+桁)受け混在	(梁+桁)受け	(梁+桁)受け
該当する民家		三重県いなべ市、山北武司邸	三重県いなべ市、岡常一郎	三重県いなべ市、弓矢守邸
		4	5	
変調の図				
変調が加えられる部位	①	上屋二列	上屋二列	
	②	片側下屋造	片側下屋造	
	③	折置組梁受け	京呂組梁受け	
	④	折置組	折置組	
	⑤	—	—	
	⑥	梁受け	(梁+桁)受け	
該当する民家		三重県いなべ市、諸岡忠次邸	三重県いなべ市、小川敏彦邸	

4.2変調に関する考察
 4.2.2架構の変調


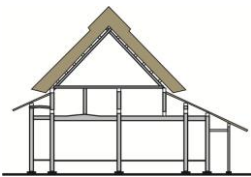



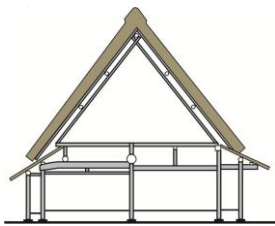
変調が加えられる部位		
①上屋造の形式		
②下屋造の形式		
③上屋の架構		
④下屋の架構		
⑤又下屋の架構		
⑥小屋組の支持形式		

軸組の種類			
			
c413			
	1	2	
変調の図			
変調が 加えら れる部	①	上屋二列	上屋二列
	②	片側下屋造	片側下屋造
	③	折置組桁受け	京呂組桁受け
	④	折置組	京呂組
	⑤	—	—
	⑥	桁受け	桁受け
該当する民家	三重県いなべ市、伊藤正義邸		三重県いなべ市、中西定夫邸

4.2変調に関する考察

4.2.2架構の変調



変調が加えられる部位
①上屋造の形式
②下屋造の形式
③上屋の架構
④下屋の架構
⑤又下屋の架構
⑥小屋組の支持形式

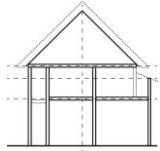
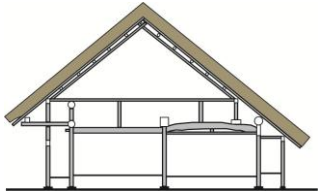
		軸組の類型		
		 c414		
		1	2	3
変調の図				
変調が 加えら れる部 位	①	上屋二列	上屋二列	上屋二列
	②	片側下屋造	片側下屋造	片側下屋造
	③	京呂組桁受け	折置組桁受け	京呂組桁受け
	④	折置組	折置組	折置組
	⑤	—	—	—
	⑥	桁受け	桁受け	桁受け
該当する民家		三重県いなべ市、出口久由邸	三重県いなべ市、岡文雄邸	三重県伊賀市、増山キヨノ邸
		4	5	
変調の図				
変調が 加えら れる部 位	①	上屋二列	上屋二列	
	②	片側下屋造	片側下屋造	
	③	京呂組桁受け	京呂組梁受け	
	④	折置組	折置組	
	⑤	—	折置組	
	⑥	桁受け	(梁+桁)受け	
該当する民家		三重県伊賀市、稲葉春昭邸	三重県津市、福井治夫邸	

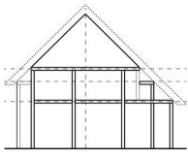

4.2変調に関する考察

4.2.2架構の変調

変調が加えられる部位
①上屋造の形式
②下屋造の形式
③上屋の架構
④下屋の架構
⑤又下屋の架構
⑥小屋組の支持形式

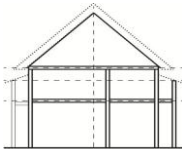


軸組の種類													
													
c421													
1													
変調の図													
変調が加えられる部	<table> <tr><td>①</td><td>上屋二列</td></tr> <tr><td>②</td><td>片側下屋造</td></tr> <tr><td>③</td><td>折置組・京呂組混在</td></tr> <tr><td>④</td><td>折置組</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>—</td></tr> <tr><td>⑥</td><td>桁受け</td></tr> </table>	①	上屋二列	②	片側下屋造	③	折置組・京呂組混在	④	折置組	⑤	—	⑥	桁受け
①	上屋二列												
②	片側下屋造												
③	折置組・京呂組混在												
④	折置組												
⑤	—												
⑥	桁受け												
該当する民家	三重県津市、小林豊邸												

軸組の種類													
													
c422													
1													
変調の図													
変調が加えられる部	<table> <tr><td>①</td><td>上屋二列</td></tr> <tr><td>②</td><td>片側下屋造</td></tr> <tr><td>③</td><td>京呂組梁受け</td></tr> <tr><td>④</td><td>折置組</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>—</td></tr> <tr><td>⑥</td><td>(梁+桁)受け</td></tr> </table>	①	上屋二列	②	片側下屋造	③	京呂組梁受け	④	折置組	⑤	—	⑥	(梁+桁)受け
①	上屋二列												
②	片側下屋造												
③	京呂組梁受け												
④	折置組												
⑤	—												
⑥	(梁+桁)受け												
該当する民家	三重県津市、西村久美邸												

軸組の種類													
													
c423													
1													
変調の図													
変調が加えられる部	<table> <tr><td>①</td><td>上屋二列</td></tr> <tr><td>②</td><td>片側下屋造</td></tr> <tr><td>③</td><td>折置組梁受け</td></tr> <tr><td>④</td><td>折置組</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>折置組</td></tr> <tr><td>⑥</td><td>梁受け</td></tr> </table>	①	上屋二列	②	片側下屋造	③	折置組梁受け	④	折置組	⑤	折置組	⑥	梁受け
①	上屋二列												
②	片側下屋造												
③	折置組梁受け												
④	折置組												
⑤	折置組												
⑥	梁受け												
該当する民家	宮城県栗原市、工藤信一邸												

4.2変調に関する考察
 4.2.2架構の変調


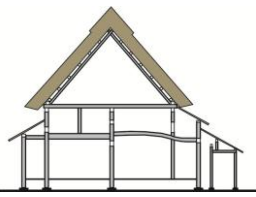

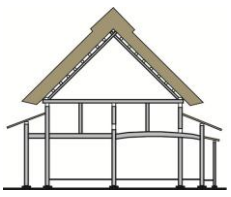

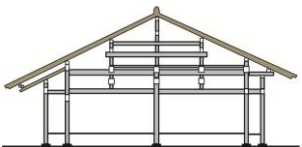
変調が加えられる部位		
①上屋造の形式		
②下屋造の形式		
③上屋の架構		
④下屋の架構		
⑤又下屋の架構		
⑥小屋組の支持形式		

軸組の種類			
			
c511			
	1	2	
変調の図			
変調が加えられる部位	①	上屋二列	上屋二列
	②	下屋造なし	下屋造なし
	③	京呂組梁受け	京呂組桁受け
	④	折置組	折置組と京呂組
	⑤	折置組	—
	⑥	(梁+桁)受け	桁受け
該当する民家		宮城県角田市、本田邵邸	三重県伊賀市、猪野岩一郎

4.2変調に関する考察

4.2.2架構の変調

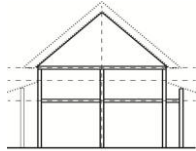

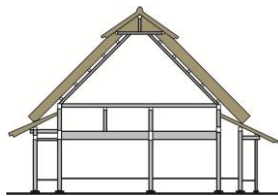
変調が加えられる部位
①上屋造の形式
②下屋造の形式
③上屋の架構
④下屋の架構
⑤又下屋の架構
⑥小屋組の支持形式

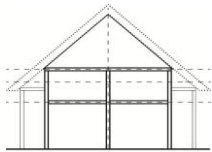
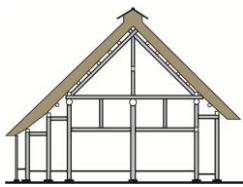
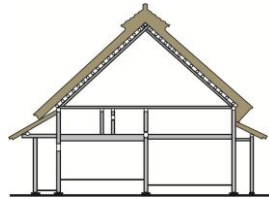
		軸組の種類		
		 c512		
		1	2	3
変調の図				
変調が加えられる部位	①	上屋二列	上屋二列	上屋二列
	②	下屋造なし	下屋造なし	下屋造なし
	③	京呂組梁受け	京呂組梁受け	京呂組梁受け
	④	折置組	折置組	折置組
	⑤	—	—	—
	⑥	(梁+桁)受け	(梁+桁受け)	(梁+桁受け)
該当する民家		三重県いなべ市、横田幸見邸	三重県いなべ市、瀬木興治邸	三重県いなべ市、樋口幸七邸
		4	5	
変調の図				
変調が加えられる部位	①	上屋二列	上屋二列	
	②	下屋造なし	下屋造なし	
	③	折置組桁受け	折置組	
	④	折置組	折置組・京呂組混在	
	⑤	—	—	
	⑥	桁受け	桁受け	
該当する民家		三重県いなべ市、門脇周一郎	三重県熊野市、杉村栄作邸	

4.2変調に関する考察

4.2.2架構の変調

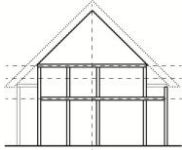
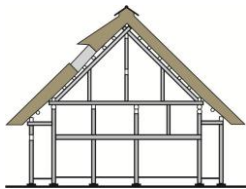
変調が加えられる部位
①上屋造の形式
②下屋造の形式
③上屋の架構
④下屋の架構
⑤又下屋の架構
⑥小屋組の支持形式


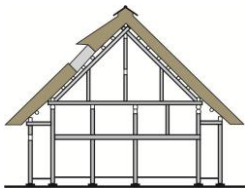
軸組の種類		
		
c513		
	1	2
変調の図		
変調が加えられる部位	①	上屋二列
	②	下屋造なし
	③	京呂組梁受け
	④	折置組
	⑤	—
	⑥	(梁+桁)受け
該当する民家	三重県いなべ市、土屋和喜子邸	三重県伊賀市、山島勝年邸

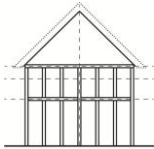

軸組の種類		
		
c514		
	1	2
変調の図		
変調が加えられる部位	①	上屋二列
	②	下屋造なし
	③	京呂組梁受け
	④	折置組
	⑤	折置組
	⑥	(梁+桁)受け
該当する民家	宮城県白石市、菊池清三邸	三重県伊賀市、中久郎邸

4.2変調に関する考察
 4.2.2架構の変調

変調が加えられる部位
①上屋造の形式
②下屋造の形式
③上屋の架構
④下屋の架構
⑤又下屋の架構
⑥小屋組の支持形式

軸組の種類													
													
c521													
1													
変調の図													
変調が加えられる部位	<table> <tr><td>①</td><td>上屋一列</td></tr> <tr><td>②</td><td>下屋造なし</td></tr> <tr><td>③</td><td>京呂組梁受け</td></tr> <tr><td>④</td><td>折置組</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>—</td></tr> <tr><td>⑥</td><td>(梁+桁)受け</td></tr> </table>	①	上屋一列	②	下屋造なし	③	京呂組梁受け	④	折置組	⑤	—	⑥	(梁+桁)受け
①	上屋一列												
②	下屋造なし												
③	京呂組梁受け												
④	折置組												
⑤	—												
⑥	(梁+桁)受け												
該当する民家	宮城県石巻市、津田政蔵邸												


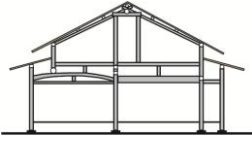
軸組の種類													
													
c522													
1													
変調の図													
変調が加えられる部位	<table> <tr><td>①</td><td>上屋一列</td></tr> <tr><td>②</td><td>下屋造なし</td></tr> <tr><td>③</td><td>京呂組梁受け</td></tr> <tr><td>④</td><td>折置組</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>—</td></tr> <tr><td>⑥</td><td>(梁+桁)受け</td></tr> </table>	①	上屋一列	②	下屋造なし	③	京呂組梁受け	④	折置組	⑤	—	⑥	(梁+桁)受け
①	上屋一列												
②	下屋造なし												
③	京呂組梁受け												
④	折置組												
⑤	—												
⑥	(梁+桁)受け												
該当する民家	宮城県石巻市、津田政蔵邸												


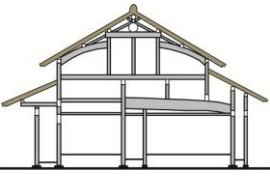
軸組の種類													
													
c551													
1													
変調の図													
変調が加えられる部位	<table> <tr><td>①</td><td>上屋一列</td></tr> <tr><td>②</td><td>下屋造なし</td></tr> <tr><td>③</td><td>京呂組</td></tr> <tr><td>④</td><td>—</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>—</td></tr> <tr><td>⑥</td><td>(梁+桁)受け</td></tr> </table>	①	上屋一列	②	下屋造なし	③	京呂組	④	—	⑤	—	⑥	(梁+桁)受け
①	上屋一列												
②	下屋造なし												
③	京呂組												
④	—												
⑤	—												
⑥	(梁+桁)受け												
該当する民家	宮城県石巻市、永瀬頼邸												

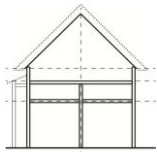
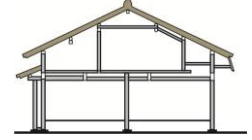
4.2変調に関する考察


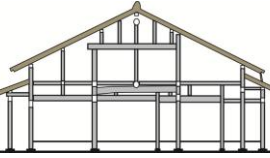
4.2.2架構の変調

変調が加えられる部位
①上屋造の形式
②下屋造の形式
③上屋の架構
④下屋の架構
⑤又下屋の架構
⑥小屋組の支持形式

軸組の種類	
	
d411	
1	
変調の図	
変調が加えられる部位	① 上屋二列
	② 片側下屋造
	③ 折置組
	④ 折置組
	⑤ —
	⑥ 桁受け
該当する民家	三重県いなべ市、神谷欽一郎

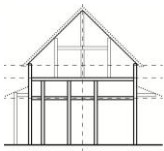
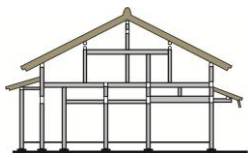
軸組の種類	
	
d412	
1	
変調の図	
変調が加えられる部位	① 上屋二列
	② 片側下屋造
	③ 京呂組
	④ 折置組・京呂組混在
	⑤ —
	⑥ 桁受け
該当する民家	三重県津市、内田照雄邸

軸組の種類	
	
d511	
1	
変調の図	
変調が加えられる部位	① 上屋一列
	② 下屋造なし
	③ 折置組
	④ —
	⑤ —
	⑥ 桁受け
該当する民家	三重県大紀町、谷口洋太郎邸

軸組の種類	
	
d531	
1	
変調の図	
変調が加えられる部位	① 上屋一列
	② 下屋造なし
	③ 折置組
	④ 京呂組
	⑤ —
	⑥ 桁受け
該当する民家	三重県大紀町、小倉裕邸

4.2変調に関する考察
 4.2.2架構の変調

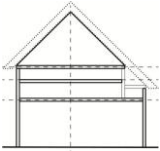

変調が加えられる部位 ①上屋造の形式 ②下屋造の形式 ③上屋の架構 ④下屋の架構 ⑤又下屋の架構 ⑥小屋組の支持形式
--

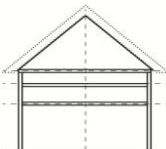


軸組の種類 <div>  </div> d532	
1	
変調の図 <div>  </div>	
変調が加えられる部 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥	上屋一列 下屋造なし 折置組 京呂組 ー 桁受け
該当する民家	三重県大紀町、黒田哲邸

4.2変調に関する考察

4.2.2架構の変調

変調が加えられる部位
①上屋造の形式
②下屋造の形式
③上屋の架構
④下屋の架構
⑤又下屋の架構
⑥小屋組の支持形式

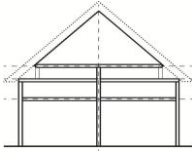
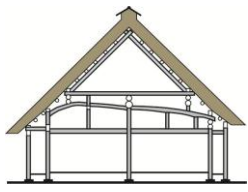
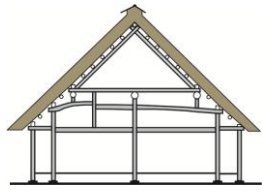
軸組の種類													
													
e101													
1													
変調の図													
変調が加えられる部	<table> <tr> <td>①</td><td>上屋一列</td></tr> <tr> <td>②</td><td>両側下屋造</td></tr> <tr> <td>③</td><td>京呂組梁受け</td></tr> <tr> <td>④</td><td>京呂組</td></tr> <tr> <td>⑤</td><td>—</td></tr> <tr> <td>⑥</td><td>(梁+桁)受け</td></tr> </table>	①	上屋一列	②	両側下屋造	③	京呂組梁受け	④	京呂組	⑤	—	⑥	(梁+桁)受け
①	上屋一列												
②	両側下屋造												
③	京呂組梁受け												
④	京呂組												
⑤	—												
⑥	(梁+桁)受け												
該当する民家	宮城県石巻市、佐々木ひで子邸												

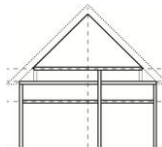
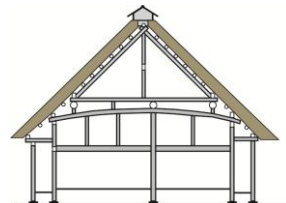


軸組の種類			
			
e201			
1		2	
			
変調の図			
変調が 加えら れる部	①	上屋一列	上屋一列
	②	下屋造なし	下屋造なし
	③	京呂組梁受け	京呂組梁受け
	④	折置組	折置組
	⑤	折置組	—
	⑥	(梁＋桁)受け	(梁＋桁)受け
該当する民家		宮城県角田市、佐藤源邸	宮城県角田市、高橋国雄邸

4.2変調に関する考察

4.2.2架構の変調

変調が加えられる部位
①上屋造の形式
②下屋造の形式
③上屋の架構
④下屋の架構
⑤又下屋の架構
⑥小屋組の支持形式

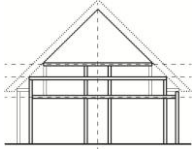

軸組の種類		
		
e311		
	1	2
変調の図		
変調が加えられる部位	①	上屋二列
	②	両側下屋造
	③	京呂組梁受け
	④	折置組・京呂組混在
	⑤	折置組・京呂組混在
	⑥	(梁+桁)受け
該当する民家	宮城県仙台市、庄司長一郎	宮城県仙台市、伊藤丑蔵邸

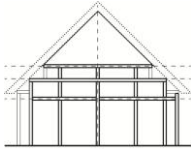

軸組の種類				
				
e312				
		1	2	3
変調の図				
変調が 加えら れる部	①	上屋一列	上屋二列	上屋一列
	②	両側下屋造	両側下屋造	両側下屋造
	③	京呂組梁受け	京呂組梁受け	京呂組梁受け
	④	京呂組	折置組・京呂組混在	京呂組
	⑤	折置組・京呂組混在	折置組	京呂組
	⑥	(梁＋桁)受け	(梁＋桁)受け	(梁＋桁)受け
該当する民家		宮城県仙台市、庄司はつえ邸	宮城県仙台市、佐藤門治邸	宮城県仙台市、石垣茂嘉邸

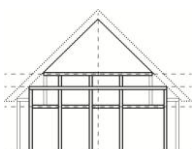
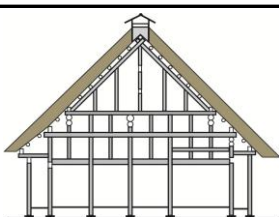
4.2変調に関する考察



4.2.2架構の変調

変調が加えられる部位
①上屋造の形式
②下屋造の形式
③上屋の架構
④下屋の架構
⑤又下屋の架構
⑥小屋組の支持形式

軸組の類型	
	
e321	
1	
変調の図	
変調が加えられる部位	① 上屋二列
	② 両側下屋造
	③ 折置組・京呂組混在梁受け
	④ 折置組
	⑤ 京呂組
	⑥ 梁受け
該当する民家	宮城県栗原市、高橋恒夫邸

軸組の類型	
	
e331	
1	
変調の図	
変調が加えられる部位	① 上屋一列
	② 両側下屋造
	③ 京呂組梁受け
	④ 折置組・京呂組混在
	⑤ 折置組・京呂組混在
	⑥ (梁+桁)受け
該当する民家	宮城県石巻市、今野農事邸

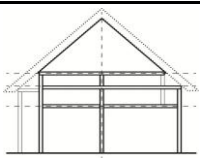
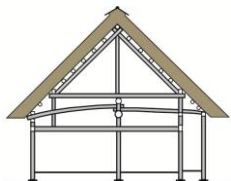

軸組の類型	
	
e332	
1	
変調の図	
変調が加えられる部位	① 上屋一列
	② 両側下屋造
	③ 京呂組梁受け
	④ 折置組・京呂組混在
	⑤ 折置組・京呂組混在
	⑥ (梁+桁)受け
該当する民家	宮城県仙台市、奥山やい子邸

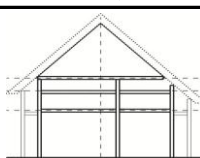
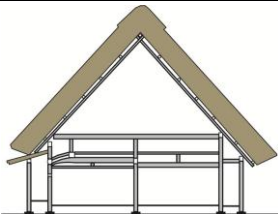
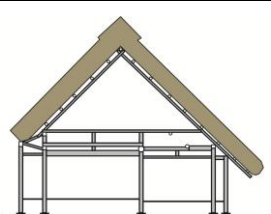
軸組の類型	
	
e333	
1	
変調の図	
変調が加えられる部位	① 上屋一列
	② 片側下屋造
	③ 京呂組梁受け
	④ 折置組・京呂組混在
	⑤ —
	⑥ (梁+桁)受け
該当する民家	宮城県石巻市、高橋てよ邸

4.2変調に関する考察

4.2.2架構の変調

変調が加えられる部位
①上屋造の形式
②下屋造の形式
③上屋の架構
④下屋の架構
⑤又下屋の架構
⑥小屋組の支持形式

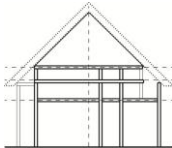

軸組の種類		
		
e411		
	1	2
変調の図		
変調が加えられる部位	①	上屋二列
	②	片側下屋造
	③	折置組梁受け
	④	京呂組
	⑤	—
	⑥	梁受け
該当する民家	宮城県栗原市、伊藤博邸	宮城県石巻市、亀山義一郎邸

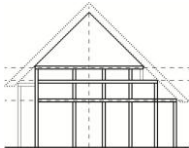
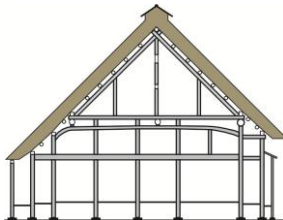
軸組の種類		
		
e412		
	1	2
変調の図		
変調が加えられる部位	①	上屋二列
	②	片側下屋造
	③	折置組・京呂組混在、桁受け・梁受けの混在
	④	折置組
	⑤	—
	⑥	梁受け・(梁+桁)受け混在
該当する民家	三重県津市、溝口卯平邸	三重県津市、田中豊邸

4.2変調に関する考察

4.2.2架構の変調

変調が加えられる部位	
①	上屋造の形式
②	下屋造の形式
③	上屋の架構
④	下屋の架構
⑤	又下屋の架構
⑥	小屋組の支持形式


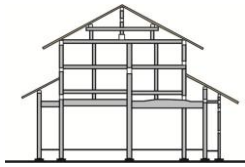
軸組の類型		
		
e421		
		1
変調の図		
変調が 加えら れる部 位	①	上屋二列
	②	片側下屋造
	③	折置組・京呂組混在
	④	折置組
	⑤	折置組
	⑥	梁受け・(梁+桁)受け混在
該当する民家		宮城県仙台市、桜下吉治


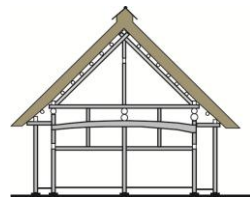
軸組の類型		
		
e432		
		1
変調の図		
変調が 加えら れる部 位	①	上屋一列
	②	片側下屋造
	③	京呂組梁受け
	④	折置組
	⑤	折置組
	⑥	(梁+桁)受け
該当する民家		宮城県石巻市、木村広助邸

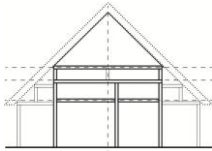

4.2変調に関する考察

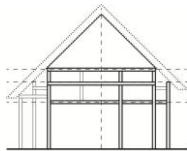
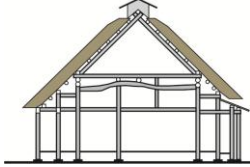
4.2.2架構の変調

変調が加えられる部位
①上屋造の形式
②下屋造の形式
③上屋の架構
④下屋の架構
⑤又下屋の架構
⑥小屋組の支持形式

軸組の類型													
													
e511													
1													
変調の図													
変調が加えられる部位	<table> <tr><td>①</td><td>上屋二列</td></tr> <tr><td>②</td><td>下屋造なし</td></tr> <tr><td>③</td><td>京呂組桁受け</td></tr> <tr><td>④</td><td>折置組</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>—</td></tr> <tr><td>⑥</td><td>(梁+桁)受け</td></tr> </table>	①	上屋二列	②	下屋造なし	③	京呂組桁受け	④	折置組	⑤	—	⑥	(梁+桁)受け
①	上屋二列												
②	下屋造なし												
③	京呂組桁受け												
④	折置組												
⑤	—												
⑥	(梁+桁)受け												
該当する民家	三重県いなべ市、日下徳重邸												

軸組の類型													
													
e512													
1													
変調の図													
変調が加えられる部位	<table> <tr><td>①</td><td>上屋一列</td></tr> <tr><td>②</td><td>下屋造なし</td></tr> <tr><td>③</td><td>京呂組梁受け</td></tr> <tr><td>④</td><td>折置組</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>—</td></tr> <tr><td>⑥</td><td>(梁+桁)受け</td></tr> </table>	①	上屋一列	②	下屋造なし	③	京呂組梁受け	④	折置組	⑤	—	⑥	(梁+桁)受け
①	上屋一列												
②	下屋造なし												
③	京呂組梁受け												
④	折置組												
⑤	—												
⑥	(梁+桁)受け												
該当する民家	宮城県白石市、高橋利三郎邸												

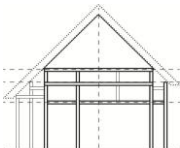

軸組の類型													
													
e513													
1													
変調の図													
変調が加えられる部位	<table> <tr><td>①</td><td>上屋一列</td></tr> <tr><td>②</td><td>下屋造なし</td></tr> <tr><td>③</td><td>京呂組梁受け</td></tr> <tr><td>④</td><td>折置組</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>折置組</td></tr> <tr><td>⑥</td><td>(梁+桁)受け</td></tr> </table>	①	上屋一列	②	下屋造なし	③	京呂組梁受け	④	折置組	⑤	折置組	⑥	(梁+桁)受け
①	上屋一列												
②	下屋造なし												
③	京呂組梁受け												
④	折置組												
⑤	折置組												
⑥	(梁+桁)受け												
該当する民家	宮城県白石市、高子一雄邸												

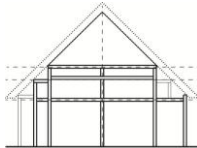
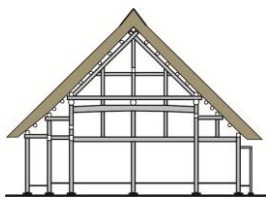
軸組の類型													
													
e514													
1													
変調の図													
変調が加えられる部位	<table> <tr><td>①</td><td>上屋一列</td></tr> <tr><td>②</td><td>片側下屋造</td></tr> <tr><td>③</td><td>京呂組梁受け</td></tr> <tr><td>④</td><td>折置組</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>折置組・京呂組混在</td></tr> <tr><td>⑥</td><td>(梁+桁)受け</td></tr> </table>	①	上屋一列	②	片側下屋造	③	京呂組梁受け	④	折置組	⑤	折置組・京呂組混在	⑥	(梁+桁)受け
①	上屋一列												
②	片側下屋造												
③	京呂組梁受け												
④	折置組												
⑤	折置組・京呂組混在												
⑥	(梁+桁)受け												
該当する民家	宮城県白石市、遠藤忠雄邸												

4.2変調に関する考察

4.2.2架構の変調




変調が加えられる部位	
①	上屋造の形式
②	下屋造の形式
③	上屋の架構
④	下屋の架構
⑤	又下屋の架構
⑥	小屋組の支持形式

軸組の類型		
		
e515		
		1
変調の図		
変調が 加えら れる部	①	上屋一列
	②	下屋造なし
	③	京呂組梁受け
	④	折置組
	⑤	京呂組
	⑥	(梁+桁)受け
該当する民家		宮城県白石市、佐藤妙二郎

軸組の類型		
		
e516		
		1
変調の図		
変調が 加えら れる部	①	上屋一列
	②	下屋造なし
	③	京呂組梁受け
	④	折置組
	⑤	折置組
	⑥	(梁+桁)受け
該当する民家		宮城県白石市、佐藤敬一郎

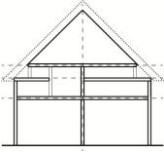
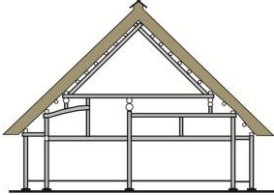
4.2変調に関する考察
 4.2.2架構の変調

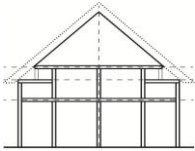
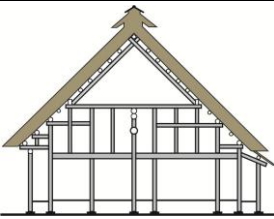
変調が加えられる部位		
①上屋造の形式		
②下屋造の形式		
③上屋の架構		
④下屋の架構		
⑤又下屋の架構		
⑥小屋組の支持形式		

軸組の種類			
			
e521			
	1	2	
変調の図			
変調が加えられる部位	①	上屋一列	上屋一列
	②	下屋造なし	下屋造なし
	③	京呂組梁受け	京呂組梁受け
	④	折置組	折置組
	⑤	—	折置組
	⑥	(梁+桁)受け	(梁+桁)受け
該当する民家		宮城県石巻市、武山昭利邸	宮城県白石市、高野豊二邸

4.2変調に関する考察
 4.2.2架構の変調

変調が加えられる部位 ①上屋造の形式 ②下屋造の形式 ③上屋の架構 ④下屋の架構 ⑤又下屋の架構 ⑥小屋組の支持形式
--


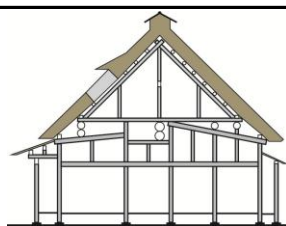
軸組の種類  f311	
1	
変調の図	
変調が加えられる部位	① 上屋二列 ② 両側下屋造 ③ 京呂組梁受け ④ 折置組 ⑤ 折置組 ⑥ (梁+桁)受け
該当する民家	宮城県仙台市、早坂金太郎邸

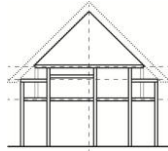
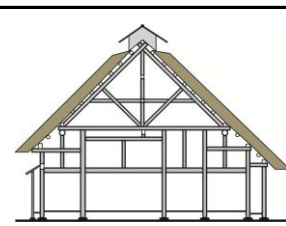
軸組の種類  f331	
1	
2	
変調の図	
変調が加えられる部位	① 上屋一列 ② 両側下屋造 ③ 折置組梁受け ④ 折置組 ⑤ 折置組 ⑥ 梁受け
該当する民家	宮城県栗原市、菅原才二郎邸


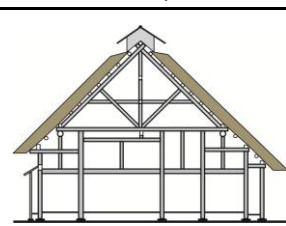
4.2変調に関する考察

4.2.2架構の変調

変調が加えられる部位
①上屋造の形式
②下屋造の形式
③上屋の架構
④下屋の架構
⑤又下屋の架構
⑥小屋組の支持形式

軸組の種類													
													
f332													
1													
変調の図													
変調が加えられる部位	<table> <tr><td>①</td><td>上屋二列</td></tr> <tr><td>②</td><td>両側下屋造</td></tr> <tr><td>③</td><td>京呂組梁受け</td></tr> <tr><td>④</td><td>折置組</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>京呂組</td></tr> <tr><td>⑥</td><td>(梁+桁)受け</td></tr> </table>	①	上屋二列	②	両側下屋造	③	京呂組梁受け	④	折置組	⑤	京呂組	⑥	(梁+桁)受け
①	上屋二列												
②	両側下屋造												
③	京呂組梁受け												
④	折置組												
⑤	京呂組												
⑥	(梁+桁)受け												
該当する民家	宮城県石巻市、武山豊助邸												

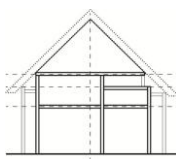


軸組の種類													
													
f333													
1													
変調の図													
変調が加えられる部位	<table> <tr><td>①</td><td>上屋一列</td></tr> <tr><td>②</td><td>両側下屋造</td></tr> <tr><td>③</td><td>京呂組梁受け</td></tr> <tr><td>④</td><td>折置組</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>折置組</td></tr> <tr><td>⑥</td><td>(梁+桁)受け</td></tr> </table>	①	上屋一列	②	両側下屋造	③	京呂組梁受け	④	折置組	⑤	折置組	⑥	(梁+桁)受け
①	上屋一列												
②	両側下屋造												
③	京呂組梁受け												
④	折置組												
⑤	折置組												
⑥	(梁+桁)受け												
該当する民家	宮城県角田市、村上平一郎邸												

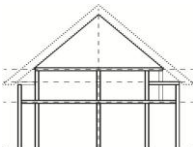
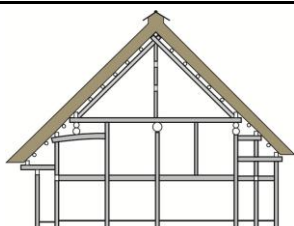

軸組の種類													
													
f341													
1													
変調の図													
変調が加えられる部位	<table> <tr><td>①</td><td>上屋一列</td></tr> <tr><td>②</td><td>両側下屋造</td></tr> <tr><td>③</td><td>京呂組梁受け</td></tr> <tr><td>④</td><td>折置組</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>折置組</td></tr> <tr><td>⑥</td><td>梁受け</td></tr> </table>	①	上屋一列	②	両側下屋造	③	京呂組梁受け	④	折置組	⑤	折置組	⑥	梁受け
①	上屋一列												
②	両側下屋造												
③	京呂組梁受け												
④	折置組												
⑤	折置組												
⑥	梁受け												
該当する民家	宮城県栗原市、千田賢三郎邸												

4.2変調に関する考察

4.2.2架構の変調

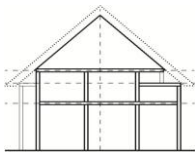


変調が加えられる部位	
①	上屋造の形式
②	下屋造の形式
③	上屋の架構
④	下屋の架構
⑤	又下屋の架構
⑥	小屋組の支持形式

軸組の種類		
		
f411		
		1
変調の図		
変調が 加えら れる部 位	①	上屋二列
	②	片側下屋造
	③	京呂組梁受け
	④	京呂組
	⑤	—
	⑥	(梁+桁)受け
該当する民家		三重県津市、谷見良邸

軸組の種類		
		
f421		
		1
		2
変調の図		
		
変調が 加えら れる部 位	①	上屋一列
	②	片側下屋造
	③	京呂組梁受け
	④	折置組
	⑤	京呂組
	⑥	(梁+桁)受け
該当する民家		宮城県仙台市、結城藤吉邸
		宮城県白石市、菊池栄喜邸

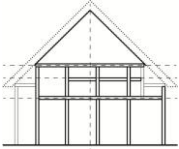

4.2変調に関する考察
 4.2.2架構の変調



変調が加えられる部位		
①上屋造の形式		
②下屋造の形式		
③上屋の架構		
④下屋の架構		
⑤又下屋の架構		
⑥小屋組の支持形式		

軸組の種類			
			
f422			
	1	2	
変調の図			
変調が加えられる部位	①	上屋一列	上屋一列
	②	片側下屋造	片側下屋造
	③	折置組梁受け	京呂組梁受け
	④	折置組	折置組
	⑤	折置組	折置組・京呂組混在
	⑥	梁受け	(梁＋桁)受け
該当する民家		宮城県栗原市、相馬次男邸	宮城県石巻市、佐々木長五郎邸

4.2変調に関する考察
 4.2.2架構の変調

変調が加えられる部位 ①上屋造の形式 ②下屋造の形式 ③上屋の架構 ④下屋の架構 ⑤又下屋の架構 ⑥小屋組の支持形式
--

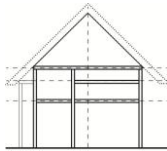

軸組の種類  f431		
1		
変調の図		
変調が 加えら れる部	①	上屋一列
	②	片側下屋造
	③	折置組・京呂組混在梁受け
	④	折置組
	⑤	折置組
	⑥	梁受け・(梁+桁)受け混在
該当する民家		宮城県角田市、村上平一郎邸

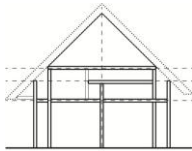

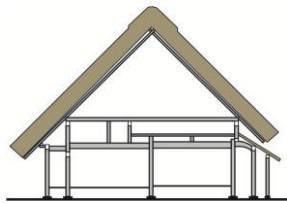
軸組の種類  f432		
1		
変調の図		
変調が 加えら れる部	①	上屋一列
	②	片側下屋造
	③	京呂組梁受け
	④	折置組
	⑤	—
	⑥	(梁+桁)受け
該当する民家		宮城県石巻市、首藤信乃邸

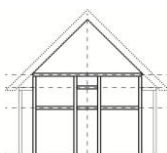
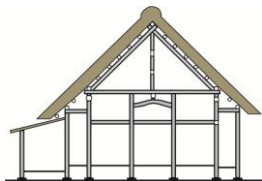
4.2変調に関する考察


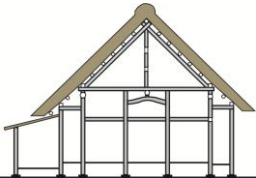
4.2.2架構の変調

変調が加えられる部位	
①	上屋造の形式
②	下屋造の形式
③	上屋の架構
④	下屋の架構
⑤	又下屋の架構
⑥	小屋組の支持形式

軸組の種類		
		
f511		
		1
変調の図		
変調が 加えら れる部	①	上屋一列
	②	下屋造なし
	③	京呂組梁受け
	④	折置組
	⑤	折置組
	⑥	(梁+桁)受け
該当する民家		宮城県白石市、跡部勝左右邸

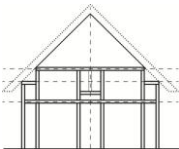
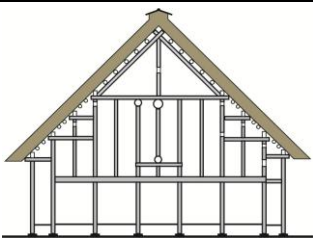
軸組の種類		
		
f512		
		1
変調の図		
変調が 加えら れる部	①	上屋二列
	②	下屋造なし
	③	京呂組桁受け
	④	京呂組
	⑤	—
	⑥	桁受け
該当する民家		三重県津市、渡辺ゑい邸

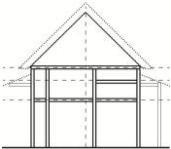
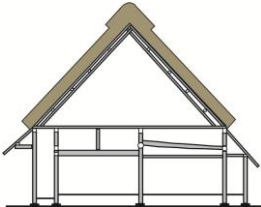
軸組の種類		
		
f521		
		1
変調の図		
変調が 加えら れる部	①	上屋一列
	②	下屋造なし
	③	京呂組梁受け
	④	折置組
	⑤	—
	⑥	(梁+桁)受け
該当する民家		宮城県白石市、小関敏邸

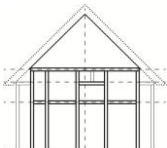

軸組の種類		
		
f522		
		1
変調の図		
変調が 加えら れる部	①	上屋一列
	②	片側下屋造
	③	京呂組梁受け
	④	折置組
	⑤	折置組
	⑥	(梁+桁)受け
該当する民家		宮城県白石市、木須四一邸

4.2変調に関する考察
4.2.2架構の変調

変調が加えられる部位
①上屋造の形式
②下屋造の形式
③上屋の架構
④下屋の架構
⑤又下屋の架構
⑥小屋組の支持形式

軸組の類型		
		
f523		
		1
変調の図		
変調が 加えら れる部	①	上屋一列
	②	下屋造なし
	③	京呂組梁受け
	④	京呂組
	⑤	折置組・京呂組混在
	⑥	(梁＋桁)受け
該当する民家		宮城県栗原市、高橋清邸

軸組の類型		
		
f524		
		1
変調の図		
変調が 加えら れる部	①	上屋二列
	②	下屋造なし
	③	京呂組梁受け
	④	京呂組
	⑤	—
	⑥	(梁＋桁)受け
該当する民家		三重県津市、田中五夫邸

軸組の類型		
		
f531		
		1
変調の図		
変調が 加えら れる部 位	①	上屋一列
	②	下屋造なし
	③	折置組・京呂組混在梁受け
	④	京呂組
	⑤	—
	⑥	梁受け・(梁＋桁)受け混在
該当する民家		宮城県白石市、島貫芳蔵邸

○架構の変調のまとめ

表 4.4 は変調が加えられる部位を縦に示し、両県の変調のボキャブラリーをまとめた。さらに図 4.11 は両県の変調の傾向を取り上げ、それによく当てはまる民家の図を付加した。

両県で変調の傾向が異なるのは、

- ①の部位：上屋造の形式は宮城県が「上屋一列」、三重県が「上屋二列」となる。
- ②の部位：下屋造の形式は宮城県が「両側下屋造」、「片側下屋造」、「下屋なし」、三重県が「片側下屋造」、「下屋なし」となる。
- ③の部位：上屋の架構は宮城県が「京呂組梁受け」、三重県が「京呂組梁受け」もしくは「京呂組桁受け」となる。
- ⑥の部位：小屋組の支持形式は宮城県が「(梁+桁) 受け」、三重県が「桁受け」となる。

表 4.4 架構の変調のボキャブラリー

宮城県	変調が加えられる部位	三重県
上屋一列(35/46)	①上屋造の形式	上屋一列(5/41)
上屋二列(11/46)		上屋二列(36/41)
両側下屋造(15/46)	②下屋造の形式	両側下屋造(2/41)
片側下屋造(14/46)		片側下屋造(20/41)
下屋造なし(17/46)		下屋造なし(19/41)
折置組梁受け(4/46)	③上屋の架構(さす組のみ、 梁受け、桁受けも調べた)	折置組梁受け(1/41)
折置組桁受け		折置組桁受け(4/41)
京呂組梁受け(36/46)		京呂組梁受け(12/41)
京呂組桁受け		京呂組桁受け(11/41)
折置組・京呂組混在梁受け(5/46)		折置組・京呂組混在梁受け(2/41)
折置組・京呂組混在桁受け		折置組・京呂組混在桁受け(1/41)
折置組のみ		折置組のみ(6/41)
京呂組のみ(1/46)		京呂組のみ(3/41)
下屋なし(1/46)	④下屋の架構	下屋なし(1/41)
折置組(33/46)		折置組(26/41)
京呂組(6/46)		京呂組(9/41)
折置組・京呂組混在(6/46)		折置組・京呂組混在(5/41)
下屋なし(23/46)	⑤又下屋の架構	下屋なし(37/41)
折置組(12/46)		折置組(4/41)
京呂組(5/46)		京呂組
折置組・京呂組混在(6/46)		折置組・京呂組混在
梁受け(6/46)	⑥小屋組の支持形式	梁受け(1/46)
(梁+桁)受け(37/46)		(梁+桁)受け(13/41)
桁受け		桁受け(25/41)
梁受け・(梁+桁)受け混在 (3/46)		梁受け・(梁+桁)受け混在 (2/41)

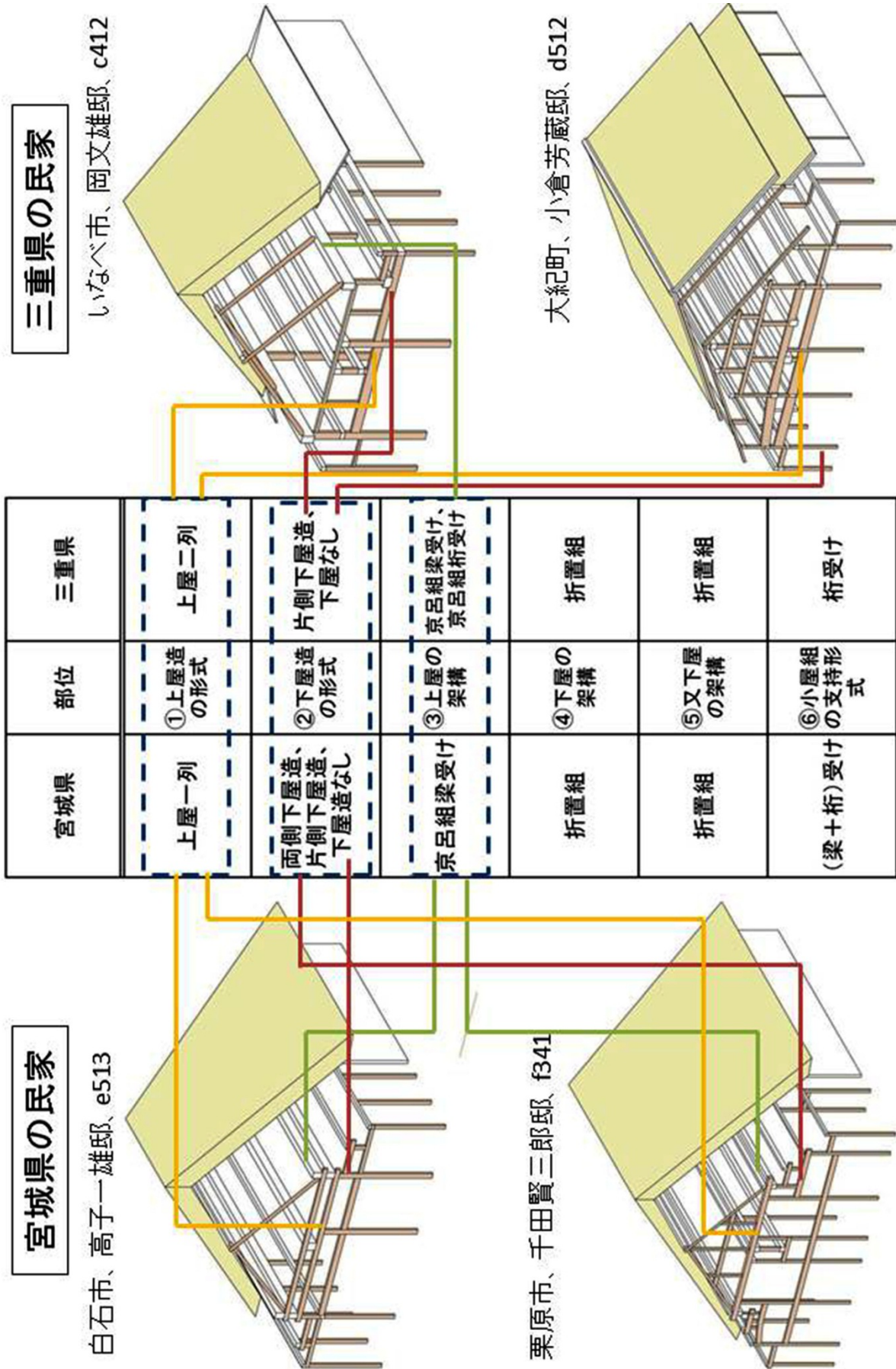


図 4.11 架構の変調の傾向

第 5 章 結論

5.1 研究の成果

本研究は以下を達成した。

- 1) 吉田の平面の類型と本研究の平面の類型はおおむね一致した。吉田の平面の類型はおおむね妥当といえるが、その一部は観察されず、また一部追加するべきものがあった。
- 2) 平面の類型に架構の類型を掛け合わせたチャートにより、民家の特徴の地域的な差異を県レベルで記述した。
- 3) 同じチャートで市町レベルの地域的差異を観察した。
- 4) 両県の民家に見られる変調の傾向を部位別に把握した。

5.2 今後の展開

本研究は民家建築の平面と架構の対応関係を明らかにする一手法を示した。しかし両県の民家の調査記録は本研究が取り上げた 10 市町以外にも多く実在する。本研究によって両県の民家の平面と架構の対応関係が、全て明らかになったとは考えていない。そのため対象民家を増やすことで、両者の対応関係をより明らかにできるだろう。また本研究は時間的な考察を捨象しているが、平面と架構の対応関係を時間軸で見る研究も行えるかもしれない。

注

*1: 吉田靖著: 日本における近世民家(農家)の系統的発展, 奈良国立文化財研究所, 1985年, 図版 pp.51-58

*2: *1と同著。例言には『日本の農家について、17世紀から19世紀にいたる年代的発展を概観するとともに、その体系化を試みたもの』とある。

*3: 日本語訳版、『住まいと文化』(山本正三, 佐々木史郎, 大嶽幸彦共訳, 株式会社, 大明堂, 1987年, p.6)より。以下の原文は、House Form and Culture, 1969, p.4より引用

The vernacular design process is one of models and adjustments or variations, and there is more individual variability and differentiation than in primitive buildings; it is the *individual specimens* that are modified, not the *type*.

*4: 伊藤ていじ: 日本の美術 全25巻 21巻 民家, 株式会社平凡社, 1965年

*5: 伊藤ていじ: 民家は生きてきた, 鹿島出版会, 1963年(2013年に再版したものを参照)

*6: 小倉強: 東北の民家, 相模書房, 1955年

*7: 昭和40年代の文化庁が企画、各都道府県教育委員会が実施した民家調査。宮城県版は、宮城県教育委員会: 宮城の古民家 一宮城県民家緊急調査報告書一, 宮城県教育委員会, 1974年にまとめられている。

*8: 三重県: 三重県史 別編 建築, 三重県, 2003年3月、図1.7はp.268より引用

*9: 日本建築学会民家語彙収録部会(主査・草野和夫): 日本民家語彙集解, 日外アソシエーツ株式会社, 1985年

*10: *1の文献内、図版 pp.101-102, pp.168-169を参照した

*11: 堀江亨, 宮本岳拓: 広間型民家における架構要素と空間要素の類型化 一伝統木造建築における架構と空間構成の比較研究 その1一, 日本建築学会大会学術講演梗概集 pp.863-864, 2015年9月

*12: 川島宙次: 滅びゆく民家一間取り・構造・内部, 株式会社主婦と生活社, 1973年, pp.123

*13: *12の文献内、pp.125-126より引用

*14: 安藤邦廣: 金子智, 齊木崇人, 原田多加司, 安村敏信, 雨と生きる住まい 環境を調節する日本の知恵, LIXIL出版, 2014年, p.24の縁側の図を参照

*15: 堀江亨: 日本民家の梁組における部材名称の多様性とその標準化 伝統木造用語に関する比較研究 その1, 日本建築学会計画系論文集 第79号 第703号, 1903-1912, 2014年9月, 『図3 部材位置の定義(架構形式別)』を引用した

*16: 堀江亨: 日本の伝統的民家の軸組架構における横架材配置の類型化 木造軸組構法の空間構成に関する方法論的研究 その2, 日本建築学会計画系論文集 第511号, 123-130, 1998年9月, 『図-2 折置, 京呂による架構類型』を引用した

*17: 堀江亨: 日本の伝統的民家の架構配置に関する分析術後の定義 木造軸組構法の空間構成に関する方法的研究 その1, 日本建築学会計画系論文集 第501号, 117-124, 1997年11月, 『図-3 軸組と小屋組の境界の部材構成の分類』の横軸を引用した

当該民家の図版の出典

- ・成瀬恭：日本の民家調査報告書集成 第2巻 北海道・東北地方の民家（2） 岩手・宮城，岩手県教育委員会 宮城県教育委員会，株式会社 東洋書林，1998年12月
- ・大安町教育委員会：大安町史 （第二巻），大安町，1993年3月，pp.475-547
- ・上野市：上野市史 文化財編，上野市，2004年8月，pp.534-615
- ・美杉村史編集委員会：美杉村史 下巻，美杉村役場，1981年3月，pp.689-722
- ・安濃町史編纂委員会：安濃町史 通史編，安濃町，1999年10月，pp.787-819
- ・紀勢町史編集委員会：紀勢町史 記録編，紀勢町，2001年10月，pp.777-835
- ・三重県，三重県史 別編 建築：三重県，2003年3月，pp.263-421

上記以外の参考文献

- ・吉田靖著：日本における近世民家（農家）の系統的発展，奈良国立文化財研究所，1985年
- ・山本正三，佐々木史郎，大嶽幸彦共訳：住まいと文化，株式会社，大明堂，1987年
- ・伊藤ていじ：日本の美術 全25巻 21巻 民家，株式会社平凡社，1965年
- ・伊藤ていじ：民家は生きてきた，鹿島出版会，1963年（2013年再版）
- ・小倉強：東北の民家，相模書房，1955年
- ・宮城県史編集委員会：宮城県史 19（民俗），財団法人 宮城県史刊行会，1956年10月
- ・松崎徳勝：復刻版 仙台市史 6 別編 4，仙台市史編纂委員会，1975年8月
- ・角田市史編さん委員会：角田市史 2 通史編（下），角田市，1986年3月
- ・熊野市史編纂委員会：熊野市史 下巻，熊野市，1983年
- ・日本建築学会民家語彙収録部会（主査・草野和夫）：日本民家語彙集解，日外アソシエーツ株式会社，1985年
- ・林野全孝：近畿の民家 ―畿内を中心とする四間取り民家の研究―，1980年
- ・株式会社 東洋書林のホームページ：
<http://www.toyoshorin.co.jp/detail.php?isbn=4887212658>
- ・堀江亨，宮本岳拓：広間型民家における架構要素と空間要素の類型化 ―伝統木造建築における架構と空間構成の比較研究 その1―，日本建築学会大会学術講演梗概集 pp.863-864，2015年9月
- ・川島宙次：減びゆく民家―間取り・構造・内部，株式会社主婦と生活社，1973年
- ・安藤邦廣：金子智，齊木崇人，原田多加司，安村敏信，雨と生きる住まい 環境を調節する日本の知恵，LIXIL 出版，2014年
- ・堀江亨：日本民家の梁組における部材名称の多様性とその標準化 伝統木造用語に関する比較研究 その1，日本建築学会計画系論文集 第79号 第703号，1903-1912，2014年9月
- ・堀江亨：日本の伝統的民家の軸組架構における横架材配置の類型化 木造軸組構法の空間構成に関する方法論的研究 その2，日本建築学会計画系論文集 第511号，123-130，1998年9月
- ・堀江亨：日本の伝統的民家の架構配置に関する分析術後の定義 木造軸組構法の空間構成に関する方法的研究 その1，日本建築学会計画系論文集 第501号，117-124，1997年11月

宮城県と三重県の民家建築に見られる平面及び架構様態の類型に関する研究

工学研究科博士前期課程建築学専攻

富岡・田端研究室 阿部勇貴

第1章 序論

1.1 研究の目的

本研究の目的は、

- 1) 吉田靖の 1985 年の研究で示された民家の『平面の類型図』*1 を出発点として、その研究の妥当性を再確認すること。さらに架構の類型化を試みること。
- 2) 平面の類型と架構の類型を対照させて民家の特性の地域的差異を観察すること。
- 3) 類型の特徴から出発して、各民家の個別的特徴に至る変調を整理すること。

1.2 吉田の平面の類型図

平面の類型図は、吉田靖の日本における近世民家（農家）の系統的発展に示されている。平面の類型図の論理は、1.部屋の分類と記号化：部屋を土間(点描)、勝手(K)、広間(H)、広間兼勝手(HK)、寝間(N、斜線)、座敷(Z)の6つに分類し、記号化する。2.平面の図式化：作品を簡単な図式に置換する。3.平面の類型への当てはめ：パターン化された類型に図式を当てはめる。4.コード番号の付与：図式にコード番号を与える。

また中核となる平面の類型とそれに似た平面の類型を集めて整理したまとまりを「群」と呼ぶ。

1.3 研究の方法

1.3.1 用語の定義

変調：共通の型から出発し、個々の作品に加えられる個別の造形的操作をいう。

1.3.2 研究の対象

対象とする民家は、宮城県 5 つの市の計 53 棟、三重県 5 つの市町の計 53 棟とする。その分布を図 1 に示す。各市町の位置は、おおむね両県の中で広域となるように選んだ。また建築年がおおむね近世と推測され、建築種が農家となる民家を選んだ。

1.3.3 研究の手順

本研究は、次の手順で分析を行う。

(1)平面及び架構の類型化（第2章と第3章）

①平面の類型（第2章）

この分析は吉田の研究に準じ、平面の類型化を行う。当該民家の復元平面図及び現状平面図を使用する。本研究の平面の類型と吉田の平面の類型とを対照させる。

②架構の類型（第3章）

この分析は軸組と小屋組の類型化を試みる。当該民家の梁行方向の断面図を使用する。類型化の論理は、1.類型の設定：既往文献を引用・参照し、それぞれの架構の類型を設定する、2.架構の図式化：民家の梁行方向の断面を図式にする、3.図式の

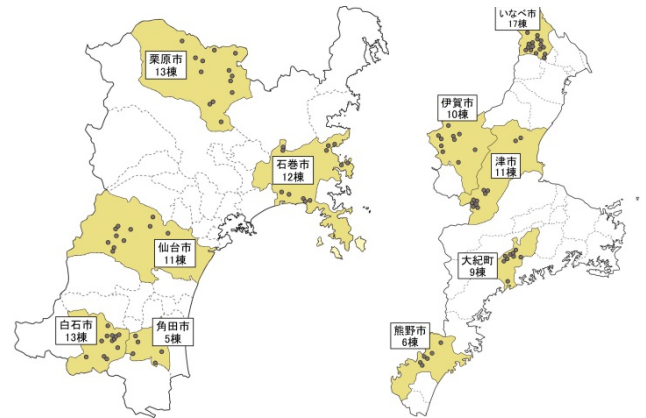


図1 本研究の対象民家の分布

パターン化、4.コード番号の付与である。

(2)考察（第4章）

①平面及び架構の類型の対応に関する考察

この分析は平面及び軸組の類型の対応関係を調べる。県レベル、市町レベルの観察を行う。

②変調に関する考察

この分析は代表的な変調が加えられる部位を設定し、各民家の個別の造形的操作を観察する。

第2章 平面の類型

2.1 平面の類型化

2.1.1 部屋の分類と記号化

吉田の部屋の分類に該当しなかった当該民家の部屋名を表 1 に示す。これらを次の例に従って分類を試みた。

例) おかみ:『座敷のうちで最も広く、かつ炉を設けてある室を、普通オカミ・チャノマと呼ぶ』、『日常生活の団らんの場になる』、『田字型間取では、台所に隣合った奥の座敷をいう』*2 とある。これらの記述から「広間」と「勝手」の双方の部屋に該当するため、「広間兼勝手(HK)」とする。

表1 吉田の部屋の分類に該当しない部屋名

民家の所在	分類できなかった部屋名							
	おかみ	きば	なかま	なかま	なかま	なかま	なかま	なかま
宮城県	栗原市	なかま	うらざ	ほとけま				
	石巻市	なかま	うらかた	とこま	おかみ	ろくじょうき		
	仙台市	うらざしき	かげのま	うらざ	なかま	じょうだん	ろんのま	
	角田市	りょうりのま	ろんのま	うらざ	なかま	たなま	なかま	じょうだん
	白石市	きたざ	みなみざ	あがりはな	ぶつま			
三重県	いなべ市	おもて	でぬくち					
	伊賀市	くち	ぶつま	おちま				
	津市	いま	よじょう	さんじょう	げんかん	しよさい	あがりはな	あがりまち
	度会郡大紀町	こたつば	よじょうはん					

2.1.2 平面の類型への当てはめ

平面の類型化の方法を、例を挙げて表 2 に示す。類型化の手順は平面の類型図の論理に準ずる。平面の類型への当てはめは、部屋の種類と数及び部屋の配置が、①両者が一致の場合を「一致」、②前者が一致、後者が近似の場合を「近似 1」、③両者が近似の場合を「近似 2」とした。表 2 の菊池清三郎は 411 型の平面の類型と一致。小倉俊二郎は 752 型の平面の類型と近似。

表2 平面の類型化の手順

作品名	菊池清三郎	小倉俊二郎	高橋恒夫邸
所在地	宮城県白石市	三重県大紀町	宮城県栗原市
建築年代	18世紀初期	江戸末～明治初	明治初年
平面図			
部屋の分類と記号化			
平面の類型図への当てはめ	一致 411型	—	—
近似1	—	752型	—
近似2	—	—	574型
型	411型	752型	574型
群	411群	452群	459A群

高橋恒夫邸は574型の平面の類型と近似となる。

2.2 本研究の類型と吉田の類型との対照

本研究の平面の類型を表3に示す。両県それぞれ異なる18種の類型に当てはめることができた。表4は吉田の平面の類型から、宮城県と三重県を取り出して筆者が整理したものである。表3と表4を対照させると、灰色で示した平面の類型が共通していた。よって吉田の平面の類型は、おおむね妥当だといえるが、一部は本研究で観察されなかった平面の類型があった。また吉田の研究で追加すべき平面の類型も観察された。

第3章 架構の類型

3.1 軸組及び小屋組の類型化

(1) 軸組の類型化

軸組は堀江らの研究*4を参考にして、梁組及び柱立ちの類型を図2,3のように設定した。梁組の類型のコード番号は、a：上屋梁のみ、b：梁行梁のみ、c：上屋梁＋差鴨居、d：梁行梁＋差鴨居、e：上屋梁＋梁行梁＋差鴨居、f：上屋梁＋差鴨居＋つなぎ梁とする。柱立ちの類型のコード番号は、0：柱なし、1：片端柱受け、2：両端柱受け、3：中通り柱受け、4：片端＋中通り柱受け、5：両端＋中通り柱受けとする。

(2) 小屋組の類型化

小屋組は川島の『小屋組の形式』*5を引用し、図4を小屋組の類型と設定した。小屋組の類型は、s：さす組、o：おだち組、w：和小屋組、n：登り梁組、wn：和小屋組＋登り梁組である。

3.2 軸組の類型のバリエーション

軸組の類型化の結果を表5に示す。縦軸は梁組の類型、横軸は柱立ての類型である。コード番号の十の位は中通り柱の本数、

表3 本研究の平面の類型

宮城県(53棟)	群	三重県(53棟)
252型(2棟) 411型(11棟) 453型(1棟)	411群	411型(5棟) 420型(1棟) 511型(1棟)
471型(1棟) 511型(2棟) 711型(5棟)		771型(1棟)
454型(12棟) 472型(1棟) 555型(1棟)	754群	454型(3棟) 555型(1棟) 563型(1棟)
575型(1棟) 754型(3棟)		754型(12棟) 755型(1棟) 758型(1棟)
なし	713群	773型(1棟) 778型(1棟)
なし	431群	731型(16棟)
431型(3棟)	512群	731型(1棟)
512型(3棟) 572型(1棟)	452群	572型(1棟)
476型(2棟)	232群	452型(1棟) 557型(1棟) 752型(2棟)
なし	459群	232型(1棟)
459型(1棟) 474型(2棟) 574型(1棟)		756型(1棟)

表4 吉田の平面の類型*3

宮城県(53棟)	群	三重県(24棟)
252型(1棟) 411型(21棟) 453型(1棟)	411群	411型(3棟)
458型(1棟) 471型(3棟) 511型(1棟)		
571型(1棟)		
454型(10棟) 472型(3棟) 555型(1棟)	754群	754型(16棟) 772型(1棟) 773型(1棟)
563型(1棟) 575型(1棟) 754型(1棟)		
なし	713群	713群(2棟)
431型(1棟) 456型(1棟)	431群	なし
512型(2棟) 561型(1棟)	512群	なし
573型(1棟)	452群	なし
なし	232群	なし
474型(1棟)	459群	774型(1棟)

一の位は中通り柱の位置、梁材の両端の位置で、順に番号を付与した。三重県の軸組の類型を灰色で示す。さらにc423, c511, c514は両県で共通する軸組の類型であった。

宮城県の家は縦軸のe, f、横軸の3, 4, 5の位置に類型が集まった。三重県の家は縦軸のb, c, d、横軸の4, 5の位置に類型が集まった。

3.3 小屋組のタイプのバリエーション

小屋組の類型化の結果を表6に示す。さす組はコード番号の十の位を小屋束の本数とし、順に番号を付与した。和小屋組はコード番号の十の位を小屋梁の本数とし、順に番号を付与した。登り梁組はコード番号の十の位を中通り柱の本数とし、順に番号を付与した。さらにs01は両県で共通する小屋組の類型であった。

宮城県の家はさす組は、さす束及び小屋貫による補強が見られた。川島によれば、『寒地で積雪量の多い地方や、屋根が大きくて又首が長大な場合には、又首の撓みを防ぐために中間に束を立てて鳥居組として補強する』*6とある。宮城県は雪が関係するのではないと思われる。宮城県の家は、「さす組」の類型にバリエーションが見られた。対して三重県の家は、「和小屋組」、「登り梁組」、「和小屋組+登り梁組」の類型にバリエーションが見られた。

第4章 平面及び架構の類型に関する考察

4.1 平面及び架構のタイプの対応に関する考察

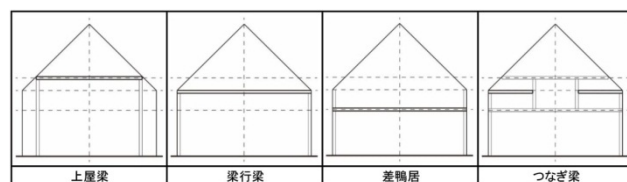


図2 梁組の類型

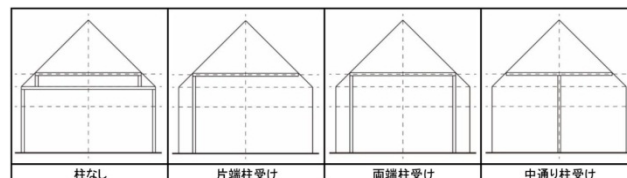


図3 柱立ちの類型

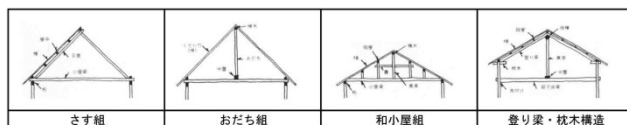


図4 小屋組の類型

本節では第2章及び第3章で得られた類型を用いて、平面及び軸組のタイプの対応関係を分析する。

表7は縦軸を平面の類型、横軸を軸組の類型とし、当該民家の類型を該当する位置にプロットしたものである。宮城県の家を「●」、三重県の家を「△」で示した。

例外はあるが、宮城県の家は表7の右側上部及び下部にそれぞれ類型がプロットされる。三重県の家は表の左側上部から中央部にかけて類型がプロットされる。

表5 本研究の軸組の類型
















































































	柱なし 0	片端柱受け 1	両端柱受け 2	柱なし+中通り柱受け 3			片端柱受け+中通り柱受け 4				両端柱受け+中通り柱受け 5									
上屋梁のみ a	—	—	—	—			—				 a531	 b521			 b522	 b531	 c511	 c512	 c513	 c514
梁行梁のみ b	—	—	—	—			—													
上屋梁+差鴨居 c	—	—	—	 c311	 c411	 c412	 c413	 c414	 c511	 c512	 c513	 c514								
													 c421	 c422	 c423	 c521	 c522	 c523	 c524	
梁行梁+差鴨居 d	—	—	—	—			 d411	 d412	 d511		 d512	 d513	 d514							
上屋梁+梁行梁+差鴨居 e	—	 e101	 e201	 e311	 e313	 e321	 e411	 e412	 e421	 e431	 e511	 e512	 e513	 e514						
															 e331	 e332	 e333	 e515	 e516	 e517
上屋梁+差鴨居+つなぎ梁 f	—	—	—	 f311	 f313	 f321	 f411	 f412	 f421	 f422	 f431	 f432	 f511	 f512	 f513	 f514				
				 f331	 f332	 f333	 f431	 f432	 f511	 f512	 f513	 f514								
				 f333	 f341	 f431	 f432	 f523	 f524	 f531	 f532									

表6 本研究の小屋組の類型

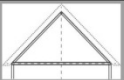
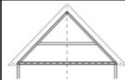

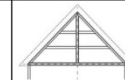
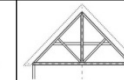

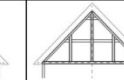









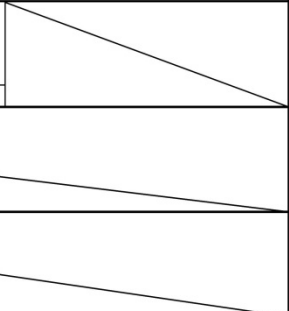
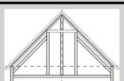
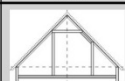





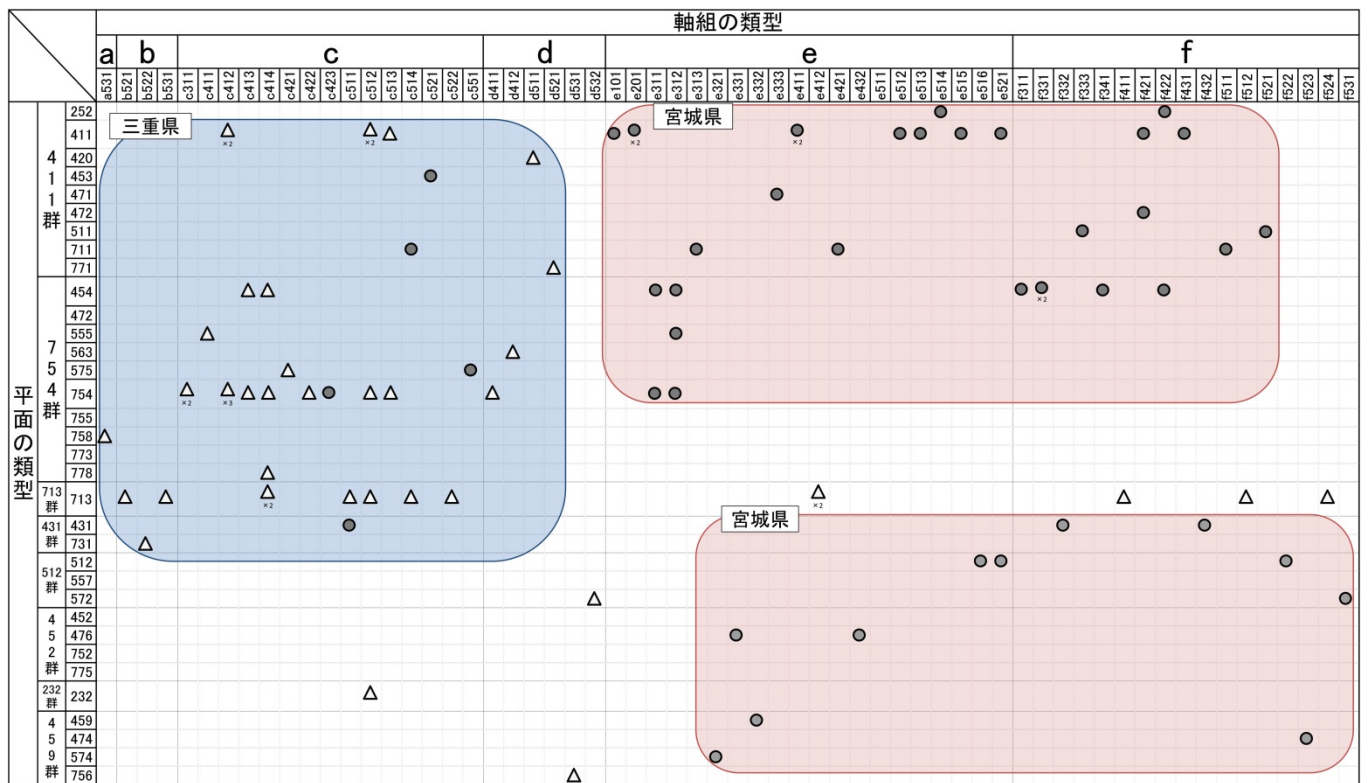
さす組 (s)											
おだち組 (o)	なし										
和小屋組 (w)											
登り梁組 (n)											
和小屋組 + 登り梁組 (wn)											

表7 本研究の平面及び軸組の類型の対照 (県レベル)



● : 宮城県の民家
△ : 三重県の民家

次に市町レベルの点の観察を表8に示す。各市町の点の集まる個所をおおよその枠で囲んだ。各市町で枠が複数ある場合と特異点がある場合に線を結んで示した。各市町で観察されたそれぞれの枠は、縦方向に大きくなるまたは複数並ぶと、平面の類型は不定、軸組の類型は一定だといえる。枠が横方向に大きくなるまたは複数並ぶと、平面の類型は一定、軸組の類型は不定といえる。

県レベル、市町レベルの観察から、吉田の平面の類型に架構の類型を掛け合わせることによって、民家の地域的な差異の記述する能力が高まったといえるだろう。

4.2 変調に関する考察

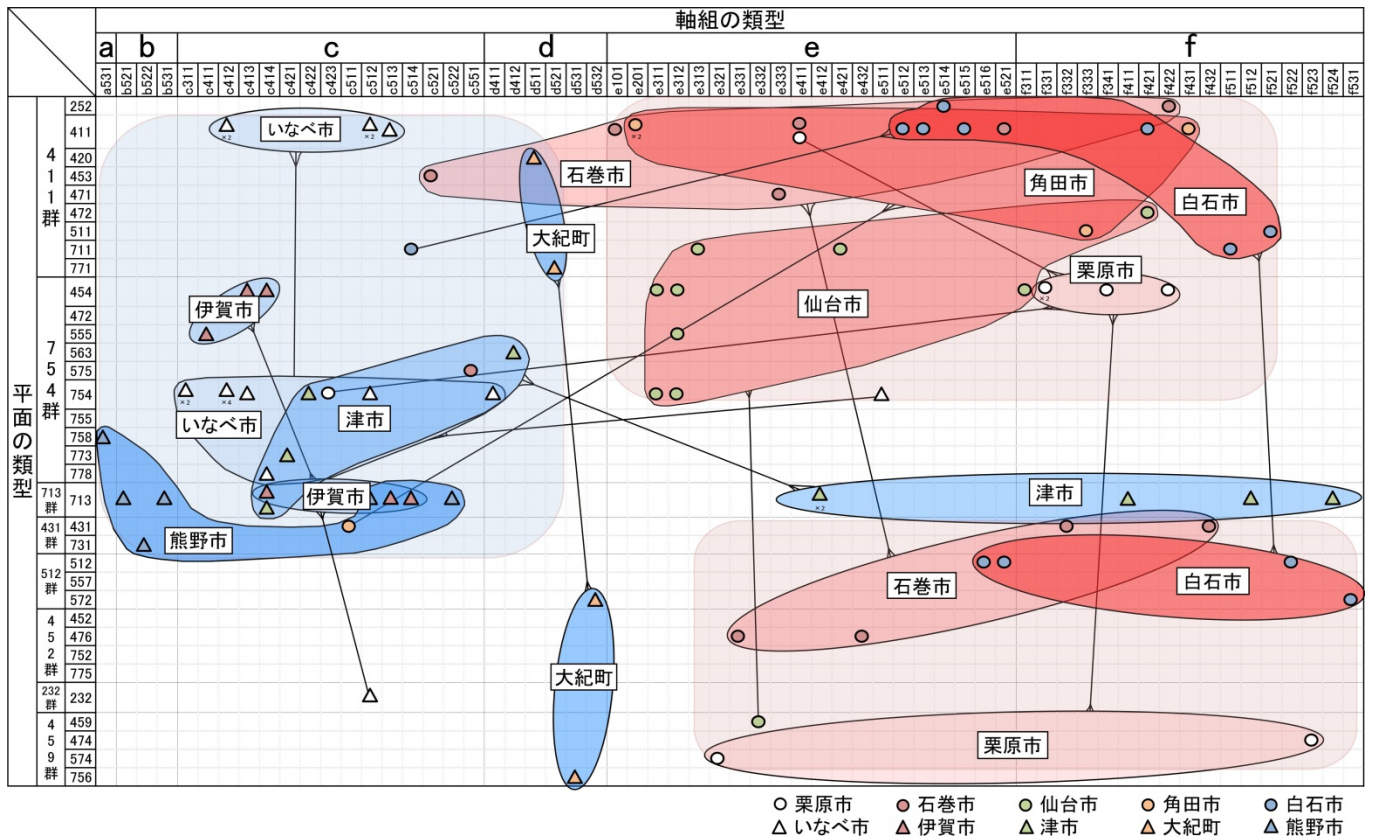
4.2.1 平面の変調

代表的な平面の変調が加えられる部位は、①土座と床座との間仕切り、②寝間と座敷の間仕切り、③縁側の位置、④縁側の種類、⑤母屋内のウマヤ（馬屋）もしくはシモベヤ（下部屋）の有無、⑥イロリの有無と設定した。

図5は変調が加えられる部位を縦に示し、両県の変調の傾向をボキャブラリーとしてまとめた。さらに変調の傾向によく当てはまる民家の図を付加した。

両県で変調の傾向が異なるのは、①の広間兼勝手と土間が接する場合、宮城県が「建具」による間仕切り、三重県が「間仕切りなし」となる。②の寝間と座敷が縦に並ぶ場合、宮城県が

表8 本研究の平面及び軸組の類型の対照（市町レベル）



「壁」による間仕切り、三重県が「建具」による間仕切りとなる。④の縁側の種類は宮城県が「外縁」、三重県が「内縁」となる。⑤のウマヤ・シモベヤは宮城県が「なし」、三重県が「あり」で土間オモテ側に位置する。

4.2.2 架構の変調

本分析は、架構を梁行材と桁行材に区別する。代表的な変調が加えられる部位は、①上屋造の形式、②下屋造の形式、③上屋の架構、④下屋の架構、⑤又下屋の架構、⑥小屋組の支持形式と設定した。

図6は変調が加えられる部位を縦に示し、両県の変調の傾向をボキャブラリーとしてまとめた。さらに変調の傾向によく当てはまる民家の図を付加した。

両県で変調の傾向が異なるのは、①上屋造の形式は宮城県が「上屋一列」、三重県が「上屋二列」となる。②の下屋造の形式は、宮城県が「両側下屋造」、「片側下屋造」、「下屋造なし」、三重県が「片側下屋造」、「下屋造なし」となる。③の上屋の架構は宮城県が「京呂組梁受け」、三重県が「京呂組梁受け」もしくは「京呂組桁受け」となる。⑥小屋組の支持形式は、宮城県が「(梁+桁)受け」、三重県が「桁受け」となる。

5. 結論

5.1 本研究の成果

1) 吉田の平面の類型と本研究の平面の類型はおおむね一致した。吉田の平面の類型はおおむね妥当といえるが、その一部は観察されず、また一部追加すべきものがあった。

- 2) 平面の類型に架構の類型を掛け合わせたチャートにより、民家の特徴の地域的な差異を県レベルで記述した。
- 3) 同じチャートで市町レベルの地域的な差異を観察した。
- 4) 両県の民家に見られる変調の傾向を部位別に把握した。

5.2 今後の展開

両県の民家の調査記録は本研究が取り上げた 10 市町以外にも多く実在する。本研究によって両県の民家の平面と架構の対応関係が、全てが明らかになったとは考えてない。そのため対象民家を増やすことで、両者の対応関係をより明らかにできるだろう。

注

*1：吉田靖著，日本における近世民家（農家）の系統的発展，奈良国立文化財研究所，1985年，図版 pp.51-58

*2:宮城県史編集委員会, 宮城県史 19 (民俗), 財団法人 宮城県史刊行会, 1956年10月, p.51 より引用

*3: *1 と同著、図版 pp.97-220、資料民家リストを参照した。そのうち宮城県（図版 pp.101-102）及び三重県（図版 pp.168-169）を取り上げた

*4: 堀江亨, 宮本岳拓, 広間型民家における架構要素と空間要素の類型化
一伝統木造建築における架構と空間構成の比較研究 その 1ー, 日本建築学
会大会学術講演梗概集 pp.863-864, 2015 年 9 月

*5：川島宙次，*滅びゆく民家一間取り・構造・内部*，株式会社主婦と生活社，1973年，pp.123

*6: *5 と同著、pp.125-126 より引用

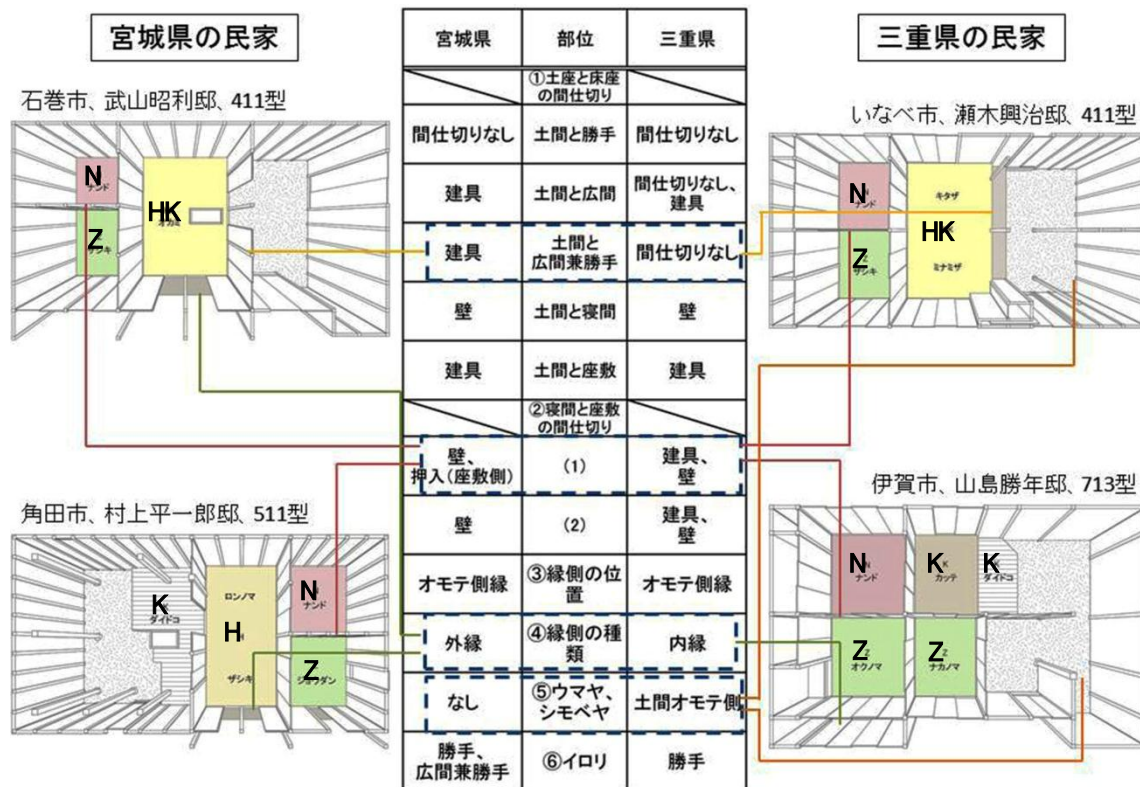


図5 平面の変調の傾向

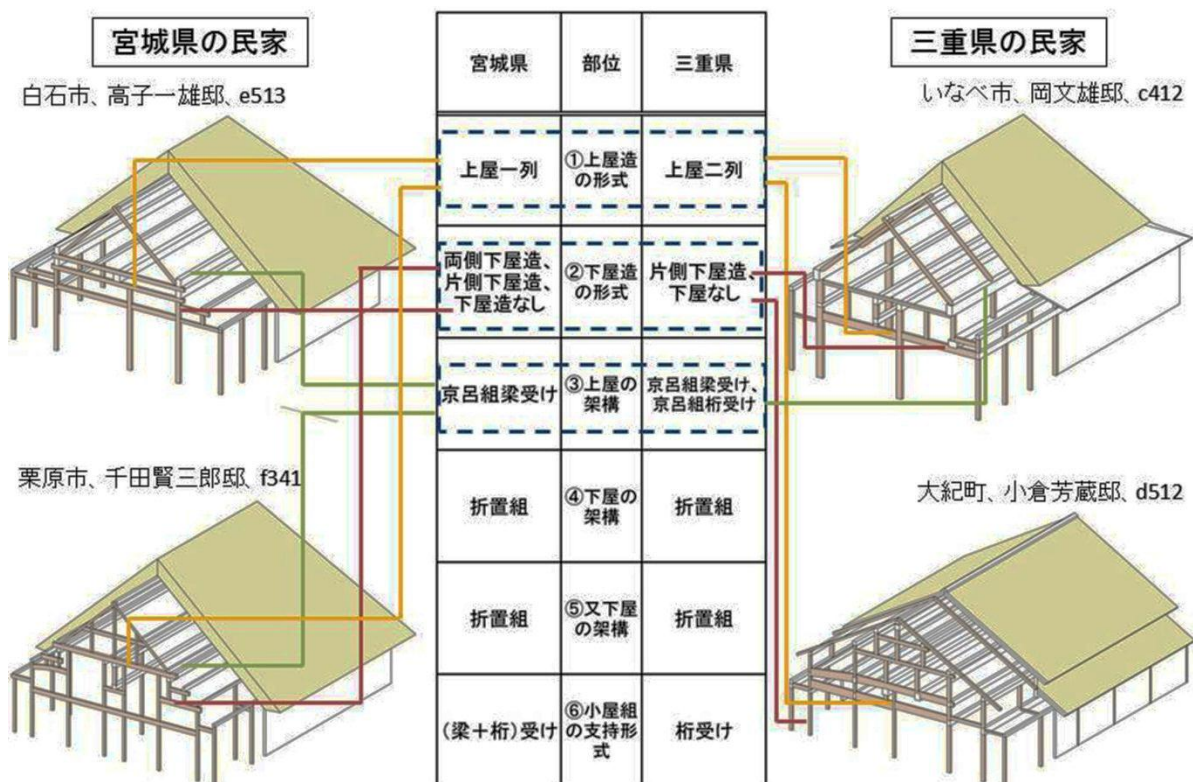


図6 架構の変調の傾向

参考文献

吉田靖 日本における近世民家（農家）の系統的発展，奈良国立文化財研究所，1985年

成瀬恭 日本の民家調査報告書集成 第2巻 北海道・東北地方の民家（2）岩手・宮城，岩手県教育委員会 宮城県教育委員会，株式会社 東洋書林，1998年12月

大安町教育委員会 大安町史（第二巻），大安町，1993年3月，pp.475-547

上野市 上野市史 文化財編，上野市，2004年8月，pp.534-615

美杉村史編集委員会 美杉村史 下巻，美杉村役場，1981年3月，pp.689-722

安濃町史編集委員会 安濃町史 通史編，安濃町，1999年10月，pp.787-819

紀勢町史編集委員会 紀勢町史 記録編，紀勢町，2001年10月，pp.777-835

三重県 三重県史 別編 建築，三重県，2003年3月，pp.263-421

A Research about the Typologies of Floor Plans and Frames Observed in Japanese Traditional Vernacular Houses in Miyagi and Mie Prefectures

Yuki, Abe

1. Introduction

This research analyzed the typologies of floor planes and frames in Japanese traditional vernacular houses.

The purpose of this research is,

- 1) To reaffirm the validity of the research, starting from Yoshida's 1985 research of the "types of plans" in *Minka*. Also attempt to categorize the frames in *Minka*.
- 2) To observe the regional differences in the characteristics of the *Minka* by contrasting the typologies of Floor plans and frames.
- 3) Starting from typological features, to organize the modulation which is the individual characteristics of each *Minka*.

Miyagi prefecture targeted 53 houses in total. Mie prefecture targeted 53 houses in total. *Minka* in both prefectures are distributed as shown in Fig.1.

This research consists of five chapters. Chapter 1 is introduces. Chapter 2 analyzed the typologies of floor planes: This chapter attempted to typologies of floor plans. In addition, it contrasted the typologies in this research and Yoshida's research. Chapter 3 analyzed the typologies of Frames: This chapter attempted to typologies of Frames. Also, this analysis typified the framework and the roof frame. Chapter 4 attempted two considerations: First, to investigate the correspondence between the typologies floor

plans and frames. Second, investigate the modulation (individual shaped operation). Chapter 5 is concludes.

2. Typologies of Floor Planes

Explain the logic of typology of floor plans. 1: Classification and symbolization of room names. 2: Draw the figures of floor plans. 3: Fit the figures to the typologies of floor plans. 4: Giving code number. This research could be fitted to 18 kinds of different typologies in both prefectures. It contrasted the typologies in this research and Yoshida's research. It almost agreed. However, some could not be confirmed in this research. In addition, some typologies should be added to Yoshida's research.

3. Typologies of Frames

Explain the logic of typology of Frames. 1: Set the Typologies. 2: Draw the figures of Section in the beam direction. 3: Pattern the figures. 4: Giving code number. This analysis was categorized into axes and cabinets and categorized. In this analysis, it showed the typologies of frames in both prefectures.

4. Two Considerations

First, Fig.2 showed the correspondence between the typologies floor plans and frameworks. The vertical axis is the typologies of floor planes, and the horizontal axis is the typologies of frameworks. In addition, "○" for *Minka* in Miyagi prefecture and "△" for *Minka* in Mie prefecture. When the limit is horizontally enlarged (plural), the typologies of the floor plans are indeterminate, and the typologies of the frames are constant. When the limit is vertically enlarged (plural), the typologies of the floor plans are constant, and the typologies of the frames are indeterminate.

Modulation analysis was then performed. The modulation of the floor plans showed in Fig.3. The modulation of the frames showed in Fig.4. There could confirm some trends of

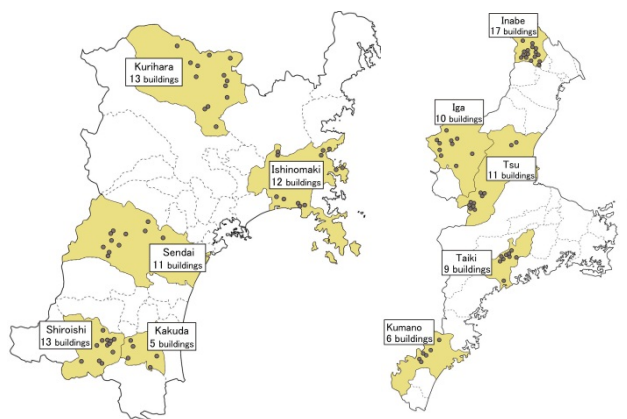


Fig.1 Distribution of targets *Minka* in this Research

different modulation in both prefectures.

5. Conclusion

- 1) The typologies of floor plans of this research and Yoshida's research were almost agreed. The Yoshida's typologies of floor plans are reasonable.
- 2) This research multiplied the typologies of frames by the typologies of the floor plans. It described regional differences which are characteristic of *Minka* at prefecture level.

- 3) This research also observed regional differences at the city level.
- 4) This research grasped the trend of modulation in *Minka* in both prefectures for each part.

References
Sei Yoshida: The Stylistic Development of Framing Houses (Minka, Noka) in Japan, Nara National Research Institute for Cultural Properties, 1985.

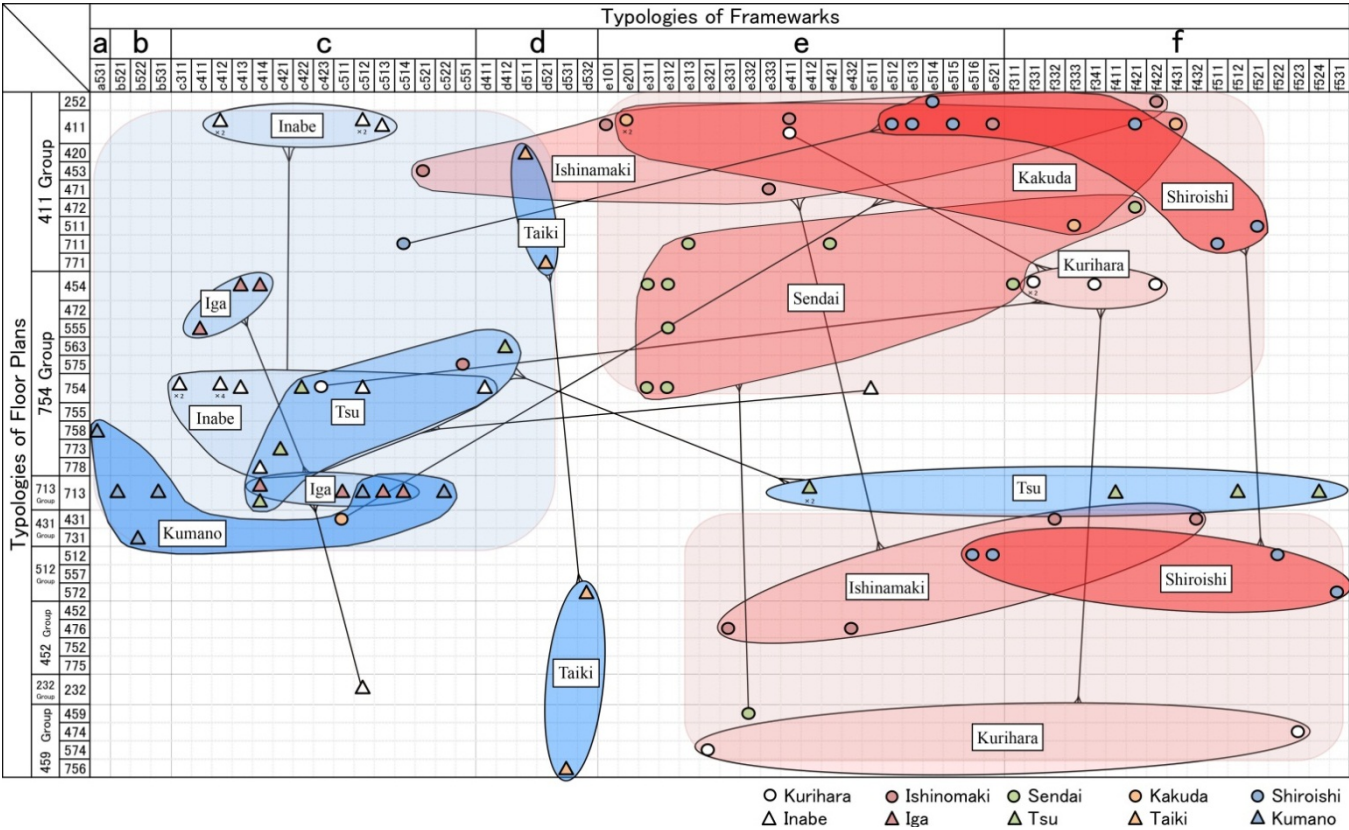


Fig.2 Control of typologies of floor plans and frames (city level)

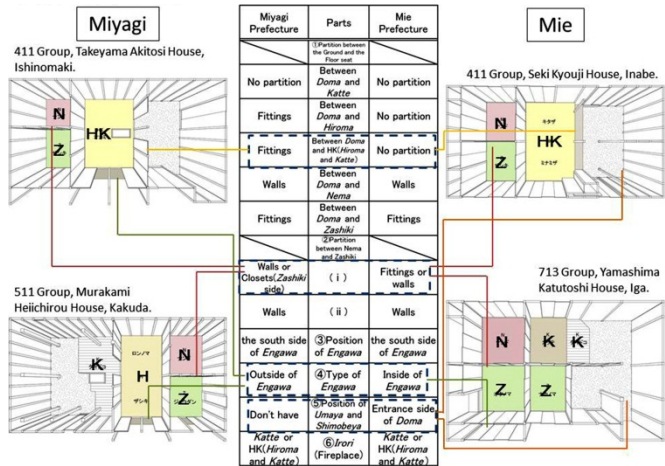


Fig.3 Modulation of floor plans of both prefectures

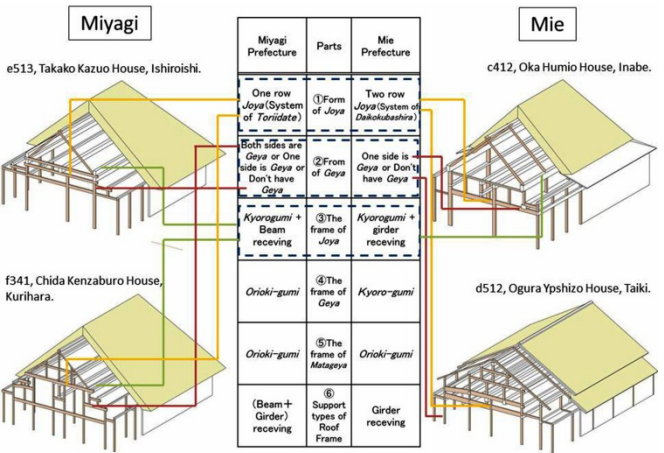


Fig.4 Modulation of the frames of both prefectures

宮城県と三重県の民家建築に見られる 平面及び架構様態の類型に関する研究

A Research about the Typologies of Floor Plans and Frames Observed in Japanese Traditional Vernacular Houses in Miyagi and Mie Prefectures

富岡・田端研究室
阿部勇貴

研究の目的

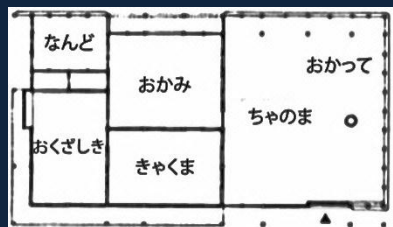
- 1) 吉田靖の1985年の研究で示された民家の『平面の類型図』を出発点として、その研究の妥当性を再確認すること。さらに架構様態の類型化を試みること。
- 2) 平面の類型と架構の類型を対照させて民家の特性の地域的差異を観察すること。
- 3) 類型的特徴から出発して、各民家の個別的特徴に至る変調を整理すること。

平面の類型図

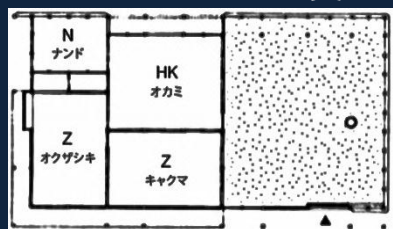
◎ 吉田靖: 日本における近世民家(農家)の系統的発展, 奈良国立文化財研究所, 1985年

1. 部屋の分類と記号化

土間(点描) 勝手(K)
 広間(H) 広間兼勝手(HK)
 寝間(N, 斜線) 座敷(Z)



宮城県栗原市,
千田賢三郎邸



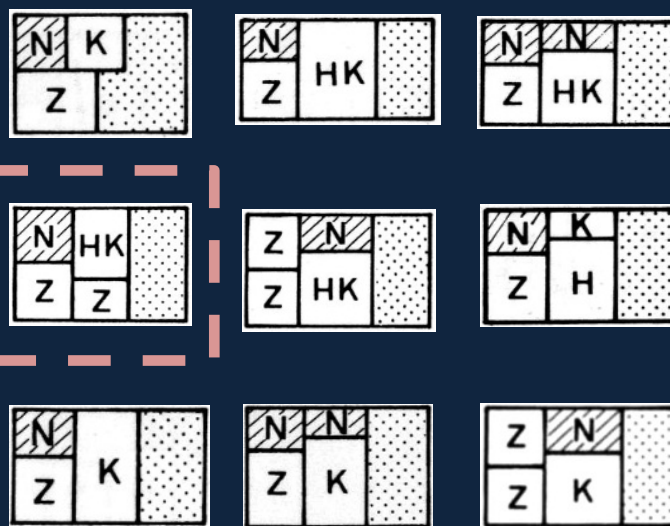
2. 平面の図式化



3. 平面の類型への当てはめ



4. コード番号の付与



千田賢三郎邸

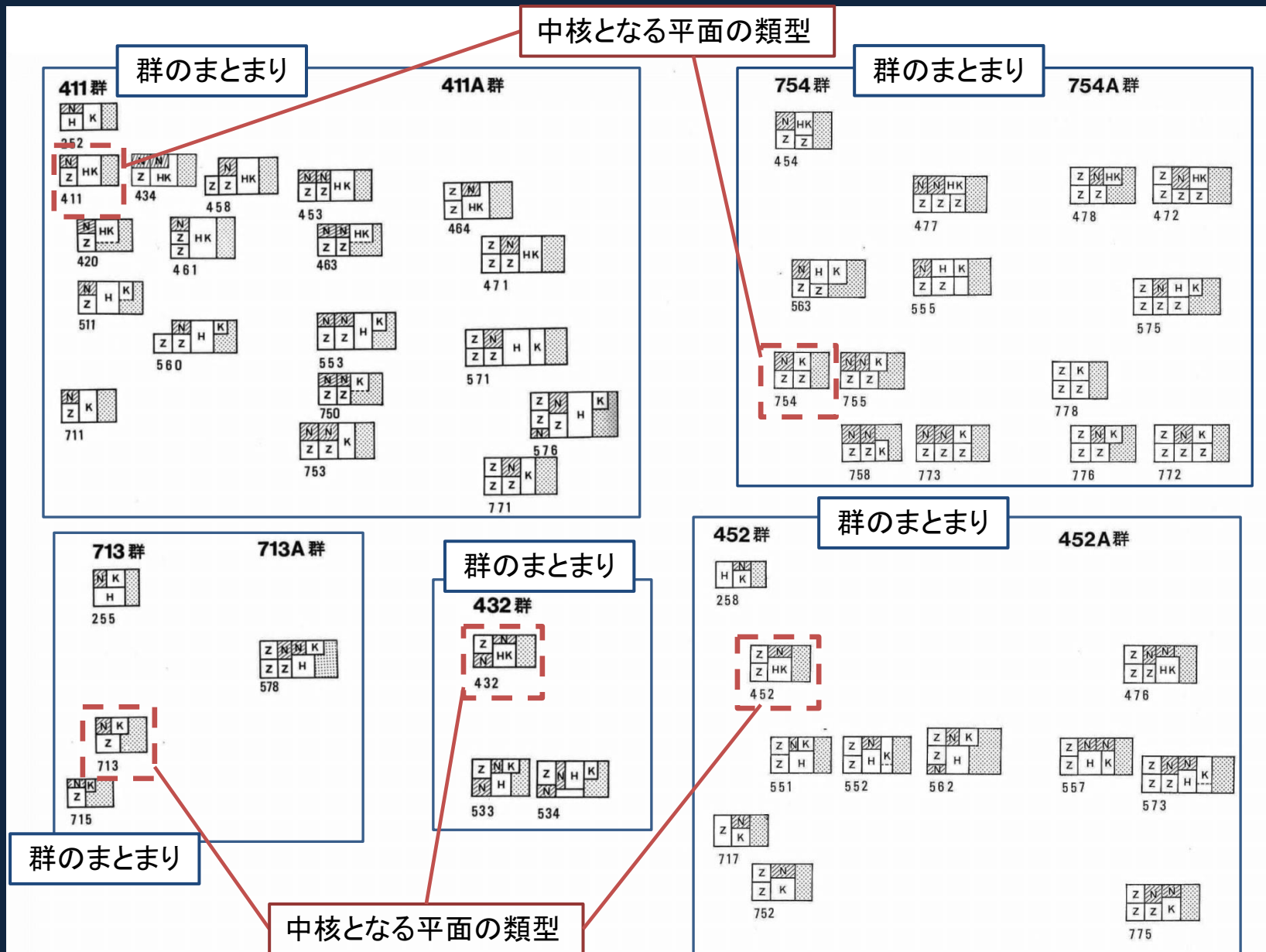
454

百の位4:
座敷のある平面、
広間と勝手が未
分化

十の位5:
座敷数2、
寝間は不定数

群の説明

「群」: 中核となる平面の類型とそれに似た平面の類型を集めて整理したまとめ



研究の構成

第1章 序論

- 研究の目的
- 研究の背景
- 研究の方法

第2章 平面の類型

- 平面の類型化
 - ・部屋の分類と記号化
 - ・平面の類型への当てはめ
- 本研究の類型と吉田の類型の対照

第3章 架構の類型

- 軸組及び小屋組の類型化
- 軸組のタイプのバリエーション
- 小屋組のタイプのバリエーション

第4章 考察

- 平面及び架構のタイプの対応に関する考察
- 変調に関する考察

第5章 結論

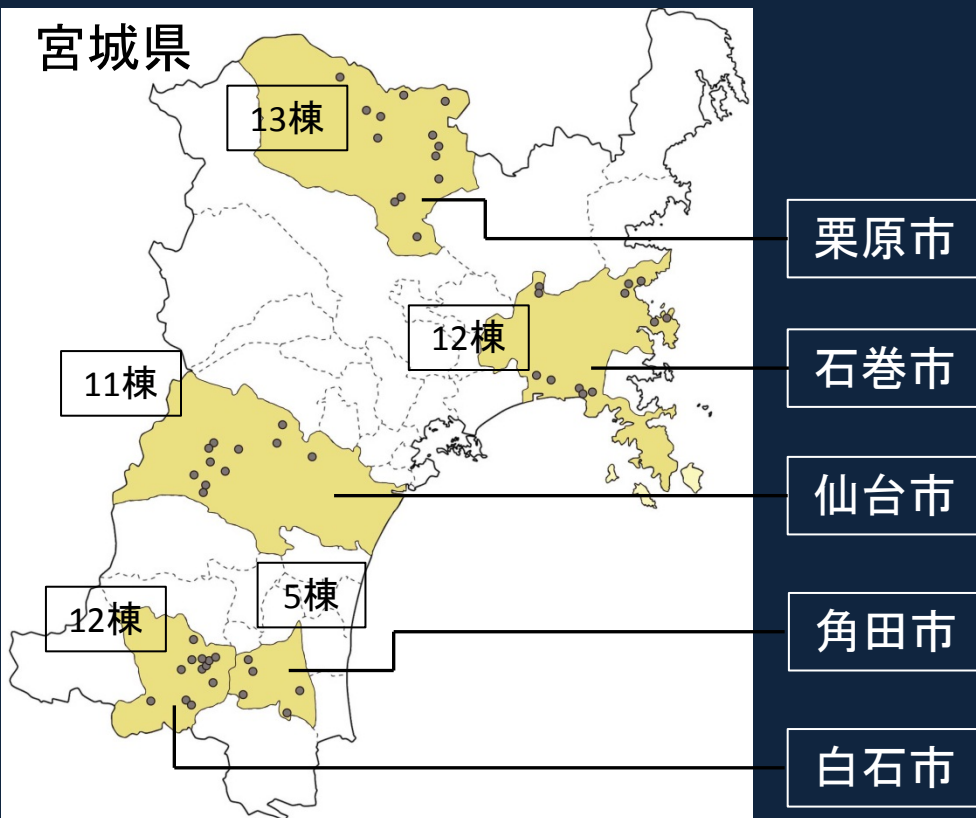
- 研究の成果
- 今後の展開

研究の対象 対象とする民家

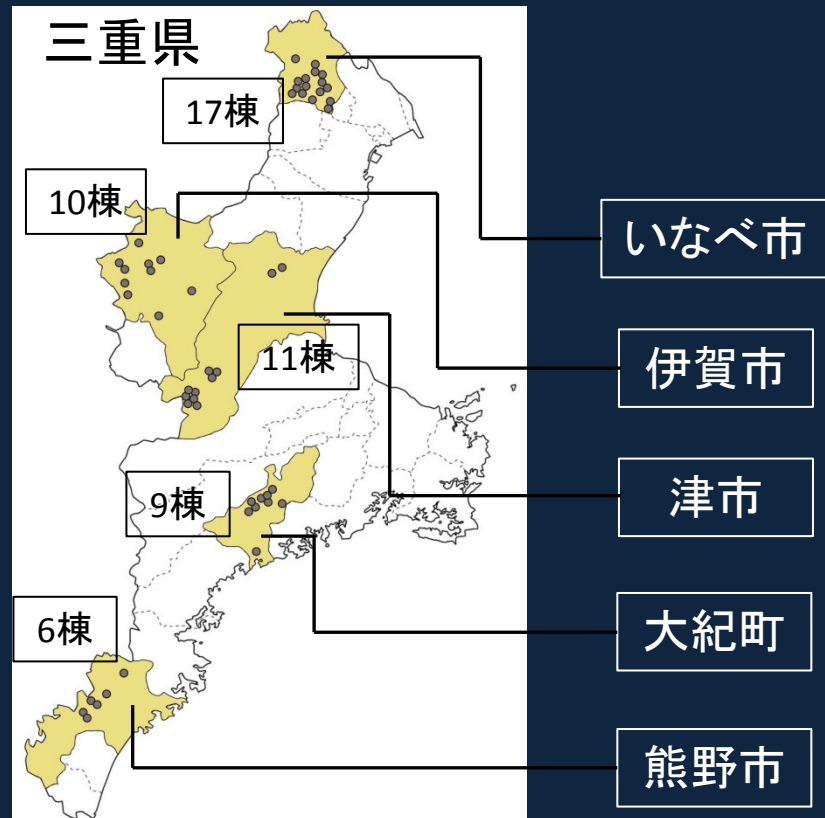
宮城県5つの市の計53棟、三重県5つの市町の計53棟の民家

対象民家の分布

宮城県



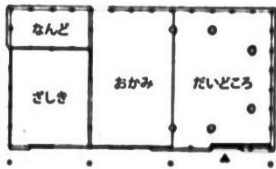
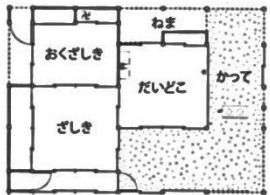
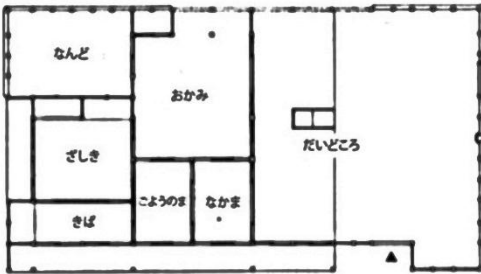
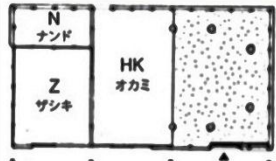

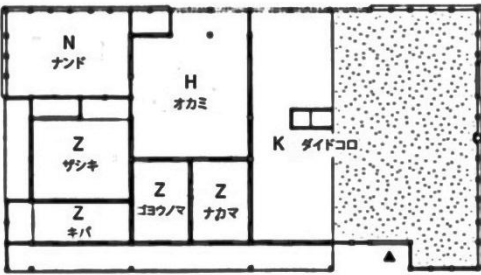



三重県



対象とした民家は、

建築年代が近世(おおむね1600年から1900年)と推測され、建築種が農家であるもの

平面の類型化

作品名	菊池清三邸	小倉俊二邸	高橋恒夫邸	
所在地	宮城県白石市	三重県大紀町	宮城県栗原市	
建築年代	18世紀初期	江戸末～明治初	明治初年	
平面図				
部屋の分類と記号化				
平面の類型図への当てはめ	一致  411型	—	—	
	近似1 —	 752型	—	
	近似2 —	—	 574型	
コード番号の付与	型	411型	752型	574型
	群	411群	452群	459A群

平面の類型への当てはめ

- ・部屋の種類と数
- ・部屋の配置
















一致：
両者一致

近似1：
上が一致、
下が近似

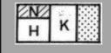






近似2：
両者近似

本研究の類型と吉田の類型の対照

本研究の平面の類型

宮城県(53棟)	群	三重県(53棟)
 252型(2棟)	411群	 411型(11棟)
 411型(11棟)		 453型(1棟)
 471型(1棟)		 411型(5棟)
 511型(2棟)	754群	 420型(1棟)
 711型(5棟)		 511型(1棟)
 454型(12棟)		 771型(1棟)
 472型(1棟)	713群	 454型(3棟)
 555型(1棟)		 555型(1棟)
 575型(1棟)		 563型(1棟)
 754型(3棟)	431群	 754型(12棟)
なし		 755型(1棟)
 758型(1棟)		 773型(1棟)
 731型(16棟)	512群	 778型(1棟)
 431型(3棟)		 731型(1棟)
 512型(3棟)		 572型(1棟)
 572型(1棟)	452群	 452型(1棟)
 557型(1棟)		 752型(2棟)
 752型(2棟)		 232型(1棟)
 476型(2棟)	459群	 756型(1棟)
なし		 474型(2棟)
 574型(1棟)		 774型(1棟)

吉田の平面の類型

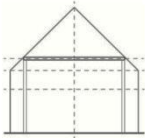
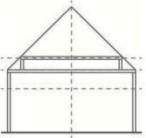
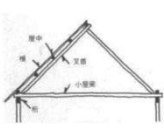
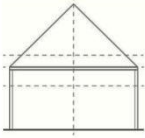
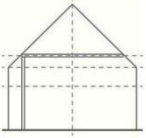
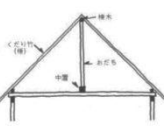
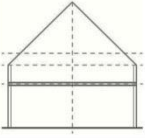
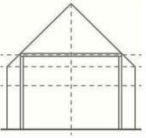

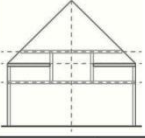
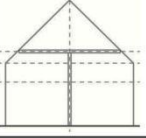
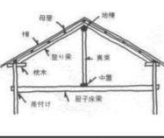
宮城県(53棟)	群	三重県(24棟)
 252型(1棟)	411群	 411型(3棟)
 411型(21棟)		
 453型(1棟)		
 458型(1棟)	754群	 754型(16棟)
 471型(3棟)		 772型(1棟)
 511型(1棟)		 773型(1棟)
 571型(1棟)	713群	 713群(2棟)
 454型(10棟)		なし
 472型(3棟)		なし
 555型(1棟)	431群	なし
 563型(1棟)		なし
 575型(1棟)		なし
 754型(1棟)	512群	なし
 512型(2棟)		なし
 561型(1棟)		なし
 573型(1棟)	452群	なし
 232型(1棟)		なし
 474型(1棟)		なし
 774型(1棟)	459群	なし
 774型(1棟)		なし
 774型(1棟)		なし

灰色は両者に共通した類型

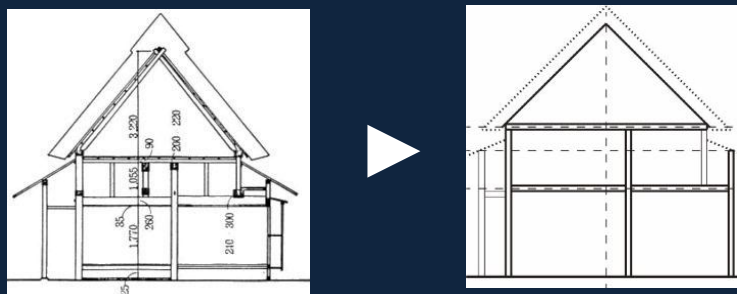
架構の類型化

軸組及び小屋組の類型化を試みた

1. 類型の設定 (図1, 2, 5)

軸組の類型		小屋組の類型
梁組の類型	柱立ての類型	
		
上屋梁	柱なし	さす組
		
梁行梁	片端柱受け	おだち組
		
差鴨居	両端柱受け	和小屋組
		
つなぎ梁	中通り柱受け	登り梁・枕木構造

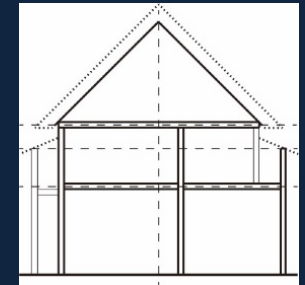
2. 架構の図式化



3. 図式のパターン化



4. コード番号の付与







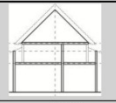




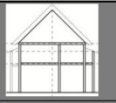
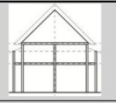






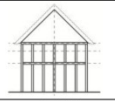
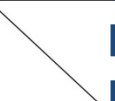
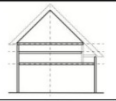


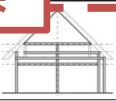
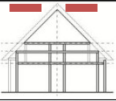
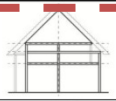

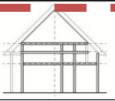
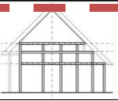

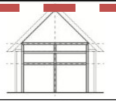
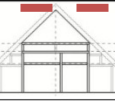
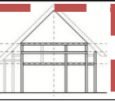






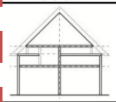
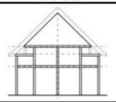
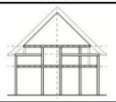
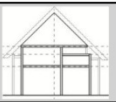

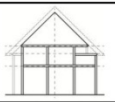
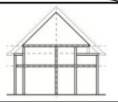







三重県いなべ市,
岡文雄邸

c414

軸組の類型のバリエーション

縦軸a～fは梁組の類型、横軸1～5は柱立ちの類型

宮城県は縦軸e, f、横軸3, 4, 5の位置、三重県は縦軸b, c, d、横軸4, 5の位置に類型が集まる

	柱なし 0	片端柱受け 1	両端柱受け 2	柱なし＋中通り柱受け 3			片端柱受け＋中通り柱受け 4				両端柱受け＋中通り柱受け 5			
上屋梁のみ a	—	—	—	—			—				 a531			
梁行梁のみ b	—	—	—	—			—				 b521	 b522	 b531	
上屋梁＋差鴨居 c	—	—	—	 c311			 c411	 c412	 c413	 c414	 c511	 c512	 c513	 c514
梁行梁＋差鴨居 d	—	—	—	—			 d411	 d412			 d511	 d521	 d531	 d532
上屋梁＋梁行梁＋差鴨居 e	—	 e101	 e201	 e311	 e313	 e321	 e411	 e412	 e421	 e431	 e511	 e512	 e513	 e514
上屋梁＋差鴨居＋つなぎ梁 f	—	—	—	 e331	 e332	 e333					 e515	 e516	 e521	
				 f311	 f331	 f332					 f411	 f421	 f422	 f423
				 f333	 f341		 f431	 f432			 f523	 f524	 f531	

三重県

宮城県

小屋組のタイプのバリエーション

さす組:s, 十の位は小屋束の本数

おだち組:o

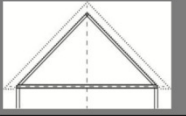
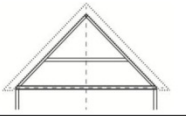
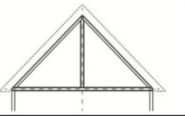
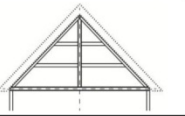
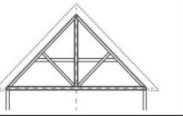
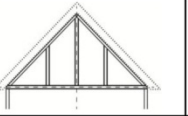


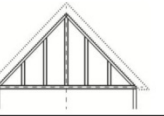
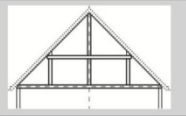

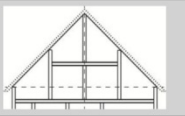

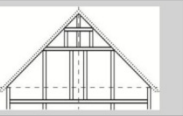

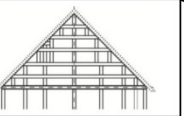
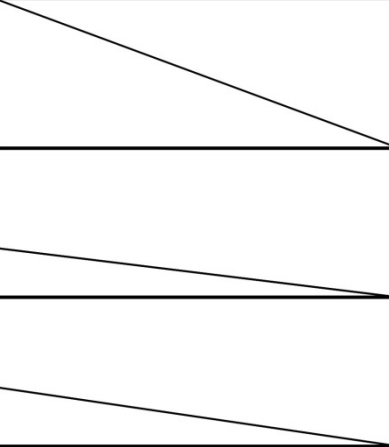
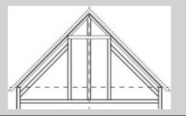
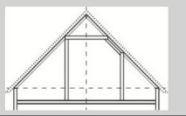
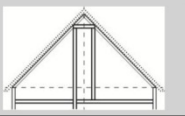
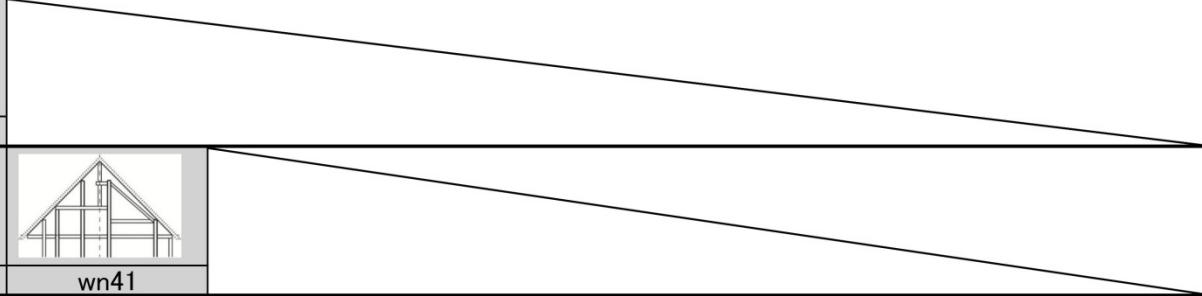


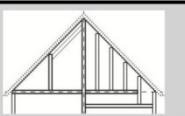

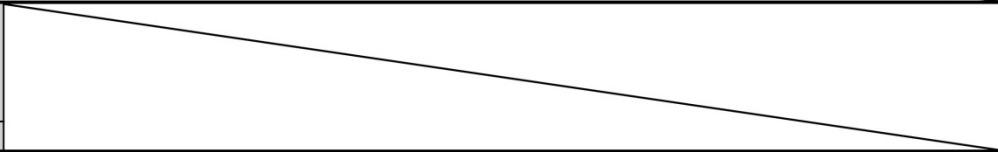
和小屋組:w, 十の位は小屋梁の本数

登り梁組:n, 十の位は中通り柱の本数

和小屋組+登り梁組:wn, 十の位は中通り柱の本数

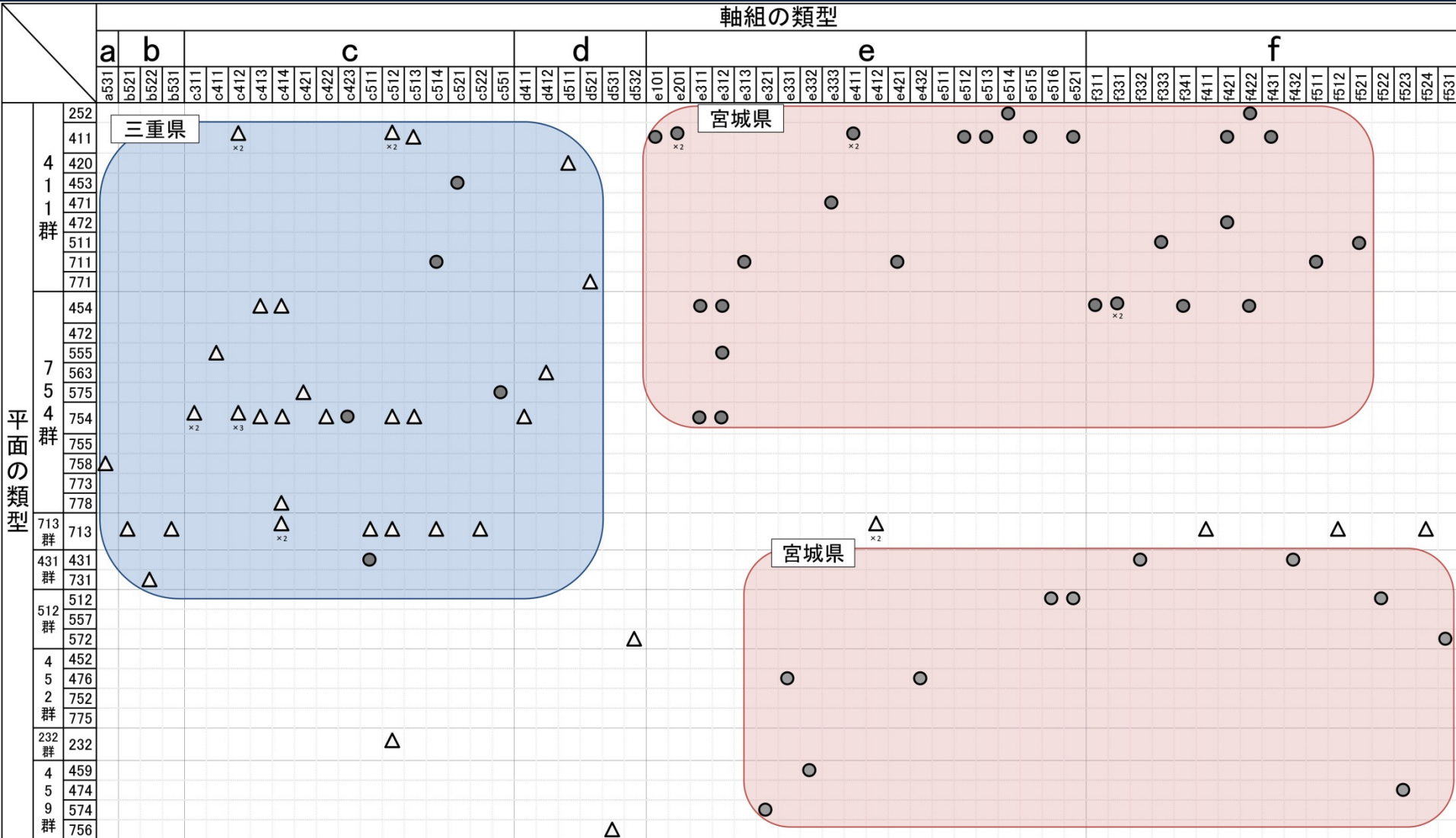
宮城県の民家:「さす組」の類型に、「さす束」、「小屋貫」の補強

三重県の民家:「さす組(s01)」、「和小屋組」、「登り梁組」、「和小屋組+登り梁組」の類型

さす組 s	 s01	 s02	 s11	 s12	 s13	 s31	 s32	 s33	 s51		
おだち組 o	なし										
和小屋組 w	 w21	 w22	 w23	 w24	 w31	 w32	 w61				
登り梁組 n	 n01	 n02	 n11								
和小屋組+登り梁組 wn	 wn21	 wn22	 wn31							 wn41	

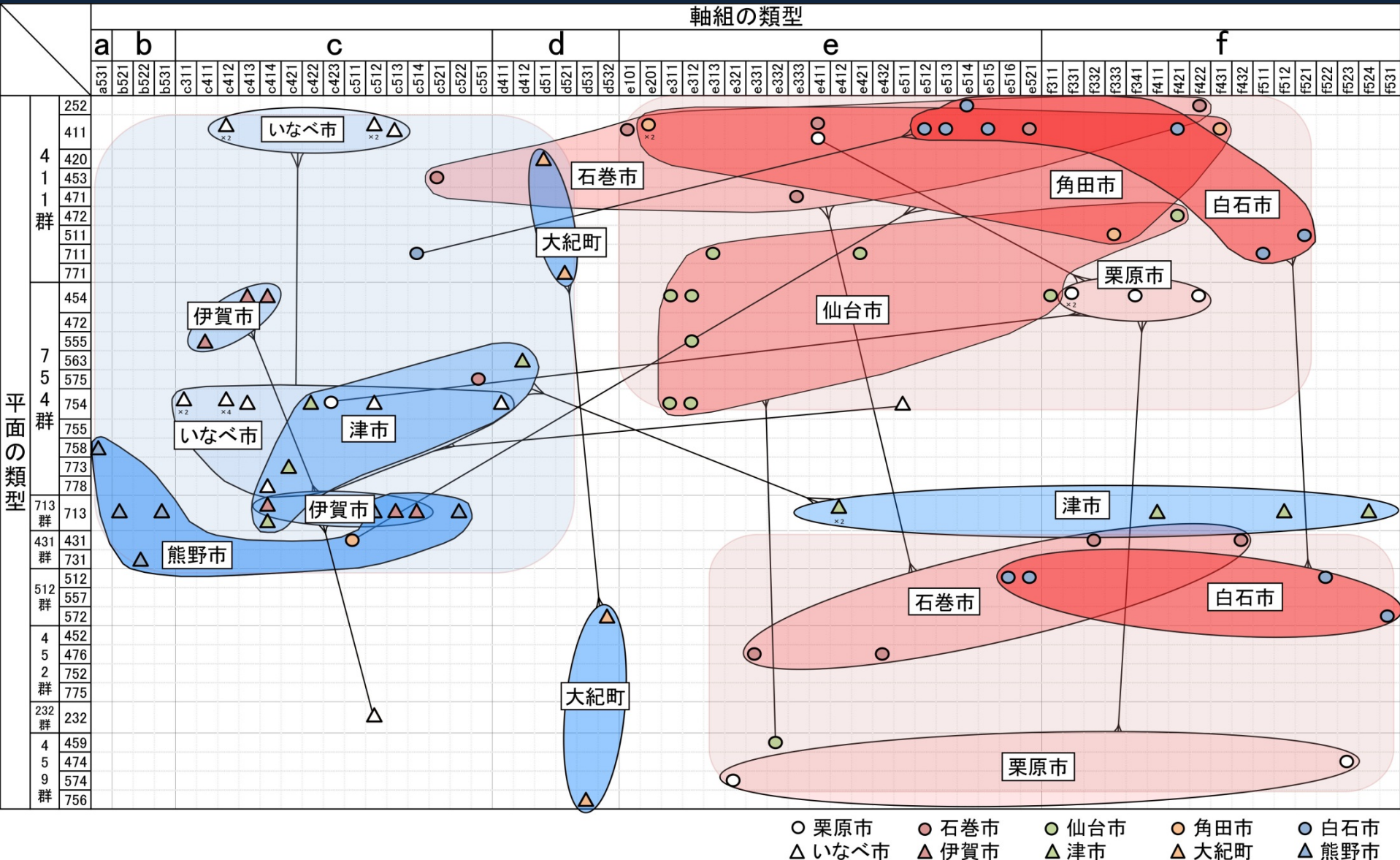
平面及び架構のタイプの対応に関する考察 県レベル

縦軸に平面の類型、横軸に軸組の類型、宮城県の民家を「●」、三重県の民家を「▲」としてプロットした表



平面及び架構の類型の対応に関する考察 市町レベル

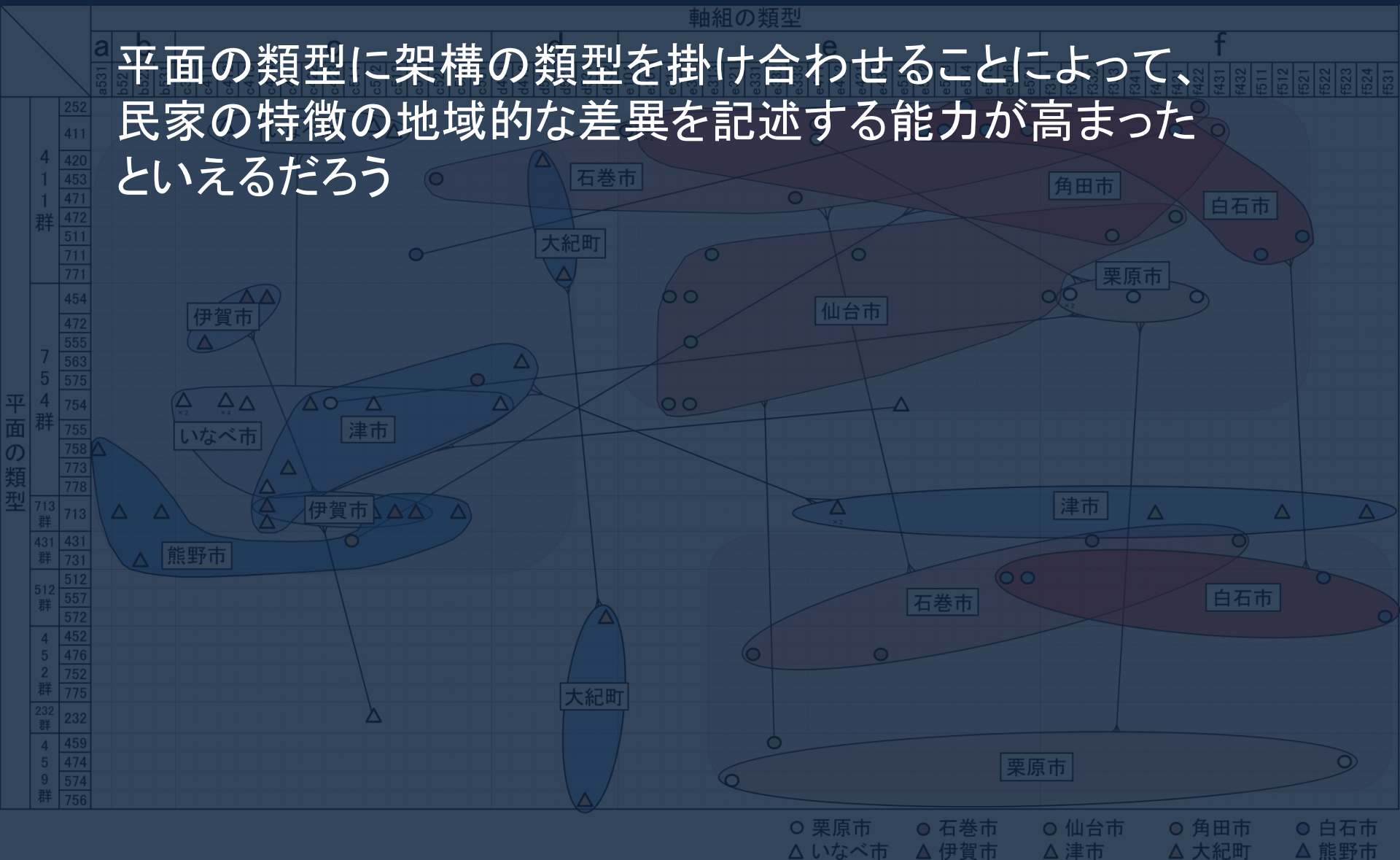
市町ごとに点が集まっている個所を枠を囲んで示す



平面及び架構のタイプの対応に関する考察

県レベル、市町レベルの観察から、

平面の類型に架構の類型を掛け合わせることによって、
民家の特徴の地域的な差異を記述する能力が高まった
といえるだろう

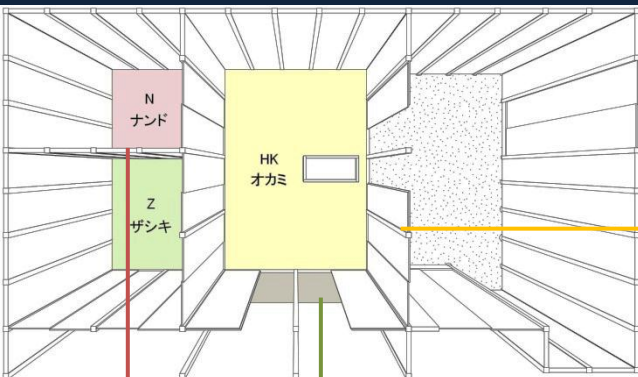


変調に関する考察

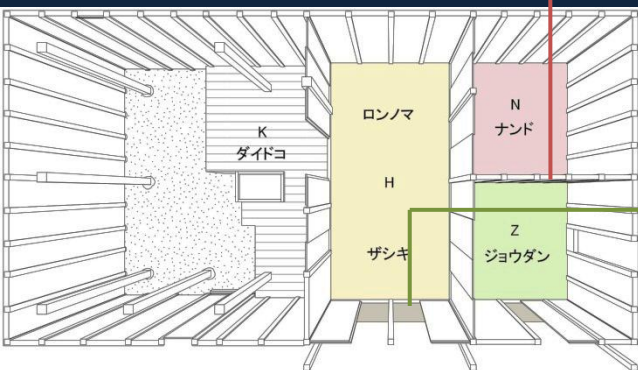
平面の変調

宮城県の家

石巻市、武山昭利邸、411型



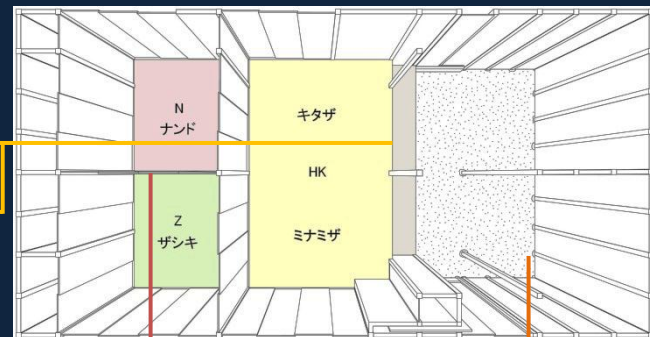
角田市、村上平一郎邸、511型



宮城県	部位	三重県
	①土座と床座の間仕切り	
間仕切りなし	土間と勝手	間仕切りなし
建具	土間と広間	間仕切りなし、建具
建具	土間と広間兼勝手	間仕切りなし
壁	土間と寝間	壁
建具	土間と座敷	建具
	②寝間と座敷の間仕切り	
壁、押入(座敷側)	(1)	建具、壁
壁	(2)	建具、壁
オモテ側縁	③縁側の位置	オモテ側縁
外縁	④縁側の種類	内縁
なし	⑤ウマヤ、シモベヤ	土間オモテ側
勝手、広間兼勝手	⑥イロリ	勝手

三重県の家

いなべ市、瀬木興治邸、411型



伊賀市、山島勝年邸、713型



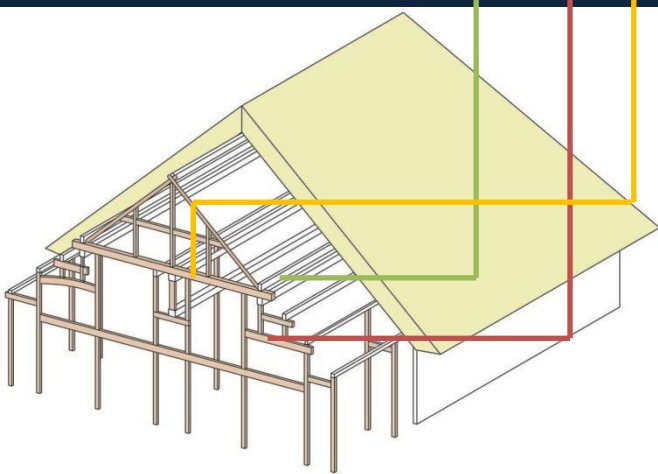
変調に関する考察 架構の変調

宮城県の家

白石市、高子一雄邸、e513



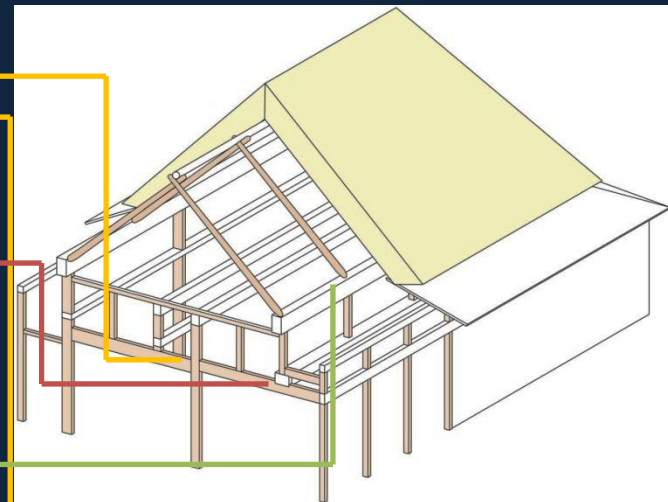
栗原市、千田賢三郎邸、f341



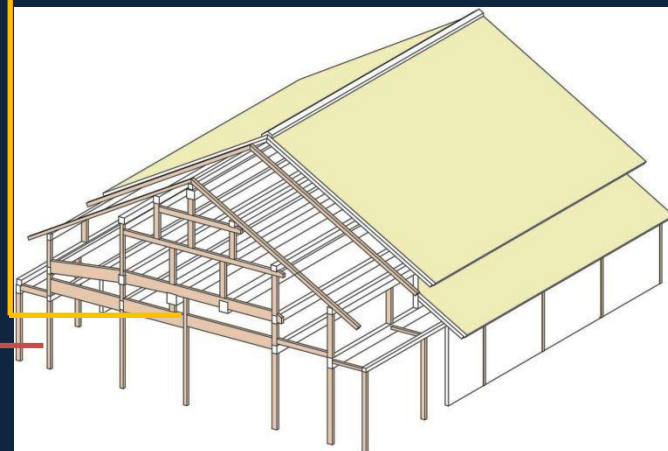
宮城県	部位	三重県
上屋一列	①上屋造の形式	上屋二列
両側下屋造、片側下屋造、下屋造なし	②下屋造の形式	片側下屋造、下屋なし
京呂組梁受け	③上屋の架構	京呂組梁受け、京呂組桁受け
折置組	④下屋の架構	折置組
折置組	⑤又下屋の架構	折置組
(梁+桁)受け	⑥小屋組の支持形式	桁受け

三重県の家

いなべ市、岡文雄邸、c412



大紀町、小倉芳蔵邸、d512



- 1) 吉田の平面の類型と本研究の平面の類型はおおむね一致した。吉田の平面の類型はおおむね妥当といえるが、その一部は観察されず、また一部追加すべきものがあった。
- 2) 平面の類型に架構の類型を掛け合わせたチャートにより、民家の特徴の地域的な差異を県レベルで記述した。
- 3) 同じチャートで市町レベルの地域的差異を観察した。
- 4) 両県の民家に見られる変調の傾向を部位別に把握した。

参考文献

- ・吉田靖: 日本における近世民家(農家)の系統的発展, 奈良国立文化財研究所, 1985年
- ・成瀬恭: 日本の民家調査報告書集成 第2巻 北海道・東北地方の民家(2) 岩手・宮城, 岩手県教育委員会 宮城県教育委員会, 株式会社 東洋書林, 1998年12月
- ・大安町教育委員会: 大安町史 (第二巻), 大安町, 1993年3月, pp.475-547
- ・上野市: 上野市史 文化財編, 上野市, 2004年8月, pp.534-615
- ・美杉村史編集委員会: 美杉村史 下巻, 美杉村役場, 1981年3月, pp.689-722
- ・安濃町史編纂委員会: 安濃町史 通史編, 安濃町, 1999年10月, pp.787-819
- ・紀勢町史編集委員会: 紀勢町史 記録編, 紀勢町, 2001年10月, pp.777-835
- ・三重県: 三重県史 別編 建築, 三重県, 2003年3月, pp.263-421
- ・宮城県史編集委員会, 宮城県史19(民俗), 財団法人 宮城県史刊行会, 1956年10月,
- ・堀江亨, 宮本岳拓, 広間型民家における架構要素と空間要素の類型化 ―伝統木造建築における架構と空間構成の比較研究 その1―, 日本建築学会大会学術講演梗概集 pp.863-864, 2015年9月
- ・川島宙次, 滅びゆく民家―間取り・構造・内部, 株式会社主婦と生活社, 1973年

スライド 1

宮城県と三重県の民家建築に見られる
平面及び架構様態の類型に関する研究

A Research about the Typologies of Floor Plans and Frames Observed in Japanese Traditional
Vernacular Houses in Miyagi and Mie Prefectures

富岡・田端研究室
阿部勇貴

研究の目的

- 1) 吉田靖の1985年の研究で示された民家の『平面の類型図』を出発点として、その研究の妥当性を再確認すること。さらに架構様態の類型化を試みること。
- 2) 平面の類型と架構の類型を対照させて民家の特性の地域的差異を観察すること。
- 3) 類型的特徴から出発して、各民家の個別的特徴に至る変調を整理すること。

宮城県と三重県の民家建築に見られる平面及び架構様態の類型に関する研究と題して発表します。

本研究の目的は、

- 1) 吉田靖の 1985 年の研究で示された民家の『平面の類型図』を出発点として、その研究の妥当性を再確認すること。さらに架構様態の類型化を試みること。
- 2) 平面の類型と架構の類型を対照させて民家の特性の地域的差異を観察すること。
- 3) 類型的特徴から出発して、各民家の個

別の特徴に至る変調を整理すること。

196 文字

スライド 2

平面の類型図

◎ 吉田靖: 日本における近世民家(農家)の系統的発展, 奈良国立文化財研究所, 1985年

1. 部屋名の分類と記号化

土間(点描) 勝手(K)
広間(H) 広間兼勝手(HK)
寝間(N, 斜線) 座敷(Z)

2. 平面の図式化

3. 平面の類型への当てはめ

4. コード番号の付与

千田賢三郎 454

百の位4: 座敷のある平面、広間と勝手が未分化
十の位5: 座敷数2、寝間数は不定数

先述した平面の類型図を説明します。

これは吉田靖の日本における近世民家(農家)の系統的発展に示されています。

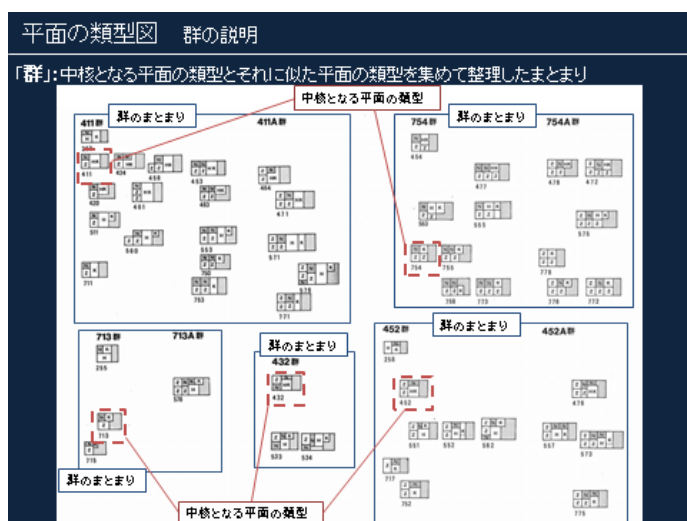
平面の類型図の論理は、

1. 部屋名の分類と記号化: 部屋を土間、勝手、広間、広間兼勝手、寝間、座敷の 6 つに分類し、記号化します。
2. 平面の図式化: 作品を簡単な図式にします。
3. 平面の類型への当てはめ: パターン化された類型に図式を当てはめます。

4. コード番号の付与: コード番号を与えます。例としてコード番号 454 は、百の位の 4 が座敷のある平面で、広間と勝手が未分化、十の位の 5 が座敷数 2、寝間数が不定という意味です。

252 文字

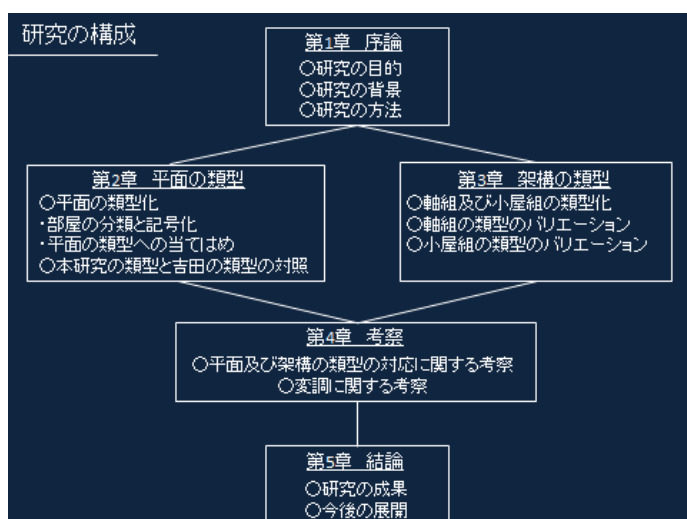
スライド 3



次に平面の類型図の「群」について説明します。群とは、中核となる平面の類型とそれに似た平面の類型を集めて整理したまとまりを言います。スライドの赤枠が中核となる平面の類型で、青枠が群としてのまとまりです。

99 文字

スライド 4

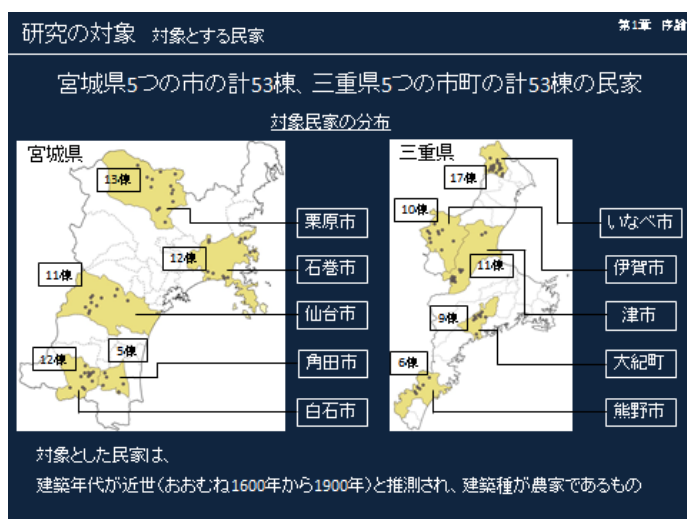


研究の構成です。

本研究は第 2 章で平面を、第 3 章で架構をそれぞれ類型化する分析を行います。第 4 章では類型化の結果から、平面及び架構の類型の対応に関する考察と、変調に関する考察を行います。そして第 5 章の結論で本研究の成果を述べます。

114 文字

スライド 5



研究の対象です。

対象とする民家は、宮城県 5 つの市の計 53 棟、三重県 5 つの市町の計 53 棟です。その分布をスライドに示します。各市町の位置は、おおむね両県の中で広域となるように選びました。また建築年がおおむね近世と推測され、建築種が農家となる民家を選びました。

126 文字

スライド 6

作品名	築地清三郎	小倉俊二郎	高橋恒夫部
所在地	宮城県白石市	三重県大紀町	宮城県東原市
建築年代	18世紀初期	江戸末～明治初	明治初年
平面図			
部屋の分類と記号化	 一致	—	—
近似1	—	 752型	—
近似2	—	—	 574型
タイプ番号の付与	411型	752型	574型
群	411群	452群	459A群

高橋恒夫（たかはしつねお）邸は 574 型の平面の類型と近似となります。

212 文字

スライド 7

本研究の類型と吉田の類型の対照

本研究の平面の類型

宮城風(53種)			扉	三重風(53種)		
252型(1種)	411型(1種)	453型(1種)	411型	411型(1種)	420型(1種)	511型(1種)
411型(1種)	511型(1種)	713型(1種)				
454型(1種)	472型(1種)	555型(1種)				
512型(1種)	572型(1種)	713型(1種)	713型	555型(1種)	555型(1種)	713型(1種)
572型(1種)	713型(1種)	713型(1種)				
572型(1種)	713型(1種)	713型(1種)				
GL			713型	GL		
GL						
GL						
GL			GL	GL		
GL						
GL						
GL			GL	GL		
GL						
GL						
GL			GL	GL		
GL						
GL						
GL			GL	GL		
GL						
GL						
GL			GL	GL		
GL						
GL						
GL			GL	GL		
GL						
GL						

吉田の平面の類型

宮城風(53種)			扉	三重風(24種)		
252型(1種)	411型(1種)	453型(1種)	411型	411型(1種)		
411型(1種)	511型(1種)	713型(1種)				
454型(1種)	472型(1種)	555型(1種)				
512型(1種)	572型(1種)	713型(1種)	713型	555型(1種)	555型(1種)	713型(1種)
572型(1種)	713型(1種)	713型(1種)				
572型(1種)	713型(1種)	713型(1種)				
GL			713型	GL		
GL						
GL						
GL			GL	GL		
GL						
GL						
GL			GL	GL		
GL						
GL						
GL			GL	GL		
GL						
GL						
GL			GL	GL		
GL						
GL						
GL			GL	GL		
GL						
GL						
GL			GL	GL		
GL						
GL						

灰色は両者に共通した類型

本研究の平面の類型を、スライド左の表に示します。両県それぞれ異なる 18 種の類型に当てはめることができました。また右の表は、吉田の平面の類型から、宮城県と三重県を取り出して整理したものです。両者を対照させると、灰色で示した平面の類型が、共通していました。よって吉田の平面の類型は、おおむね妥当だといえますが、一部は本研究で観察されなかった平面の類型がありました。また吉田の研究で追加すべき平面の類型も観察できました。

207 文字

スライド 8

架構の類型化

軸組及び小屋根の類型化を試みた

1 類型の設定(図1, 2, 5)

軸組の類型		小屋根の類型
建物の類型	柱立ての類型	
上屋梁	梁出し	片寄梁
梁の束	片組梁掛け	梁の束
梁組束	梁組梁掛け	梁の束
1/2梁束	中梁の梁掛け	梁の束

2 架構の図式化

3 図式のパターン化

4 コード番号の付与

三重県いなべ市, 岡文雄邸

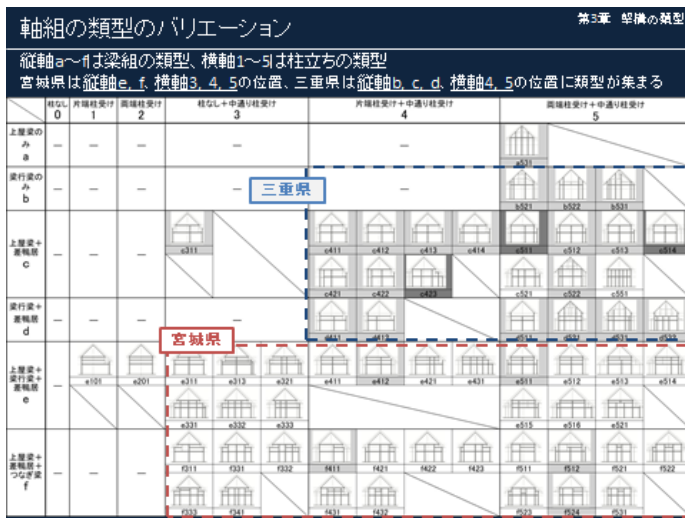
c414

架構の類型化の説明です。本研究は軸組及び小屋組の類型化を試みました。

論理は、1.類型の設定：これは既往文献を引用・参照し、それぞれの架構の類型を設定します、2.架構の図式化：これは民家の梁行方向の断面を図式にします、3.図式のパターン化、4.コード番号の付与、です。

129 文字

スライド 9

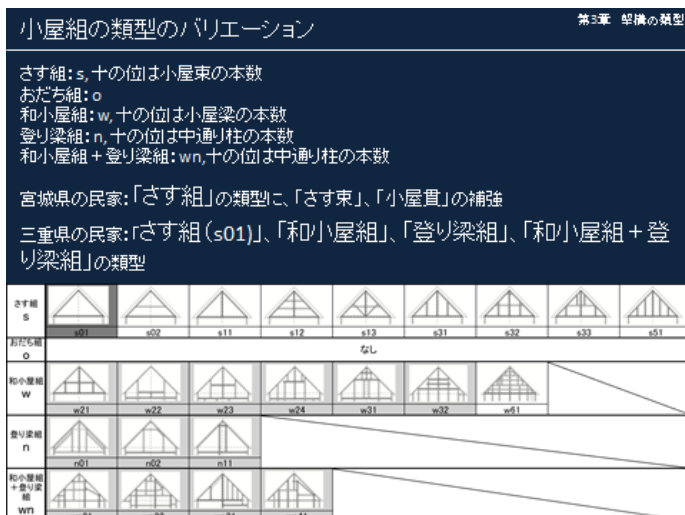


軸組の類型化の結果をスライドに示します。この表は縦軸のa~fが梁組の類型、横軸の1~5が柱立ての類型です。コード番号の十の位は中通り柱の本数、一の位は中通り柱の位置、梁材の両端の位置で、順に番号を付与しました。三重県の軸組の類型は灰色で示しています。

宮城県の民家は縦軸のe, f、横軸の3, 4, 5の位置に類型が集まりました。三重県の民家は縦軸のb, c, d、横軸の4, 5の位置に類型が集まりました。

191 文字

スライド 10

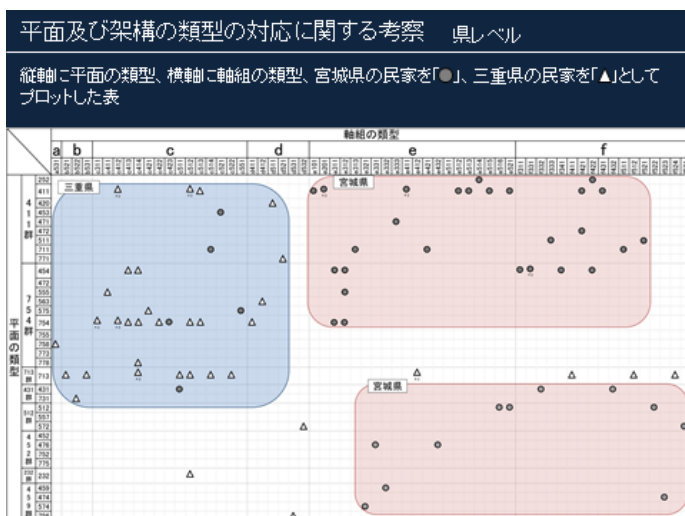


次に小屋組の類型化の結果をスライドに示します。三重県の小屋組の類型を灰色で示しています。

宮城県の民家は、「さす組」の類型に、さす束及び小屋貫の補強が見られました、三重県の民家は「さす組(s01)」、「和小屋組」、「登り梁組」、「和小屋組+登り梁組」の類型が見られました。

132 文字

スライド 11

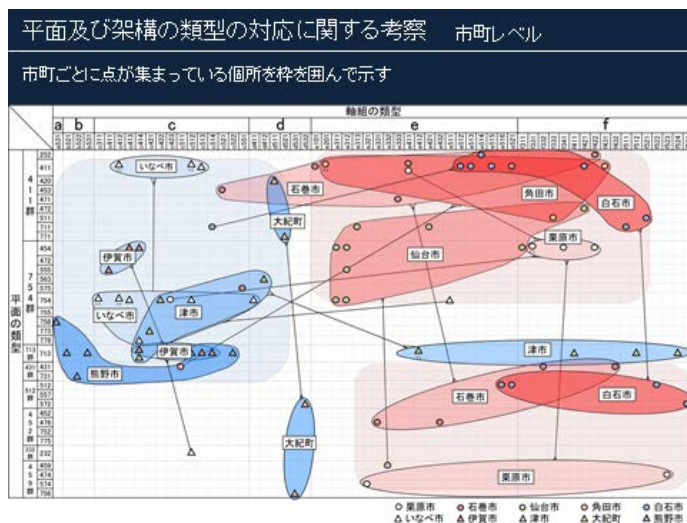


平面及び架構の類型の対応に関する考察です。

スライドの表は、縦軸を平面の類型、横軸を軸組の類型とし、本研究の類型を該当する位置にプロットしています。また宮城県の民家を「○」、三重県の民家を「△」としました。例外はありますが、宮城県は表の右側上部及び下部にそれぞれの類型がプロットされます。三重県は表の左側上部から中央部にかけて点がプロットされます。

175 文字

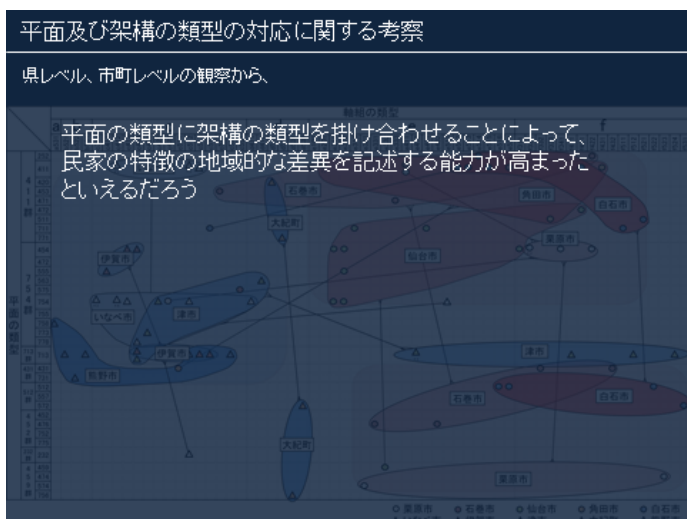
スライド 12



次に市町レベルで観察をしました。各市町の点の集まる個所をおおよその枠で囲みました。各市町で枠が複数ある場合と特異点がある場合に線を結んで示しました。各市町で観察されたそれぞれの枠は、縦方向に大きくなる、または複数並ぶと平面の類型が不定、軸組の類型が一定といえます。枠が横方向に大きくなる、または複数並ぶと、平面の類型は一定、軸組の類型は不定といえます。

176 文字

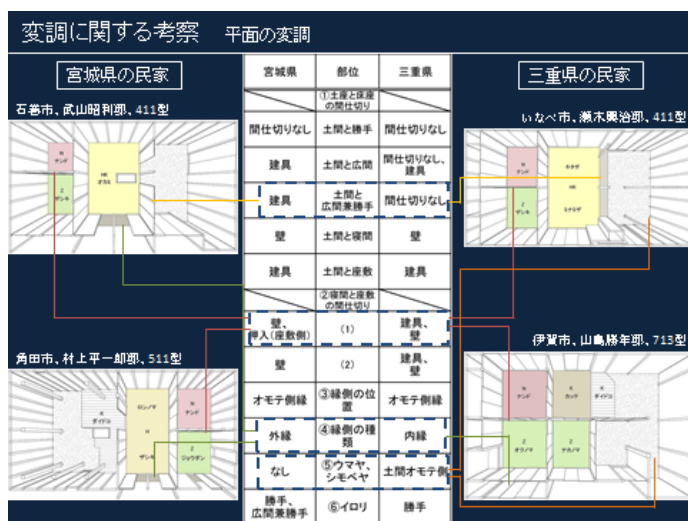
スライド 13



以上の県レベル、市町レベルの観察から、吉田の平面の類型に架構の類型を掛け合わせることによって、民家の地域的な差異の記述する能力が高まったといえるでしょう。

77 文字

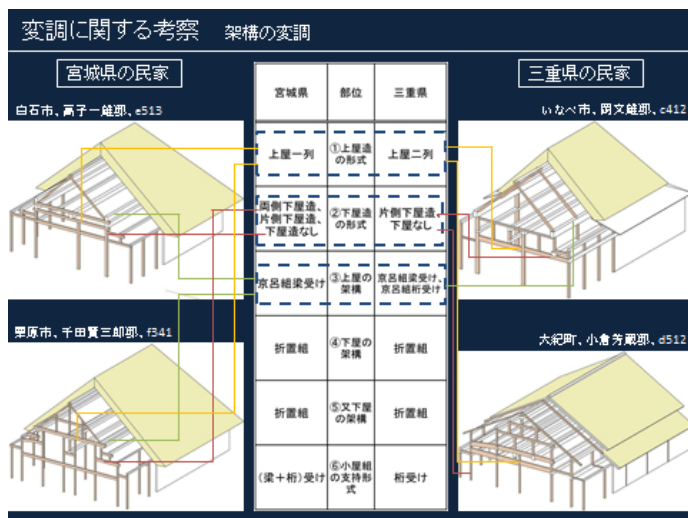
スライド 14



宮城県が「壁」による間仕切り、三重県が「建具」による間仕切り、縁側の種類は宮城県が「外縁」、三重県が「内縁」、ウマヤは宮城県が「なし」、三重県が「あり」で土間オモテ側に位置します。

271 文字

スライド 15



変調に関する考察です。変調とは、共通の型から出発し、個々の作品に加えられる個別の造形的操作をいいます。

まず、平面の変調です。代表的な変調が加えられる部位を縦に示し、両県の変調の傾向をボキャブラリーとしてまとめました。この傾向によく当てはまる民家を図に示します。

広間兼勝手と土間が接する場合、宮城県が「建具」による間仕切り、三重県が「間仕切りなし」、寝間と座敷が縦に並ぶ場合、

宮城県が「壁」による間仕切り、三重県が「建具」による間仕切り、縁側の種類は宮城県が「外縁」、三重県が「内縁」、ウマヤは宮城県が「なし」、三重県が「あり」で土間オモテ側に位置します。

架構の変調です。梁行材と桁行材を区別して変調の分析を行います。架構の変調の傾向によく当てはまる民家を図に示します。

上屋造の形式は、宮城県が「上屋一列」、三重県が「上屋二列」。下屋造の形式は、宮城県が「両側下屋造」、「片側下屋造」、「下屋なし」、三重県が「片側下屋造」、「下屋なし」。上屋の架構は宮城県が「京呂組梁受け」、三重県が「京呂組梁受け」もしくは「京呂組桁受け」となります。

190 文字

スライド 16

研究の成果		第5章 結論
1)	吉田の平面の類型と本研究の平面の類型はおおむね一致した。吉田の平面の類型はおおむね妥当といえるが、その一部は観察されず、また一部追加すべきものがあった。	
2)	平面の類型に架構の類型を掛け合わせたチャートにより、民家の特徴の地域的な差異を県レベルで記述した。	
3)	同じチャートで市町村レベルの地域的な差異を観察した。	
4)	両県の民家に見られる変調の傾向を部位別に把握した。	

結論です。本研究の成果は、

- 1) 吉田の平面の類型と本研究の平面の類型はおおむね一致しました。吉田の平面の類型はおおむね妥当といえますが、その一部は観察されず、また一部追加すべきものがありました。
- 2) 平面の類型に架構の類型を掛け合わせたチャートにより、民家の特徴の地域的な差異を県レベルで記述しました。
- 3) 同じチャートで市町レベルの地域的な差異を観察しました。

4) 両県の民家に見られる変調の傾向を部位別に把握しました。

206 文字

2753 文字 (10 分/3670 文字)

スライド 17

参考文献
<ul style="list-style-type: none"> ・吉田 晴: 日本における近世民家(農家)の系統的発展, 奈良国立文化財研究所, 1985年 ・成瀬 恭: 日本の民家調査報告書集成 第2巻 北海道・東北地方の民家(2) 岩手・宮城, 岩手県教育委員会 宮城県教育委員会, 株式会社 東洋書林, 1998年12月 ・大 安 町 教育委員会: 大 安 町 史 (第二巻), 大 安 町, 1993年3月, pp.475-547 ・上 野 市: 上 野 市 史 文化財編, 上 野 市, 2004年8月, pp.534-615 ・美 杉 村 史 編集委員会: 美 杉 村 史 下巻, 美 杉 村 役 場, 1981年3月, pp.689-722 ・安 濃 町 史 編集委員会: 安 濃 町 史 通史編, 安 濃 町, 1999年10月, pp.787-819 ・紀 勢 町 史 編集委員会: 紀 勢 町 史 記録編, 紀 勢 町, 2001年10月, pp.777-835 ・三 重 県: 三 重 県 史 別 編 建 築, 三 重 県, 2003年3月, pp.263-421 ・宮 城 県 史 編 集 委 員 会: 宮 城 県 史 19(民俗), 財 団 法 人 宮 城 県 史 刊 行 会, 1956年10月, ・堀江 亨, 宮本 岳 拓, 広間型民家における架構要素と空間要素の類型化 - 伝統木造建築における架構と空間構成の比較研究 その1 -, 日本建築学会大会学術講演梗概集 pp.863-864, 2015年9月 ・川島 宙次, 減りゆく民家-間取り・構造・内部, 株式会社主婦と生活社, 1973年